

令和3年度 第1回ゆりはま創生総合戦略会議

日 時 令和3年6月1日（火）

10時～

場 所 湯梨浜町役場 講堂

1. 開 会

2. 町長あいさつ

3. 委員紹介（自己紹介）

4. 会長・副会長の選出について

5. 会長あいさつ

6. 湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略に係るK P I 及び具体的事業の進捗状況
と取組状況について・・・資料1～5

7. 第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂について・・・資料6

8. その他

9. 閉 会

ゆりはま創生総合戦略会議委員名簿

任期：令和3年5月27日～令和5年5月26日（2年間）

敬称略

	区分	役職	氏名	備考
1	産	湯梨浜町商工会	副会長	石沼 友
2	産	J A鳥取中央	湯梨浜営農センター長	西村 好美
3	産	株式会社 栄進工業	会長	坂田 康則
4	官	湯梨浜町	町長	宮脇 正道
5	学	鳥取看護大学・鳥取短期大学	理事長	山田 修平
6	学	東郷湖・未来創造会議	会長	遠藤 公章
7	学	女性団体連絡協議会	理事	井土 美智子
8	金	山陰合同銀行	羽合支店長	岩谷 悟
9	金	鳥取銀行	羽合支店長	木山 敦文
10	金	日本政策金融公庫	鳥取支店事業統轄	武智 徹
11	労	倉吉公共職業安定所	所長	山岡 英之
12	労	労働団体の関係者		加藤 一
13	労	労働団体の関係者		岡本 梓
14	言	新日本海新聞社	編集部報道課デスク	石原 美樹
15	公募	女性公募		佐相 亜友美

	鳥取県中部総合事務所 県民福祉局	副局長	小谷 昭男	コンシェルジュ（湯梨浜町担当）
	湯梨浜町	副町長	亀井 雅議	
	湯梨浜町	教育長	山田 直樹	
	湯梨浜町総務課	課長	岩崎 正一郎	
	湯梨浜町議会事務局	局長	山根 薦	
	湯梨浜町出納室	室長	森 輝信	
	湯梨浜町建設水道課	課長	石本 義之	
	湯梨浜町産業振興課	課長	遠藤 秀光	
	湯梨浜町企画課	課長	上井 明彦	
	湯梨浜町町民課	課長	尾坂 英二	
	湯梨浜町子育て支援課	課長	杉原 美鈴	
	湯梨浜町総合福祉課	課長	竹本 里香	
	湯梨浜町健康推進課	課長	林 紀明	
	湯梨浜町長寿福祉課	課長	西田 貴頼	
	湯梨浜町教育総務課	課長	山田 志伸	
	湯梨浜町生涯学習・人権推進課	課長	山崎 有紀子	
	湯梨浜町中央公民館	館長	宮脇 一善	
	湯梨浜町立図書館	館長	杉村 和祐	
	湯梨浜町国民宿舎水明荘	支配人	小椋 誠	
	湯梨浜町みらい創造室	室長	西原 秀昭	事務局
	湯梨浜町みらい創造室	未来創造係長	谷岡 雅也	事務局
	湯梨浜町みらい創造室	活力創造担当係長	音田 将人	事務局

参考資料:湯梨浜町の人口動向

資料1

○令和2年の出生数と死亡者数は前年に比べて減少傾向であり、自然減は前年より減少の傾向にある。
○令和2年の町外からの転入・転出は前年に比べて減少傾向にあるが、社会減となっており、県外からの転出入は、昨年以上の社会減となっている。

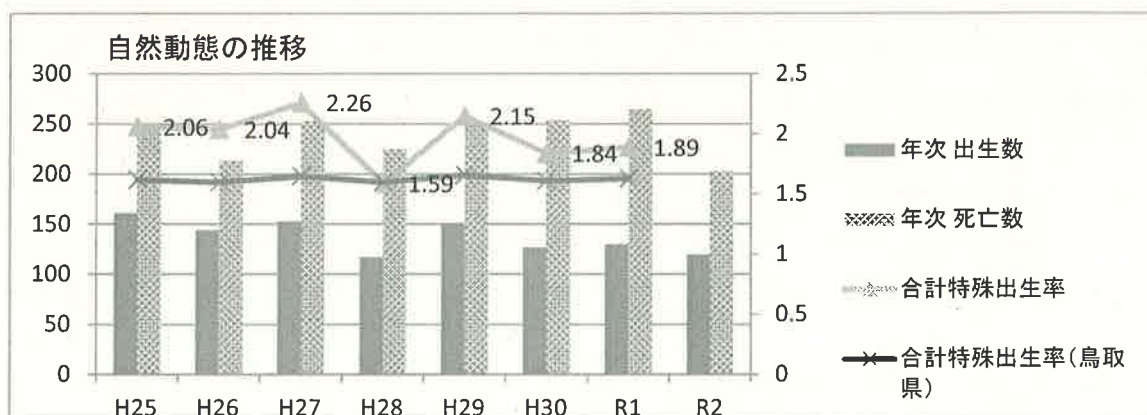
1 自然動態の推移

【自然動態の推移】

年次	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
自然増減	▲ 83	▲ 70	▲ 100	▲ 108	▲ 99	▲ 127	▲ 135	▲ 83
出生数	161	144	153	117	151	127	130	120
死亡数	244	214	253	225	250	254	265	203

【出生数と合計特殊出生率の推移】

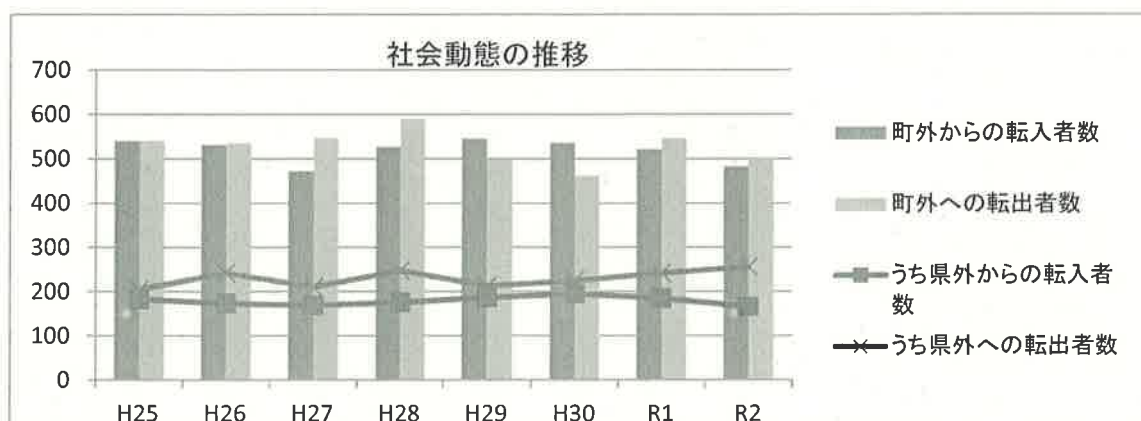
年次	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
出生数	161	144	153	117	151	127	130	120
前年比		▲ 17	9	▲ 36	34	▲ 24	3	▲ 10
合計特殊出生率	2.06	2.04	2.26	1.59	2.15	1.84	1.89	
合計特殊出生率(鳥取県)	1.62	1.60	1.65	1.6	1.66	1.61	1.63	



2 社会動態の推移

【社会動態の推移】

年次	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
社会増減	0	▲ 4	▲ 75	▲ 62	47	74	▲ 25	▲ 17
町外からの転入者数	540	531	472	527	545	535	521	483
町外への転出者数	540	535	547	589	498	461	546	500
うち県外転入増減	▲ 22	▲ 69	▲ 41	▲ 72	▲ 26	▲ 30	▲ 57	▲ 90
うち県外からの転入者数	183	173	169	176	187	195	185	166
うち県外への転出者数	205	242	210	248	213	225	242	256

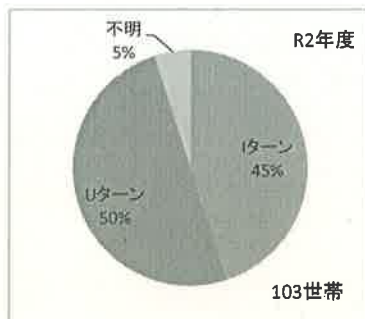
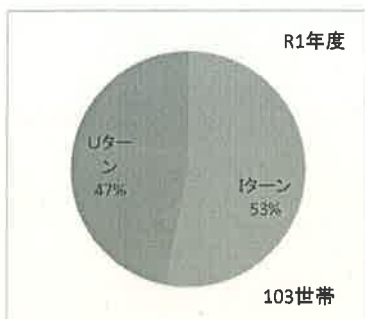


出典: 出生数、死亡数、転入者数…「鳥取県の人口推計」
合計特殊出生率…県福祉保健課が算出

●県への報告数(参考値)

	R1	R2
世帯数	103	103
人数	142	134

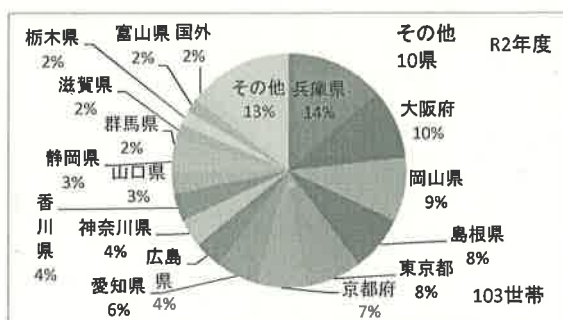
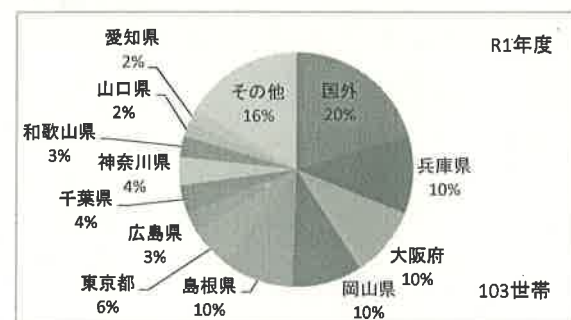
●県外からの移住 Iターン、Uターンの割合



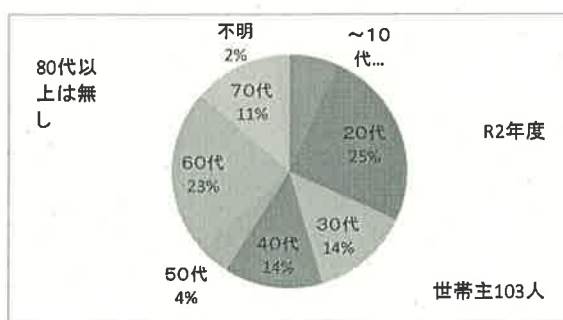
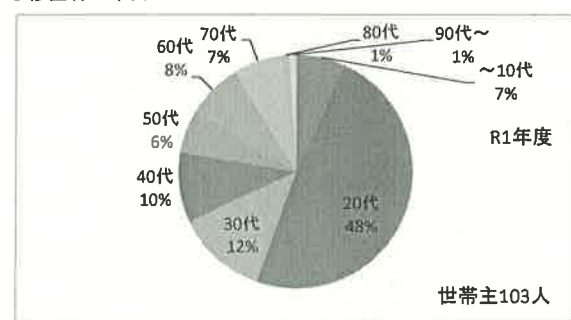
●県外からの移住者 転入先地域の割合



●移住前の住所



●移住者の年代



湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組状況

1. 取組状況の概要(令和2年度)

取組が達成済あるいは計画どおり以上に進んでいる項目は約57%(55/97項目)

評価区分	1年目評価	
A:達成済、事業完了	8	55
B:計画以上に進んでいる	10	
C:計画どおりに進んでいる	37	
D:計画より遅れている	38	
E:未着手、未実施、先送りなど	4	
合計	97	

基本目標 I 活力ある元気なまち

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標 (KPI) 一覧

資料 4

●数値目標(令和3年度)

目標指標	設定の考え方	現状値 (R1)	実績					目標値 (R6)	担当課
			R2	R3	R4	R5	R6		
温泉宿泊客数	今後も現状の宿泊客室数を維持することを前提に、国内交流人口の減少が見込まれる中ではあるが、教育旅行やコンベンションの誘致、インバウンドの促進など多角的な取り組みにより、R1実績を上回る宿泊者数を目指す。	【年間】 135,662人	67,068人					17万人 (年間)	産業振興課
新規就業者数 (常用雇用)	今後の労働力人口の減少と現在の雇用情勢の継続による減少と、地方創生企業支援金・移住支援金事業による東京圏からのUJターンによる起業、就業者の増加により、現状維持を見込む。	159人	129人					200人 (年間)	

●具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI)

項目	具体的な施策	指標	設定の考え方	現状値 (R1)	実績						目標値 (R6)	担当課
					R2	R3	R4	R5	R6	算出根拠等		
農林水産業の振興	○二十世紀梨等の特産物を活かした「果物大園」の推進 ○新規就業者の増加支援、担い手確保・育成、集落活性化の促進 ○農林水産物や食など地域の魅力を活かした名産・名物の開発・販路開拓	梨栽培面積	急峻で生産性の低い二十世紀梨園の減少に対し、平坦で生産性の高い新品種も含めた梨園を増やし、全体面積をR1年度対比1割減の面積で留める。 目標面積 梨全体130ha 二十世紀梨70ha その他品種60ha	138ha	125ha					JA、東郷果実部により令和2年度産の面積を集計。 二十世紀梨72ha その他53ha 計125ha	梨全体 130ha	産業振興課
	○遊休農地及び耕作放棄地解消への対策 ○東郷池や日本海の豊かな海産物を活かした漁業の振興	梨新品種への改植・新植	R1目標では、スーパー梨園地や松崎駅南団地の新植により目標を達成した。今後とも奨励品種の積極的な導入を支援し、上段梨全体130haを維持するたために年間1haの増加を図っていく。	2.48ha 【累計】 27.9ha	新植0.76ha 改植0.20ha 【累計】 27.7ha 累計は裏面により減					新品種は「新甘泉」、「王秋」。新改植は鳥取県生産振興事業補助金を活用した植栽面積で累計値の内数。累計値は年次別品種別面積表(東郷果実部)による。	新品種 5.0ha	

● 具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI)

項目	具体的な施策	指標	設定の考え方	現状値 (R1)	実績						目標値 (R6)	担当課
					R2	R3	R4	R5	R6	算出根拠等		
農林水産業の振興	○二十世紀梨等の特産物を活かした「果物大園」の推進 ○新規就農者の増加支援、担い手確保・育成、集落営農化の促進 ○農林水産物や食など地域の魅力を活かした名産・名物の開発・販路開拓 ○遊休農地及び耕作放棄地解消への対策 ○夷郷池や日本海の豊かな海産物を活かした漁業の振興	新規就農者	就農相談件数は毎年一定数あり、梨産地再生プラン等による就農者確保や支援に積極的に取り組み、国・県事業活用者を年2名ずつ増やす。	2人 【累計】 16人	3人 【累計】 19人					3人(真木・安藤・山田)累計は前年度の累計値に3人を加えたもの。	新規就農者 10名増	産業振興課
		認定農業者 (家)数	既存農業者への声掛け、新規就農者の経営発展などで新たな認定農業者を年2名ずつ増やす。	1経営体 【累計】47経営体	3経営体 【累計】50経営体					新規認定3経営体	新たな認定 農業者 10名増	
		GIマーク、商標権、意匠権等の取得 件数	GI申請に向けた準備を進めている「東郷梨二十世紀」の認証と、商標権未取得の農産物(野花梅、とまり美人等)について取得に向けて継続して取り組み。	0件 【累計】1件	0件 【累計】 1件					令和2年10月にGIマーク「東郷二十世紀梨」を農水省に申請済。現在、審査中。とまり美人はスイカ部会で取得に向けて協議中。	3件	
		利用権設定 面積	農業者の高齢化・後継者不足により耕作を依頼される農地は増えたと見込まれる。一方で、担い手の耕作可能面積にも限界がある。荒廃農地の発生を防ぐため、担い手を確保しつつ、担い手への農地集積を年8haずつ増やす。	5ha 【累計】 264.9ha	3ha 【累計】 267.8ha					農地基本台帳より	利用権設定 面積 【累計】 300ha	

● 具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI)

項目	具体的な施策	指標	設定の考え方	現状値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	算出根拠等	目標値 (R6)	担当課
農林水産業の振興	○二十世紀梨等の特産物を活かした「果物大国」の推進 ○新規就農者の増加支援、担い手確保・育成、集落営農化の促進 ○農林水産物や食など地域の魅力を活かした名産・名物の開発・販路開拓 ○遊休農地及び耕作放棄地解消への対策 ○東郷池や日本海の豊富な海産物を活かした漁業の振興	シジミの漁獲量	R1目標の成果としてH28から連続して120トン以上の漁獲が続いてきた。しかし自然環境の変化により、生息数の減少が確認されている。水質管理により生産量をあげていき、計画期間の累計を560トンとする。(栽培漁業センターと協議) R2～3 100t/年、R4～6 120t/年	95t	74t					東郷湖漁協から聞き取り R2年度の漁獲量	【累計】 560トン	産業振興課
		漁業経営体数	高齢化により経営体の減少が進むが、定置網漁業や朝市の開催、陸上養殖で港周辺を活性化、沿岸漁業の魅力発信に努め、岸の補助制度である独立型漁業研修事業を活用しながら、新たな経営体の育成を図る。	0経営体 【累計】 40経営体	1経営体 【累計】 41経営体				41経営体 昨年比 1増 (泊地域30 羽合地域11)	現状維持 40経営体		
観光産業の振興	○「グラウンド・ゴルフ」や「ウォーキング」など本町の特性を活かし、国内はもとよりインバウンドを推進 ○はわい温泉・東郷温泉を活かした観光地としての魅力向上(滞在型観光・周遊観光の推進) ○天女のふる里づくり事業による、交流人口の増加と地域の活性化の推進 ○観光客に対応したWi-Fiの整備、誘客キャンペーンなどの推進(多言語対応、利便性の向上) ○戦略的な情報発信と着地型や体験型の観光メニュー造成、誘客	海外からのイベント参加者数	(グラウンド・ゴルフ) トップセールス他海外へPRを行い新規参加国を増やすとともに、これまでに参加している国の継続した参加を見込む。年間10か国の参加を目指す。合わせて新規参加国を5年間で10か国を目指す。(内数) (ウォーキング) 済州オルレとの「友情の道」協定をR2.11に締結した。締結後の相互PRにより済州オルレ関係国(韓国)からの来町を見込む。	■GG 149人 ■天女 ウォーク 0人 【累計】 816人	■GG 0人 ■天女 ウォーク 0人					(グラウンド・ゴルフ)国際大会)※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 (天女ウォーク)※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	【累計】 2296人 (1480人増)	生涯学習・人権推進課／健康推進課
		海外からのイベント参加国数	(グラウンド・ゴルフ) トップセールス他海外へPRを行い新規参加国を増やすとともに、これまでに参加している国の継続した参加を見込む。年間10か国の参加を目指す。合わせて新規参加国を5年間で10か国を目指す。(内数) (ウォーキング) 済州オルレとの「友情の道」協定をR2.11に締結した。締結後の相互PRにより済州オルレ関係国(韓国)からの来町を見込む。	■GG 8か国 ■天女 ウォーク 0か国 【累計】 49か国 【実参加国 累計】 22か国	■GG 0か国 ■天女 ウォーク 0か国				(グラウンド・ゴルフ)国際大会)※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 (天女ウォーク)※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	【累計】 109か国(60か国増) 【実参加国 累計】 32か国(10か国増)		

● 具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI)

項目	具体的な施策	指標	設定の考え方	現状値 (R1)	実績						目標値 (R6)	担当課
					R2	R3	R4	R5	R6	算出根拠等		
観光産業の振興	○「グラウンド・ゴルフ」や「ウォーキング」など本町の特性を活かし、国内はもとよりインバウンドを推進 ○はわい温泉・東郷温泉を活かした観光地としての魅力向上（滞在型観光・周遊観光の推進） ○天女のふる里づくり事業による、交流人口の増加と地域の活性化の推進 ○観光客に対応したWi-Fiの整備、誘客キャンペーンなどの推進（多言語対応、利便性の向上） ○戦略的な情報発信と着地型や体験型の観光メニュー造成、誘客	外国人宿泊者数	H26(5,303人)～H30(6,689人)の5年間の増加率126%を用いて算出。 直近H30の実績6,689人×増加率1.26÷R6目標8,500人	【年間】 4,018人	10人					旅館組合宿泊客数報告による	年間8,500以上	産業振興課
		着地型観光商品利用者数	令和元年度は国際情勢や渡航手段の運休により韓国ツアーの客足が激減し、実績も異例の低い数字となることが見込まれるため、直近の実績であるH30年度(1,724人)を基準とし、20%増の2,000人を目標とする。	【年間】 1,155人	1,423人					観光協会実績報告により 教育旅行(ドラゴンカヌー・グラウンド・ゴルフ) 1,105人 滝床料理87人 その他 231人 計 1,423人	年間2,000以上	
商工業の振興	○事業所の新設や新分野への進出、新製品開発、6次産業化等に対する支援 ○地元資源を活用した町内商工業者の振興と活性化の推進 ○ICTを活用したコンテンツ系企業など企業誘致の推進 ○商工団体など関係機関と連携した事業承継の推進	支援制度を活用した事業者数	R1実績見込みに、地方創生起業支援金による東京からのUIJターンによる起業を加えて設定する。	8件 【累計】 32件	7件					■雇用促進奨励金＝1件 ■チャレンジジョブ支援奨励金＝2件 ■創業・販路開拓支援補助金＝4件	5件 【累計】 25件	産業振興課／企画課
		事業承継に着手した事業者数	引き継ぎに向けた取り組みを始める事業者を年間1事業者ずつ増加させることとして設定する。	-	5件					湯梨浜町商工会による事業承継の個別支援件数。	1事業者 2事業者 【累計】 5事業者 10事業者	
雇用の推進	○地域産業の振興、起業家支援、企業誘致や雇用奨励制度などによる雇用の創出 ○就職情報提供による企業と学生とのマッチング促進 ○高齢者の経験や知識を活用した就労の支援	支援制度を活用した雇用人数	R1実績見込みに、地方創生移住支援金による東京からのUIJターンによる就業を加えて設定する。	4人 【累計】 14人	1人					雇用促進奨励金＝1人	3人 【累計】 15人	

基本目標Ⅱ 安心して暮らせるまち
第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)一覧

●数値目標(令和3年度)

目標指標	設定の考え方	実績					目標値 (R6)	担当課
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	
合計特殊出生率	H30の国の合計特殊出生率1.42、県1.61で年々減少傾向にあることから、現状維持を目標とする。	1.84 (日本人人口1.88)	1.89 (日本人人口1.94)				2.07	子育て支援課
出生数	過去5年出生数平均134人、出生数はわずかに減少傾向にあることから、第1期当初(H27)の出生数維持を目標とする。	127人	118				150人 (年間)	子育て支援課

●具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)

項目	具体的な施策	指標	設定の考え方	現状値 (R1)	R2	R3	R4	実績		目標値 (R6)	担当課
				R5	R6	算出根拠等					
子育て環境の推進	○安心して子育てができる保育サービスの充実など環境整備の推進(子育て世代の経済的な負担の軽減) ○妊娠前から子育て期にわたる総合的相談支援を行うワンストップ化を推進 ○放課後児童クラブや放課後子ども教室の充実、開かれた学校づくりなど、地域で子どもたちが安全で安心して過ごせる居場所づくりの推進	2歳未満児を家庭で育てる率	年度末時点において、2歳未満児を家庭で育てる率を70.3%以上とする。H30年度末時点において67.3%、年間0.5%増とし、今後6年間で3%増とする。	82.67%	78.17%					70.3% (2歳未満児の家庭子育て率)	子育て支援課
	第3子以降出生数	過去5年間で目標値の年間30人を上回ったのは平成29年度のみであり、H26～R1の6年間についての平均出生数は28.8人であったため年間での目標値を引き続き30人とし5年間で合計を150人とする。	26人 【累計】145人	32人 【累計】32人				令和2年度3月末時点で祝金の支給決定、支払いした件数	150人		
	こども園待機児童数	待機児童解消を目指すことを目標とする。	4人	0					3月末時点の入園申込み状況による見込み。	0	

●具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)

項目	具体的な施策	指標	設定の考え方	現状値 (R1)	実績						目標値 (R6)	担当課
					R2	R3	R4	R5	R6	算出根拠等		
子育て環境の推進	○安心して子育てができる保育サービスの充実など環境整備の推進(子育て世代の経済的な負担の軽減) ○妊娠期から子育て期にわたる総合的相談支援を行うワンストップ化を推進 ○放課後児童クラブや放課後子ども教室の充実、開かれた学校づくりなど、地域で子どもたちが安全で安心して過ごせる居場所づくりの推進 ○子どもたちの健やかな成長を地域全体で支える教育環境づくりの推進	自主学习の広場利用者数	【小学生】 各教室20人程度の児童(対象学年の児童数の20%程度)を想定している。(泊小の20%程度は10人程度) 【中学生】 各年とも対象となる中学1年生全体人数の20%の参加を目標に取り組んでいく。対象生徒数は約130～150人程度である。	小学生 57人 中学生 25人 【累計】 小学生 259人 中学生 83人	小学生 52人(対象児童の21.2%) 中学生 15人(対象生徒の約10%)					ゆりはま自主学习の広場、地域未来塾を利用した小学生及び中学生の利用者数	小学生 250人 中学生 100人	教育総務課
子育て環境の推進	○地域の中で育ち、湯梨浜のすばらしさを体感し、ふるさとに愛着をもち大切に守っていこうとするふるさと教育の推進	ふるさとを愛する児童の割合	アンケートを実施し、「住んでいる地域や湯梨浜町が好き」の割合85%以上をめざす。 設定根拠: 昨年度のアンケート結果 「地域や町が好き」の割合 83.4%	87.4%	91.8%					住んでいる地域や湯梨浜町が好き 85%以上 アンケート調査: 12月実施(小3～中3)		企画課
子育て環境の推進	○仕事と生活の調和を図るワーク・ライフ・バランスの環境づくりを事業者とともに推進	鳥取県男女共同参画推進企業の認定企業数	第4次ゆりはま男女共同参画プランにおいてR5年度の目標値を20社以上(単年度換算では1社以上)としていることからその目標値にR6年度分2社を加えた。	1社 【累計】 16社	0社 【累計】 16社					県からの通知による。	【累計】 21社	企画課
子育て環境の推進		イクボス宣言企業数	第4次ゆりはま男女共同参画プランにおいてR5年度の目標値を15社以上としている。(現状7社)		6社 【累計】 13社					県のホームページによる。	【累計】 17社	企画課

● 具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI)

項目	具体的な施策	指標	設定の考え方	現状値 (R1)	実績				目標値 (R6)	担当課
					R2	R3	R4	R5	R6	
地域福祉の推進	○地域や個人に密着した健康づくりの推進 ○ボランティアとして地域の自主的な介護予防や健康づくり活動の指導や支援の推進 ○保健師等による定期的な訪問による、相談体制の充実を図る ○町民や移住者が健康で生涯活躍ができるまちを推進	全世代・全員の活躍のま (生涯活躍のまち)事業に参画する民間事業者・団体数	参画団体を1年に1団体以上、合計5団体以上の参画団体増加を目指す。R1:30団体→R6:35団体	0団体 【累計】 30団体	2 【累計】 32団体					みらい創造室
		食と健康のまちづくり事業による測定数値改善割合	参加者の体組成計データ抽出により、年初回と年末尾との測定結果(体脂肪率)を比較し、改善された者の割合を7割以上とする。	55.32% 【52人/94人】	40.6% 【134人/330人】					健康推進課
結婚の希望する男女の出会いは、結婚の機会を創出し、結婚の機会を増やすことにより、少子化・人口減少対策の推進	結婚の希望する男女の出会いは、結婚の機会を創出し、結婚の機会を増やすことにより、少子化・人口減少対策の推進	結婚支援事業による結婚件数	鳥取中部マッチングによりマッチングできる機会が増えることにつながるため、年1件の増を見込む。	0件 【累計】 1件	0件 【累計】 1件					企画課

基本目標Ⅲ 町民みんなが創るまち
第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標 (KPI) 一覧

●数値目標(令和3年度)

目標指標	設定の考え方	現状値 (R1)	実績					目標値 (R6)	担当課
			R2	R3	R4	R5	R6		
県外からの IUUターナー者数	H27～R1の5年間の累計が900人を 超過する見込み。これまでに1年あたり 170人だった目標を185人に増やし、 引き続きIUUターナー者数の維持・増 加に努める。	195 【累計】922 人	165					925 (令和2年4月～令和3年3 月)男性:91人、女性:74 人 (町民課住基データより)	みらい 創造室
		△25	△17					均衡 【累計】 (1月～12月)転入:483 人、転出:500人 (鳥取県統計課「鳥取県 の推計人口」より)	
転入転出異動	①H27～R1の5年間で均衡に近い 数字となっている②年毎のIUUター ナー者数は微増③転出者数が減ってい ない④人口ピジョンでは減少が見込 まれる、の4点から、R2～R6の5年 間での累計の均衡を目標とする。	△25	△17						

●具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI)

項目	具体的な施策	指標	設定の考え方	現状値 (R1)	実績					目標値 (R6)	担当課
					R2	R3	R4	R5	R6		
多様な移住ニーズに 対応する相談体制の充 実やIUUターナーの促進 に向け広く本町の魅力 を発信 ○若者夫婦や子育て世 代の住居支援をはじめ 、町内への移住や定 住を促進 ○空き家を活用して移 住希望者が求める住ま い環境づくりを推進 ○移住定住希望者が本 町の暮らしを体験できる よう、お試し住宅の設置 や環境づくりを図る。 ○鳥取大学等との連携 による「地(知)の拠点C OC+」事業に参画し、 地域の活性化・定住化 につながる人材の育成 を図る	空き家バン ク成約件数	1期の目標であった年 間4件増を継続し、R6 目標値を累計で36件 とする。ホームページ による速やかな情報 提供を引き続き行うと ともに、みらい創造室 に配置した地域おこし 協力隊による空き家 掘り起しの取り組みと の連携により、空き家 バンクへの物件登録 件数を増やしていく。	3件 【累計】 13件	1件 【累計】 1件						【累計】 20件 (R2～R6) 空き家バンク成約実績 ■R2成約実績 1件 ■登録物件数 8件	企画課
			H27年度～R1年度の 累計見込である94件 を5年(1期分)で割った 年約18件の増加を見 込む。 東郷・泊地域などの中 山間地域について、 HPや広報紙だけでな く、住宅メーカーへの PRにより移住の促進 を図る。	22件 【累計】 91件	19件 【累計】 19件					【累計】 90件 (R2～R6) 実績(3/31現在) ◆若者夫婦・子育て世代 交付決定:14件 ◆3世代同居世帯 交付決定:1件 ◆移住定住 交付決定:4件	

● 具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI)

項目	具体的な施策	指標	設定の考え方	現状値 (R1)	実績						目標値 (R6)	担当課
					R2	R3	R4	R5	R6	算出根拠等		
まちのにぎわい創出や拠点の形成	○町民や団体が主体となつて創意工夫による魅力的な地域づくり活動を支援 ○災害に強いまちづくりを進めるため、地域住民が主体的・意欲的に取り組む防災対策を推進 ○いつでも、誰もが集える拠点を整備するため、バリアフリーなど環境づくりを推進 ○分散している様々な生活サービスや地域活動の場などをつなぐ「小さな拠点」づくりを推進するほか、企業等と連携した移動販売や買い物支援など多機能なサービスの充実を図る ○地域に伝わる伝統芸能活動や文化資源の活用による地域振興 ○ICTの急速な進化がもたらす社会への対応 ○地域資源を有効活用した「頼しの地域づくり」の推進 ○温泉・熱・風力・太陽光など自然エネルギーの利活用を図る ○環境・健康づくり・福祉・教育等様々な分野における団体の育成を図り、自助・共助を推進するほか、住民参画による行政推進を目指す ○地域課題の解決や将来的な移住への裾野を拡大するため、地域住民との交流や町との関わりを継続する関係人口の創出、拡大を目指す	新規自主防災組織取組件数	町内全集落における自主防災組織の設立を目標とする	71件	0件					自主防災組織設立実績	75件	総務課
		集会所バリアフリー件数	集会所バリアフリー改修について、前期の19件に加え、25件増加(年5件の増)を目標として取り組む。	19件	6件 【累計】25件					平成27年度 3地区 28年度 6地区 29年度 4地区 30年度 3地区 令和元年度 3地区 2年度 6地区 計 25地区	25件 【累計】44件	総合福祉課
		小さな拠点づくりにおける地域活動団体の設立	当初は泊地域での買い物機能の確立を目標としていたが、R2年度地域協議において、店舗設置は行わず移動販売業者の支援を行う方針となり目標を地域活動団体の設立に変更し支援する。	0団体	0団体					小さな拠点(買い物機能)運営団体設立に向けて、地域住民が協議を行ったが、店舗設置は行わず、新規移動販売事業者の支援を行う方針となった。	1	みらい創造室
		温泉熱エネルギー利用施設数	引き続き国庫補助金や先進事例等の情報収集に努めながら、事業可能性のある有効な活用分野を模索していく。	0施設	0施設 【累計】3施設					増減なし	【累計】4施設	企画課
		NPO法人、ボランティアグループの数	団体登録や補助申請の手続きの簡素化も検討して、1期の当初の目標であった7団体の増を見込む。	1団体 【累計】48団体	2団体 【累計】50団体					新規団体として2件登録あり。	【累計】55団体	

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

資料 5

事業名	計画	実績	目標	達成率	KPI	評価	担当課
湯梨浜町総合戦略策定事業	湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する事業を着実に実施していくとともに、成果検証を行い改善を図っていく。 ◆総合戦略会議、成果検証会議委員報償金 44千円 ◆報告会、説明会、研修会への参加旅費 318千円 ◆消耗品の購入、郵送料 70千円 令和元年度に策定した第2期総合戦略に関する事業の着実な実施のため、成果検証のための会議を開催していく。	■5月12日に「ゆりはま未来づくり本部会議」を開催し、令和2年度のKPI、事業計画について、協議をした。 ■6月5日に「ゆりはま創生総合戦略会議」を開催し、令和2年度の戦略のKPI、事業計画を説明し、意見交換を行った。また、総合戦略の改訂について、承認を得た。 ■10月13日に「ゆりはま未来づくり本部会議」を開催し、令和2年度の各事業の進捗状況について、確認、協議をした。 ■12月4日に「ゆりはま創生総合戦略会議」を開催し、令和2年度の実績と令和3年度の方針について、意見交換を行った。	総合戦略会議、成果検証会議を各1回以上開催する	100%	【評価：C 計画どおりに進んでいる】 総合戦略の令和2年度の計画に対して具体的な質問、意見があり、活発な議論ができていた。12月4日の2回目の会議で、今年度の実績状況と来年度の方針について、新型コロナウイルス感染症による影響や、今後の方針について意見交換が行われた。	みらい創造室	
農産物販路拡大及びブランド化推進事業	二十世紀梨販路拡大PR事業 30年度まで計画してきた進物用パンフレット作成については、内容などを再検討しJA東郷果実部で県の他事業を活用して作成していく。 販路拡大、単価増額については、初売りなどへ出向き販売PRをして増収につなげる。 【販売PRイベント】 芸人・観光大使活動謝金 12,000円 特別旅費 45,000円 PR用梨 10,000円	■進物用パンフレット作成は、二十世紀梨出荷シーズン終了後に作成予定であったが、出荷数が少なく、積極的な宣伝活動ができなかった。 ■JA東郷果実部による販売PRイベントは、コロナ禍で市場や町外でのイベントをすることができず、You Tubeやリモートによる実施となった。 ■首都圏店舗とタイアップした湯梨浜特産フェアを開催し、梨のほかメロン・スイカも含めた特産品販売PRを行い、ブランド化を図った。 ■輝太郎の果樹棚整備6.0a(1戸)を実施した。	梨の平均単価の単価増(最終的には全品目で+40円/10kg)	100%	【評価：C 計画どおりに進んでいる】 パンフレットはGI取得を見込んで作成予定だったが、現在審査中のため取得後に取り組む。販売PRイベントはコロナ終息後の動きとする。二十世紀梨の単価は昨年度実績4,657円/10kgに対し5,351円/10kg(東郷果実部第18回総会資料)。出荷量が少なく高値となった模様。	産業振興課	
鳥取県等生産振興事業(農業生産現場強化事業)①	鳥取県がぶどう生産振興事業 鳥取県が新規栽培を推奨している新品種(輝太郎、シャインマスカット)への新植、それに伴う園地の整備(ハウス新設、果樹棚、園内道、かん水施設等)、育成管理を支援する事業。 JAが要望を取りまとめたところ、柿、シャインマスカットとも新植希望者が無かったが、継続して普及促進を図っていく。 ■意見交換会を計画 ぶどう生産者との意見交換会を開催し、生産振興に向けた問題と改善策を整理し、制度設計も含め町の支援の在り方を検討する。		新品種(シャインマスカット)の新植面積の20a増	0%	【評価：E 未着手、未実施、先送りなど】 シャインマスカットの新植要望がなく、引き続き生産部と協議を行い、面積の拡大を図る。	産業振興課	

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			目標	達成率	評価	
4 鳥取梨等生産振興事業(農業生産現場強化事業)②	・鳥取梨生産振興事業(地方創生) 【事業内容】県が注力している新品種(新甘泉、秋甘泉、王秋)を中心に栽培に必要な資材(苗木、土壌改良剤等)・施設(果樹棚、かん水施設、園内道、SSなど)の整備を支援。 【補助率】新品種の植栽を伴う場合は2/3(県1/2+町1/6)、既存の品種が中心の場合は1/2(県1/3+町1/6) 【対象者】町内で梨を栽培している農業者(認定農業者は個人で取組可)または農業協同組合 ◆補助金 20,978千円 内訳: 新甘泉等特別対策 16,374千円、梨生産拡大 2,430千円、低コスト・体制強化 2,174千円	■新甘泉特別対策14,995千円、ジョイント栽培拡大1,612千円、低コスト・体制強化740千円など17,347千円の事業実施を計画。新甘泉の新植が76a(昨年比28a増)となり、農家所得の向上が期待でき、また防除用機械(135a分)を購入し、省力化を図った。 ■ゴールド二十世紀梨のハウス栽培に取り組むため、ハウス設置支援14,560千円を実施。生産基盤強化を図った。	対象農業者に よる省力化防 除面積の 20%増	100%	【評価:A 達成済、事業完了】 防除用機械の整備支援を行い、計画どおり省力化防除面積が増加した。	産業振興課
5 東郷梨地域連携栽培プロジェクト事業	梨特産地維持のための企業型梨生産プロジェクト。H27からの補助事業期間は終了したが、引き続き梨栽培を中心に、取り組む。後継者のいない梨園を借りて梨を栽培し、産地の維持に寄与するとともに規格外の梨を加工品用に出荷する等で6次産業化を目指す。 ○R2年度計画 梨生産 60a (うち 梨の木オーナー15a 梨葉ビジネス 15a) 【事業者】東郷梨地域連携栽培プロジェクトチーム	■プロジェクトによる梨栽培を継続して実施。選果場出荷のほか梨オーナー制度を実施した。オーナー園は17aで収穫体験、梨の贈答を行っている。また梨の葉のお茶やドレッシング加工し、オーナーへ送っている。 令和2年でプロジェクトチームは解散(令和元年に事業終了)し、JA、センコース、クールファームなどそれぞれが連携しながら事業にあたることとなった。(終了)	プロジェクトの 持続的展開	100%	【評価:A 達成済、事業完了】 廃園化抑止の一助となった。今年度もってプロジェクトチームは解散(事業は令和元年度で終了)。	産業振興課
6 二十世紀梨生産振興事業	【地方創生推進交付金】 県事業の対象とならないオリジナルの苗木やハウス二十世紀梨の資材(苗木など)、ハウスの機能強化・強度向上に対して支援を行う。 【補助率】 1/2 【対象者】 町内で二十世紀梨を栽培している農業者(認定農業者は個人で取組可)または農業協同組合	特産果物生産振興事業で実施(二十世紀梨を守る事業は令和元年度で特産果物生産振興事業へ包含)	新植またはハ ウス梨の機能 向上面積を 50a以上の増 とする			産業振興課

13 特産果物生産振興事業へ統合し、削除します。

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績	KPI		担当課
			目標	達成率	
7 湯梨浜版担 い手認定	○湯梨浜町担い手ステップアップ支援事業 【対象者】①認定農業者、②準認定農業者、③認定新規就農者、④準認定新規就農者、⑤集落営農組織 【支援内容、補助率等、対象者】 ○就農奨励金：就農3年以内の対象者に定額30万円、④ ○新規就農者住宅家賃補助：町外から転入する就農者に家賃上限2万円を補助、③・④ ○中古機械導入補助：中古機械導入費の1/3(上限10～50万円)を補助、①・②・③・④・⑤ ○農業機械修理補助：農業機械・施設の修繕費の一部を補助(5～30万円)、①・②・③・④・⑤	○中古機械導入補助3件 補助金額1,500千円 ○農業機械修理補助8件 補助金額1,390千円 ○新規就農者住宅家賃補助1件 補助金額120千円	新たな認定農業者数 2名	100%	【評価：A 達成済、事業完了】 新たな認定農業者3件認定。
8 中核的担い 手農家育成 奨励金交付 事業(農業 生産現場強 化事業)	【事業内容】 認定農業者あるいは新規就農者が町内の農地を3年以上借り受け、奨励金を交付する。本町の農地を守るため、27年度から町外の認定農業者が借り受けした場合も対象としている。 町内者：2,000円/10a×年 町外者：1,000円/10a×年	○町内者 権利設定面積 2384.80a 補助金額 2,052,240円	権利設定面積 8ha	100%	【評価：B 計画以上に進んでいる】 権利設定面積は23.8ha。 計画的に権利設定しており、今後も増加見込。
9 知的所有権 取得支援	○知的所有権取得支援事業 知的財産権(登録商標、GIマーク、意匠権など)の申請・取得を希望する事業者に対して経費の一部を支援。 【補助率】1/2(ただし、上限25万円とする) 【対象者】生産者等(生産者団体、食品加工業者を含む)、農産加工グループ、農業法人、JA等 ◆補助金250千円×1団体＝250千円	○GIマークについて、10月に「東郷二十世紀梨」を農林水産省へ申請した。現在、農林水産省で審査中である。	新規取得：1 件	50%	【評価：C 計画どおりに進んでいる】 10/6付でGIマーク(東郷二十世紀梨)申請済。現在、農水省で審査中。
10 パッケージ デザイン作 成助成事業	○パッケージデザイン作成助成事業 町内で製造された農産物の販売、または町内産の原料等を使用した加工品を製造販売する際に必要な、商品のパッケージデザインを新たに行う事業者に対し、経費の一部を支援。 【補助率】1/2(ただし、上限8万円とする) 【対象者】生産者等(生産者団体、食品加工業者を含む)、農産加工グループ、農業法人、JA等 ◆補助金 80千円×1団体＝80千円 (実施希望があれば補正予算により対応する。)	○事業者の実施要望がありませんでした。	新規作成：1 件	0%	【評価：E 未着手、未実施、先送りなど】 未実施

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績	KPI		担当課
			目標	達成率	
11 東郷湖漁業振興事業	○東郷湖漁協漁業振興費補助金【事業内容】漁協が実施する覆砂事業費を補助し、東郷池の水質浄化及びシジミの増殖を図る。 ◆補助金 250千円 ○内水面漁環境保全事業補助金【事業内容】東郷湖の浮遊ゴミ等の処理費を補助し、漁環境を保全する。 ◆補助金 233千円	○東郷池クリーンアップ事業 7/3 交付決定 9/12 東郷湖漁協による池内清掃実施 ・総事業費 641千円 ・補助金 213千円 ○東郷池覆砂事業 7/3 交付決定 ・総事業費 817千円 ・補助金 250千円	シジミ漁獲量 25t増	達成率 61%	産業振興課
12 沿岸漁業活性化推進事業	町内の漁業者の漁業経営改善を図るために、燃料高騰対策として輸送量コスト支援並びに漁船用機器導入支援を行う。 ◆輸送コスト支援補助金 30,000箱×100円×1/3＝ 1,000千円 ◆レーダー・コンパス導入支援補助金 2名分 3,135,000円×1/6＝ 523千円	○輸送経費補助事業 4/1 交付決定 ・総事業費 1,465千円 ・補助金 489千円 ○漁船用機器購入費補助事業 6/12 交付決定 7/30 変更承認 ・総事業費 3,070千円 ・補助金 512千円	経営改善機器導入支援漁家数 2戸	達成率 100%	産業振興課
13 特産果物生産振興事業	町の特産品である、二十世紀梨、ぶどう、イチゴ、メロン、スイカ、梅の生産を維持・拡大するため、県の補助事業にのらない品種について、生産者の要望に沿った支援を行う。 ブドウ連棟ハウス巻き上げ機設置 1/2補助 1,724千円 二十世紀梨苗木、栽培資材導入 2/3補助 52千円 果樹棚かん水施設設置 1/2補助 500千円 梨栽培ハウス更新・機能向上 1/2補助 1,000千円	■二十世紀梨等の特産農産物の生産を支援するため、特産農産物生産振興事業費補助金を新たに設け、ぶどう部会のぶどうハウス谷巻上設置2,278千円を支援した。また、二十世紀梨灌水施設機能強化、自然災害補強、高機能被覆など2,021千円を支援した。	設備導入支援農家数 5戸	達成率 100%	産業振興課
14 森林環境税関連事業	管理不足による森林環境の悪化が懸念される中、森林経営管理事業や放置竹林対策事業を支援する。 ◆森林経営管理事業 1,340千円 意向調査委託・管理権集積計画作成委託 ◆竹林対策事業 134千円 町放置竹林対策協議会 タケノコ掘り講習会、ウラ止め・間伐講習会 ◆森林整備基金積立金 4,826千円 令和元年度森林経営管理事業推進面積 18.22ha (意向調査回答面積 9.83ha)	■石脇・泊地内の意向調査を実施。昨年度意向調査を行った原・園地内では、経営に適した山林で町へ管理委託する者がいないため当該地の管理権設定なし。 ■竹林対策事業関連については、町放置竹林協議会2回開催。講演会1回開催。その他の計画していた講習会はコロナにより実施なし。 ■森林環境税と税の積立 4,826千円	森林経営管理事業推進面積 12ha	達成率 100%	産業振興課
15 ゆりはま農作業体験ツアー事業	就農希望者に本町での農作業体験ツアーを提供する。費用助成することで参加を促し、将来的な移住就農へとつなげる。 ◆交通費・宿泊費助成 110千円	■コロナ禍のためPRができず実施できていない。	参加者数 4人	達成率 0%	産業振興課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績	KPI		担当課
			目標	達成率	
16 グラウンド・ゴルフ国際化及び潮風の丘聖地化の推進①	【地方創生推進交付金】 グラウンド・ゴルフの国際化に向け、プロモーションDVDの多言語化を推進する。本年度はフィリピン、モルディブ、スリランカ(2言語)の3カ国、4言語版を追加。 ◆多言語DVD作成委託料 2,002千円	計画どおりプロモーションDVDの多言語化を行った。 フィリピン・モルディブ・スリランカ	①海外からのイベント参加者数 240人 ②海外からのイベント新規参加国数 2カ国	【評価】C 計画どおりに進んでいる】 制作した動画をYouTubeで公開した。 0%	産業振興課
17 グラウンド・ゴルフ国際化及び潮風の丘聖地化の推進②	グラウンド・ゴルフの国際化及び潮風の丘聖地化に向け、潮風の丘の施設等整備を行う。 ◆潮風の丘とより多目的広場の芝生の改設 30,313千円	多目的広場の芝生改設及び付帯設備工事の発注を行った。【30,174千円】 ・張芝工(高麗芝→グリーンバードJ) 4,760㎡ ・散水設備設置(給水加圧ポンプ、受水槽設置) 1式 ・散水用配管敷設 210m	①海外からのイベント参加者数 240人 ②海外からのイベント新規参加国数 2カ国	【評価】C 計画どおりに進んでいる】 芝の張替え(張芝工)及び付帯設備工事ともに年度内に完了した。 0%	産業振興課
18 グラウンド・ゴルフ国際化及び潮風の丘聖地化の推進③	【地方創生推進交付金】 グラウンド・ゴルフの国際化のため、海外普及活動・WMG2021関西のPR・国際組織の運営協力や、用具海外販売を促進する。 ◆ルール普及2,386千円 フィリピン、メキシコ、スペイン ◆用具提供2,989千円 未普及国を中心に用具を贈呈するとともに、湯梨浜まちづくり㈱による販売をPRする。 ◆国際組織運営協力492千円 町国際大会時に国際グラウンド・ゴルフ連盟と連携して、参加国代表者会議等を開催する。	◆ルール普及0千円 新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う入国制限等により、トップセールスを実施できなかったが、6月にインドネシア及び台湾の留日学生等を潮風の丘とまりに招いて、GG体験を実施した。 ◆用具提供1,656千円 湯梨浜まちづくり㈱による海外用具販売において、30%オフセールを6月から12月まで実施。3か国に3,200千円を売り上げた。 ◆国際組織運営協力0千円 グラウンド・ゴルフ国際大会YURIHAMA 2020の中止に伴い、参加国代表者会議も中止となったことから、未執行。	①海外からのイベント参加者数 240人 ②海外からのイベント新規参加国数 2カ国	【評価】D 計画より遅れている】 5月のグラウンド・ゴルフ国際大会及び10月の天女ウオーケが中止となり、目標達成とはならなかった。WMG2021関西に向け、目立ったPR活動は実施できなかったが、海外のGG協会等と連絡調整を密に行ったり、用具販売で例年の約5倍の売り上げを記録したりするなど、地道な普及活動を行った。 0%	みらい創造室

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			目標	達成率	評価	
19 ウオーキングリゾート構想の推進及びインバウンドの促進①	【地方創生推進交付金】 町の認定したウオーキングコースを生かし、国内外の交流人口増加と地域活性化を目指す。 湯梨浜町ウオーキングコースにおいて町の特産等でおもてなしを行う。 《ウオーキングリゾート推進事業》 ◆消耗品費 40千円 ◆通信運搬費 14千円 ◆筆耕翻訳料 180千円 ◆委託料 1,557千円 (うち、済州オルレとの友情の道事業委託費 1,386千円) ◆負担金 5千円	■6月に開催予定であったSUN-IN未来ウオークにて、済州オルレとの「友情の道」の調印式を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった。 ■新型コロナウイルス感染拡大の影響で国外への渡航が難しい状況であり、「友情の道」協定締結を11月4日にオンラインで実施した。 ■11月13日、社団法人済州オルレ日本支社長イ・ユミ氏をお招きし、「トレイルと観光」と題して講演会を開催した。 ■協定締結後の11月14日、「ゆりはま健康ウォーク」のコースとして設定し、約200名が参加。	①海外からのイベント参加者数 240人 ②海外からのイベント新規参加国数 2カ国	0%	【評価：D 計画より遅れている】 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、イベント等が中止となったことや、海外への渡航が難しく、海外からの参加者が見込めない状態であった。コース整備や案内看板等を作成し、新型コロナウイルス感染症の終息後に向けて環境整備を行った。	健康推進課
20 アロハカーニバル事業【I：③商工業の振興にも掲載あり】	本町にある羽合地域の「ハワイ」の知名度を活かした期間設定の取り組みとして、ハワイ風のアレンジした地元産食材を活用した料理メニュー開発・提供を行い、ヘルシーツーリズム展開業務等との連携により、本町への観光客の滞留性を高めるとともに飲食店の振興と地域の活性化を図る。 ○事業費内訳： オープンイベント 300千円 観光誘致費用(宿泊参加者プレゼント等) 365千円 イベントPR費用 720千円 事務費45千円 計1,430千円 ◆上記に対する補助金額 1,250千円	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、実行委員会で協議の結果、今年度の事業は中止とした。	①新メニュー提供店舗数:15店舗以上 ②新メニュー提供数:2,000食以上	0%	【評価：E 未着手、未実施、先送りなど】 実行委員会で協議。ハワイアンフェスティバル中止やコロナ禍において実施の判断に至らなかった。	産業振興課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

16

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			目標	達成率	評価	
21 天女のふる里づくり事業①	①東郷湖・未来創造会議事業 「天女のふる里づくり」事業の一層の伸展開に向け、地域おこし協力隊制度を活用して緑化・植花の取り組みを推進する。 ◆地域おこし協力隊員報酬 1,992千円 ◆社会保険料 336千円 ◆委員報償費等 86千円 ◆委員旅費 59千円 ◆消耗品 10千円 ◆通信運搬費 13千円 ◆交付金 1,664千円 ②花と緑のまちづくり支援事業補助金の交付 ◆補助金 400千円	①東郷湖・未来創造会議事業 ・9/3に今年度第1回目の東郷湖・未来創造会議を開催。委員からの提案事項についてワーキングチーム(WT)会議での検証を行うことになった。12/3、3/1にWT開催。新規事業等の検討協議を行った。3/29第2回東郷湖・未来創造会議を開催。事業取組状況及びWTでの検討状況の確認を実施。 ・地域おこし協力隊制度を活用して緑化・植花の取り組みを進めている。⇒町内各地区でコンテナガーデニング教室を開催。(東郷5/17、泊9/24、羽合12/14)また、どれみを利用したプチャコンテナガーデニング教室を4回開催。(9/17、11/19、1/21及び2/18) ・東郷湖周花マップの作成に着手。花の分布図の作成やデータ収集を行ったが、完成には至っていない。 ②花と緑のまちづくり支援事業補助金の交付 付 申請件数0件	①住民参加による緑化・植花の取組:7件	100%	【評価:A 達成済、事業完了】 東郷湖未来創造会議の開催や地域おこし協力隊の活動については、新たな取り組みをすることができた。特に東郷湖未来創造会議のWTでの検討については、来年度以降さらに協議を深めていきたい。花と緑のまちづくり支援事業補助金については、申請が無く、制度の見直しを実施する。	企画課
22 天女のふる里づくり事業②	①-1 天女を活用したまちづくりの一環として関係自治体へのイベント参加交流を実施 ①-2 子どもたちへの羽衣天女伝説の認知度を向上を目的にパンフレットを配付 ◆イベント参加旅費 100千円 ◆消耗品 78千円 ◆通信運搬費 10千円 ◆モニメント保険料 4千円 ◆高速道路使用料等 27千円 ②宇宙桜やハナミズキ、宙ユリなど花関連の情報を発信する。	①-1 新型コロナウイルスの影響により、天女サミット(10月予定)及び高石市のイベント(11月予定)が中止となった。 ①-2 子どもたちへの羽衣天女伝説の認知度向上を目的にパンフレットを制作し、小学3年生以上の児童に688冊配布。 ②空ユリの開花状況を町報にて周知した。宇宙桜の開花についてNHKニュースで取り上げられた。また、宇宙桜の開花状況について町HPに掲載した。	①イベント参加:2回 ②花関連情報の新聞、ニュース等での取り扱い:2回	50%	【評価:D 計画より遅れている】 今年度は、新型コロナウイルスの影響で関係自治体のイベントが中止となり参加できなかった。 町内小学3年生以上に天女パンフレットを配布し、郷土への関心を高めることができた。	企画課

16

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			目標	達成率	評価	
23 天女のふる里づくり事業③	・宇宙桜植樹交流事業 宇宙を旅した桜の種から生育した苗木の植樹をH29に実施。宇宙の桜＝「天女桜」として育て、観光振興に活用していく。これをシンボルとして、緑化推進の機運醸成にもつなげる。(植樹3年目) ◆旅費 194千円 ◆消耗品 53千円	宇宙桜プロジェクトチームの協力による緑化活動を実施。また、5/17、11/27及び3/11にガーデン内にラベンダーやアガパンサスの植花を行った。	宇宙桜に関連した住民参加による取組:2回	100%	【評価:A 達成済、事業完了】 今年度は地域住民の協力により、目標以上の回数をこなす事ができた。今後も、さらなる強化及び活動の拡大を図っていきたい。	企画課
24 天女のふる里づくり事業④	・天女のふる里東郷湖「花」基金積立金 天女を活用したまちづくりの推進策の一つである町内の緑化推進のため、東郷湖周への桜植樹などを行うこととしている。その財源に充てるため、ふるさと納税制度等を活用した寄付を募り、基金へ積み立てるもの。 ◆積立金 2,001千円	・天女のふる里東郷湖「花」基金積立金 ふるさと納税制度等を活用した寄付額は、964千円。	寄付金額を200万円とする。		【評価:D 計画より遅れている】 寄附額は順調に増えているが、前年度と比べ大幅な減額となっている。	企画課
25 天女のふる里づくり事業⑤	・町天女キャラクター活用推進事業 天女のまちイメージ創出に向け、天女キャラクター「ゆりりん」の活用を進める。 ◆旅費、メンテナンス、通信運搬費等 192千円	■デザイン活用24件 ■着ぐるみ活用9件 デザイン、着ぐるみともに活用が増えなかった。イベントの告知や出演の際に活用されるが、その開催が少なかったことが影響していると思われる。	デザイン活用40件 着ぐるみ活用40件	41%	【評価:D 計画より遅れている】 デザイン、着ぐるみともに活用を進めていく必要がある。	産業振興課
26 観光地域づくりの核となる「DMO」の推進(広域連携)①	・鳥取県中部観光推進機構【会費】 鳥取県中部地域及び岡山県蒜山地域の連携を深め、観光資源の共有及び周遊環境の整備等による広域観光地の魅力向上のための事業を展開するためH27に一般社団法人化したDMO組織への会費。 ◆会費 531千円	◆R2年度会費 2,031千円 鳥取県中部エリア(蒜山エリア含まない) ・観光入込客数 2,140,523人 (前年比:△37.3%、前年:3,417,484人) ※R2年4月～R3年2月期 ・全宿泊者数(日本人・外国人計) 283,882人 (前年比:△42.5%、前年:493,403人) ※R2年4月～R3年2月期 ・外国人宿泊者数 706人 (前年比:△96.7%、前年:21,545人) ※R2年4月～R3年2月期	推進交付金 中部エリア(R3.3) ①年間観光入込客数 100,000人(R2増加分) ②年間宿泊客数 200,000人(R2増加分) ③年間外国人宿泊客数 4,000人(R2増加分)	34.8%	【評価:D 計画より遅れている】 ①②新型コロナウイルス感染症の影響により、4月以降大幅に減少している。国のGotoキャンペーンにより7月～12月中旬までは客足が戻ったが、キャンペーンが中断となつて以降は減少となった。 ③新型コロナウイルス感染症の影響により4月以降の宿泊者数は大幅に減少している。	産業振興課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績	KPI		担当課
			目標	達成率	
27 観光地域づくりの核となる「DMO」の推進（広域連携）②	【地方創生推進交付金】 中部地域及び岡山県蒜山地域の観光プラットフォーム機能を充実させて次の事業を実施する。 広域観光連携推進事業負担金 22,000千円 おもてなし、受入環境整備事業 温泉地イメージ戦略事業 情報発信事業 プロモーション推進事業 誘客戦略事業 ◆湯梨浜町負担金 3,604千円	◆R2年度負担金 3,604千円 鳥取県中部エリア(蒜山エリア含まない) ・観光入込客数 2,140,523人 (前年比:△37.3%、前年:3,417,484人) ※R2年4月～R3年2月期 ・全宿泊者数(日本人・外国人計) 283,882人 (前年比:△42.5%、前年:493,403人) ※R2年4月～R3年2月期 ・外国人宿泊者数 706人 (前年比:△96.7%、前年:21,545人) ※R2年4月～R3年2月期	推進交付金 中部エリア (R3.3) ①年間観光入込客数 100,000人 (R2増加分) ②年間宿泊客数 200,000人(R2増加分) ③年間外国人宿泊客数 4,000人 (R2増加分)	【評価:D 計画より遅れている】 ①②新型コロナウイルス感染症の影響により、4月以降大幅に減少している。国のGotoキャンペーンにより7月～12月中旬までは客足が戻ったが、キャンペーンが中断となった。 ③新型コロナウイルス感染症の影響により4月以降の宿泊者数は大幅に減少している。 34.8%	産業振興課
28 教育旅行のメニュー開発事業	教育旅行商品の企画造成を行う。 ◆町観光協会補助金 10,200千円	◆町観光協会補助金交付10,200千円 2022年度 教育旅行予約22件 (ドラゴン20件、Gゴルフ8件 重複あり)	2年後の修学旅行等の予約:10件	【評価:B 計画以上に進んでいる】 2022年度教育旅行予約22件 ※22/10 100%	産業振興課
29 ゆうゆうゆりはま事業	【地方創生推進交付金】 ◆都市圏ブランド周知イベント ◆イベント用コンテンツ制作 ・「ゆうゆうゆりはま」新聞広告 ・「ゆうゆう、ゆりはまマルシェ」イベント ◆その他 ・HP保守管理、ゆりはまオリジナルコーヒー制作	◆湯梨浜町地域活性化支援業務 R2.6.27 ゆりはまマルシェ(泊) ポスター作成個人10種 人物紹介冊子1000部、町PR動画作成 ゆりはまコーヒーパッケージリニューアル、Webサイトを利用した町特産物の販売サポート、HP管理ほか	県外からのIUJターナー者数 185人	【評価:D 計画より遅れている】 県外からのIUJターナー者数 165人 89%	産業振興課
30 食と健康のまちづくり事業	【地方創生推進交付金】 タニタヘルスツーリズムの展開 ・飲食店とタイアップしたタニタ監修メニューの提供 ◆タニタヘルスツーリズム展開業務委託料 監修メニュークリエイティブ業務 165千円	■昨年度末に新規提供店舗が3店舗加わり、計8店舗となった。 ■本課の健康二次被害防止キャンペーンと併せて、監修メニューについて町報7月号で紹介した。 ■メニューの品質チェックについては、前年度は12月に実施。1年経過に合わせて、本年度も12月に実施する予定である。	【目標】 監修メニュー提供数550	【評価:B 計画以上に進んでいる】 【提供数】:825食 ゆりはまヘルシーくらぶ会員に店舗一覧を配布するなど、さまざまな機会を捉えて周知を図っている。引き続き、町報等により広く住民に周知を図り、利用いただける工夫を検討する。 149%	健康推進課

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			目標	達成率	評価	
31 ゆりはまじ げ産業支援 事業	町内での創業、新事業進出や販路開拓に取り組む事業者に対して必要経費の一部を補助する。 ◆補助金 創業、新事業進出500千円×4事業者＋販路開拓200千円×15事業者＝5,000千円	■4事業者に560千円を交付 創業3件、販路開拓1件の計4件を支援した。	制度活用事業者5件以上	80%	【評価】C 計画どおりに進んでいる】 ほぼ計画どおりに支援できた。このほかにも相談が1件あったが、申請に結び付かなかった。	産業振興課
32 チャレンジ ショップ支 援事業 【1：④雇 用の推進に も記載あり】	町内の空き店舗や空き家などを借りて事業を行う場合にその賃借料を補助する。 ◆補助金 新規分1件480千円	■2事業者に630千円を交付 空き店舗を活用した飲食店とサービス業の創業を支援した。	新規申請1件	100%	【評価】C 計画どおりに進んでいる】 計画どおり支援した。	産業振興課
33 〈再掲〉 アロハカー ニバル事業 【1：②観 光産業の 振興にも記 載あり】	本町にある羽合地域の「ハワイ」の知名度を活かした期間設定の取り組みとして、ハワイ風のアレンジした地元産食材を活用した料理メニュー開発・提供を行い、ヘルシー・リゾート展開業務等との連携により、本町への観光客の滞留性を高めるとともに飲食店の振興と地域の活性化を図る。 ○事業費内訳： オープンニングイベント 300千円 観光誘致費用（宿泊参加者プレゼント等） 505千円 イベントPR費用 650千円 事務費50千円 計1,505千円 ◆上記に対する補助金額 1,250千円	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、実行委員会が協議の結果、今年度の事業は中止とした。	①新メニュー提供店舗数：15店舗以上 ②新メニュー提供数：2,000食以上	0%	【評価】E 未着手、未実施、先送りなど】 実行委員会が協議。ハワイアンフェスティバル中止やコロナ禍において実施の判断に至らなかった。	産業振興課

	事業名	計画	実績	KPI			担当課
				目標	達成率	評価	
34	ふるさと名物応援事業	国の補助金を活用した4事業者が、ふるさと名物関連商品の販売とその販路開拓を進める。加えて、国の補助対象外および4事業者以外にも事業に取り組む事業者を町として支援し、ふるさと名物のさらなる普及に努める。 ◆補助金 150千円×1事業者＝150千円	申請実績なし。	新規申請1件以上	0%	【評価：D 計画より遅れている】 制度内容を変更し、事業対象を広範囲とすること(ウオーキングのみ⇒町内の地域資源全体とする)で活用しやすいものにしていく。	産業振興課
35	環境創出プロジェクト事業	町民から生ごみを回収し、これを活用し農業用の有機液体肥料や培養土として販売する。また、その他東郷支所などに液肥タンクを設置し、町民に無料配布する。これにより町民参画と食物を土に返すことによるイメージアップ、企業との連携によるエコブランドの販路を図り循環型社会を目指す。 ◆対象事業費3,677千円(委託料3,526千円：生ごみ回収運搬、報償金10千円：生ごみ回収協力区への報償、消耗品費141千円：生ごみ収集に係る事務経費)	■生ごみ回収協力区(10区)の生ごみ回収の実施。 ■有機液体肥料エコロジュー生産量(R3.3月末) 114,769kg(R2.3 109,869kg、R1.3 124,261kg) ■特集号として、環境月間にちなんだ記事を町報6月号に掲載しているが、この時に、生ごみ回収協力区を募集するものの応募に至っていない。 ■(参考)執行済予算 計 3,648,000円(内訳：委託料 3,498,000円 報償金 10,000円 消耗品費 140,000円)	生ごみ回収協力区の拡大 R1末 10区 ⇒ R2末 11区以上	0%	【評価：D 計画より遅れている】 生ごみ回収について内容詳細の問合せがあったが、応募には至らなかった。生産量もR1年度実績比4.5%増、平成30年度比△7.7%と推移している。今後も協力区に対する報償金の予算化と継続した広報に努めたい。	町民課

事業名	計画	実績	KPI		担当課	
			目標	達成率		
36 看護師、保育士奨学金助成事業 (ふるさと奨学金支援助成事業) 【Ⅲ：①移住定住の推進にも記載あり】	ふるさと人材育成奨学金支援助成金 鳥取県未来人材育成奨学金支援助成金の認定を受け、町内に定住する人を対象に奨学金返還額の一部を助成する。 ○対象になる業種など 製造業、情報通信業、薬剤師の領域、建設業・建設コンサルタント業、旅館・ホテル業、保育士、幼稚園教諭、農業、林業、漁業、農林水産業協同組合 ○助成内容 無利子の奨学金：貸与を受けた奨学金の返還総額の1/6、有利子の奨学金：貸与を受けた奨学金の返還総額の1/8、助成期間は、原則として県内の対象業種に就職してから8年間。 ◆45千円×2人＝90千円(助成中) ◆60千円×5人＝300千円(新規)	鳥取県未来人材育成奨学金支援助成金の認定者であることを条件としているため、県の認定、交付決定の際に、本町の制度についても周知した。 町内の対象者がいないため、新規申請がない。今後県とよく連携を図りながら取り組んでいきたい。 現在、下記の2名に助成中。 H28 1名 (H29に取消) H29 2名 (1名：H29から補助) (1名：H30から補助) H30 0名 R1 0名 R2 0名	申請者(新規) 5人	0%	【評価：D 計画より遅れている】 新規の申請者はなし。 県の制度に併せて町の制度の周知を引き続き行っていく。	教育総務課
37 〈再掲〉 チャレンジショップ支援奨励金 【Ⅰ：③商工業の振興にも記載あり】	町内の空き店舗や空き家などを借りて事業を行う場合にその賃借料を補助する。 ◆補助金 新規分1件480千円	■2事業者に630千円を交付 空き店舗を活用した飲食店とサービスの創業を支援した。	新規申請1件	100%	【評価：C 計画どおりに進んでいる】 計画どおり支援した。	産業振興課
38 雇用促進奨励金事業①	・雇用促進奨励金 町内の事業所が①シニア世代(55歳以上)②子育て女性(18歳以下の子どもがいる女性)③就職氷河期世代(昭和49年度から昭和58年度生まれ)④新卒者(コロナ禍影響)一の町民を正規の常用労働者として6か月以上継続して雇用された場合に、事業所に奨励金1人あたり200千円を交付する。 ◆補助金 200千円×4名分＝800千円	1事業者に200千円を交付した。	新規雇用者4人	25%	【評価：D 計画より遅れている】 雇用情勢にあわせた制度として運用していくことが必要。	産業振興課

	事業名	計画	実績	KPI			担当課
				目標	達成率	評価	
39	就職関連情報提供事業	県内就職を支援するため、県外の大学生などに就職関連情報を提供する。	県事業を活用し、県外学生に就職関連情報を提供した。	情報提供1件以上	100%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 奨学金に関する就職関連情報を提供した。	産業振興課
40	企業誘致用地等情報提供事業	町内の企業誘致可能な土地や空き工場の情報を集約し、町ホームページなどを活用して情報提供を行う。	情報提供実績なし。	情報提供1件以上	20%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 相談はあったが、町ホームページの掲載まで進まなかった。	産業振興課
41	ビジネス人材移住支援事業	東京圏から町内に移住した者が、鳥取県が実施するマッチングサイトに掲載された求人に就業し、3か月以上勤務している場合又は鳥取県が実施する起業支援金の交付決定を受けた場合に移住支援金を交付する。 世帯で移住した場合1,000千円、単身で移住した場合500千円 ◆補助金 1,000千円×1世帯＝1,000千円	■交付実績 0件	1世帯(2人)移住	0%	【評価:D 計画より遅れている】 県制度の交付要件が厳しいこともあり、交付実績はなかった。R3年度事業は一部要件緩和となる。	企画課

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			目標	達成率	評価	
42 家庭子育て支援事業	低年齢児(満2歳未満児)の家庭子育ての支援 生後8週を超え満2歳に満たない乳幼児を、昼間家庭で子育てをする父母又は祖父母に対し給付金を支給。 育児休業給付金(手当)を受けている期間を除く。 乳幼児1人につき1月30,000円。 ◆6,500千円/3カ月×4回＝26,000千円	■3/31現在 申請受付:100件 ■R2.4～6月分(7/27支払):4,686千円 ■R2.7～9月分(10/26支払):4,856千円 ■R2.10～12月分(1/25支払):5,264千円 ■R3.1～3月分(4/26支払):5,483千円	年度末時点で2歳未満児の家庭での子育て率を68.3%以上とする。	78%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 3月末現在、2歳未満児252人のうち、こども園等入園児55人。家庭で子育てしている児は197人。家庭子育て率は78%。	子育て支援課
43 多子世帯保育料軽減事業	令和2年度無償化、軽減 【国】年収360万円未満の世帯。同時入所問わず 第3子以降児無償、第2子半額 【県】年収360万円未満の世帯。第1子と同時入所の第2子、無償。年収360万円以上の世帯。同時入所問わず第3子以降児無償 【町】年収360万円以上世帯。同時入所問わず第2子軽減	計画内容に加えて、令和元年10月から国の幼児教育・保育の無償化により、原則3歳以上児の保育料が無料となり、保護者の負担がさらに減っている。 第3子以降児出生数(出産祝い金支給申請、決定数)決定 32件	第3子以降児の出生件数を令和2年度まで毎年30人とする。(出産祝い金支給ベース)	107%	【評価:B 計画以上に進んでいる】 国の保育料無償化もあり、保育料の負担はかなり減っている。引き続き保育料の無償化・軽減を行い、多子世帯への支援を行う。	子育て支援課
44 第3子以降中学校卒業祝い金支給事業 (第3子以降出産・入学・卒業祝い金支給事業)	多子世帯児童の健全育成、当該世帯への経済的負担の軽減のため、出産・入学祝い金支給事業を拡大し、進学や就職準備時である中学校卒業時に祝い金支給を行う。(H28年度から卒業祝い金支給実施) ◆見込み 3,830千円 出産時 50,000円 × 31名＝1,550千円 小学校入学時 30,000円 × 39名＝1,170千円 中学校卒業時 30,000円 × 37名＝1,110千円 通信運搬費 9千円	■3/31現在 申請受付:96件 ■入学祝い金:900千円 ■出産祝い金:1,600千円 ■卒業祝い金:1,020千円	第3子以降児の出生件数を令和2年度まで毎年30人とする。(出産祝い金支給ベース)	107%	【評価:B 計画以上に進んでいる】 3月末現在、第3子の出生数は、32件。当初見込より1人増加した。引き続き祝金の支給を行い多子世帯への支援を行っていく。	子育て支援課

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			目標	達成率	評価	
子育て世代 包括支援セ ンターの整 備① 45	・子育て世代包括支援センター事業 相談支援のワンストップ拠点となる子育て世代包括支援 センターを設置し妊娠、出産から就学前までの切れ目な い支援をめざす。 ・コーディネーターを配置し、必要な支援やサービスが受け られるよう情報提供、関係機関調整などを行う。 ・妊婦期、出産時から就園までの時期、就園時から就学ま でのそれぞれ別の時期に対象者全員への子育てプラン提 供、支援の必要な方への子育て支援プランの提供等を行 う。 ◆消耗品費、通信運搬費 71千円	■子育てプラン配布：妊娠届出者全員 乳幼児健診受診者全員(100%) ■子育て支援プラン作成：妊娠届時や産 婦訪問時等に必要と判断した人全員(実 績25人) ■町内関係機関と情報共有：(年間目標6 回 実績 要対協実務者会議3回子育て支 援センターとの会3回 計6回) 産科医療機関との調整：1回(電話)	○子育てプラン配 布：妊娠届者全 員、乳幼児健診受 診者：全員 ○子育て支援ブラ ン作成：妊娠届時 必要と判断した人 全員(45人程度) ○町内関係機関 (要対協実務局・子 育て支援センター との情報共有の 会：年6回 ○産科 医療機関との会：1 回	89%	【評価：○ 計画どおりに進ん でいる】 概ね支援の必要な対象者へ フォローができています。	子育て支援課
子育て世代 包括支援セ ンターの整 備② 46	・産前産後サポート事業 妊産婦が抱える妊娠・出産や子育てに関する悩み等につ いて、保健師による相談支援を行い、家庭や地域での孤 立感の解消を図るため、主に自宅に訪問するなどし、個 別に相談に対応する。 パート保健師賃金 【アウトリーチ型】※新型コロナウイルス対応による電話訪問も含 む 保健師が自宅に訪問し、個別に相談に対応する。 【デイサービス型】※新型コロナウイルス対応で中止する場合あ り。 公共施設等で集団形式により、同じ悩み等を有する利用 者からの相談に対応する。 ◆職員賃金等 2,663千円、消耗品費 10千円	■産前産後サポート事業アウトリーチ型： 37件 ■産前産後サポート事業デイサービス型 赤ちゃん広場11回 ハイハイ広場10回 プ レママ広場9回 計30回	アウトリーチ型：年 48件(延) デイサービス型： 赤ちゃん広場：12 ハイハイ広場：7プ レママ9回 計28回	92%	【評価：○ 計画どおりに進ん でいる】 必要な対象者へのサポート支 援は行うことができています。 コロナ対応のため、電話での 対応も積極的に実施を行い個 別の対応を行えた。 デイサービス型もコロナの関 係で中止をした時もあったが、 概ね計画どおり実施できた。	子育て支援課

事業名	計画	実績	KPI		担当課
			目標	達成率	
子育て世代 包括支援セ ンターの整 備③	・産後ケア事業 強い育児不安や家族等から産後の支援が得られない母 子に対し、医療機関委託や助産師、保健師訪問、ヘル パー派遣等、宿泊、日中預かりなど様々な方法で、心身 のケアや育児サポートを行う。心身の負担軽減により産 後の未然防止も図る。 【宿泊型】 母子を産科医療機関に宿泊させ、休養の機会 を提供するとともに、心身のケアや育児サポートなどきめ 細かい支援を行う。 【デイサービス型】 日中所した者に対し、個別又は集 団で心身のケアや育児サポート等の支援を行う。 ・母子来所 ・乳児一時預かり 【訪問型】 産婦の状態を把握し、必用と思われる家庭に 助産師を派遣し、産婦の母体ケア及び乳児のケアを行 う。 【産前産後ヘルパー派遣事業】主に出産後間もない時期 に、家事支援が必要な家庭にヘルパー派遣を行う。 ◆助産師報償費 23千円、委託料 204千円(ヘルパー派 遣・ショートステイ・デイサービス等)	■産後ケア事業訪問型4件 ■デイサービス型：4件 ■産前産後ヘルパー派遣：2回	訪問型：5件 宿泊型：2件 デイサービス型：1 1件 ヘルパー派遣事業 7回	【評価：C 計画どおりに進ん でいる】 鳥取県産後ケア事業無償化 事業を導入し、利用料無料と した。 昨年度は0件であった産後ケ ア事業デイサービス型とヘル パー派遣事業の利用があり、 利用者の母体ケアに貢献でき た。 41% 新生児訪問等により、引き続 き対象者の把握に努めてい く。 また、母子保健法の一部改正 により、産後ケアの対象産婦 が産後1年未満とされたことに 合わせ、産前産後ヘルパー 派遣事業対象者の利用可能 時期を産後1か月から2カ月に 令和3年度から延長する。	子育て支援課
47					
48 不妊治療費 助成事業	県の助成決定を受けた不妊治療を行う夫婦に対し、治療 の種類ごと、回数ごと、年度ごとに定める額を助成する。 【治療の種類】 ◆特定不妊治療費 見込み24件 2,300千円 ◆人工授精費 見込み4件 24千円 ◆不育症治療費 見込み1件 50千円	3月末現在 ・特定不妊治療：助成申請者 実人員 18人 延人員 35人 ・人工授精：7人 ・不育症治療：0人	利用件数 特定不妊治療24 件、人工授精4件、 不育症治療1件	【評価：B 計画以上に進んで いる】 例年以上の助成の申請があ り、妊娠につながったケース の申請もある。	子育て支援課
49 ファミリーサ ポートセン ター事業の 充実	子育てを応援してほしい人(依頼会員)と子育てを応援し たい人(提供会員)が育児の相互援助活動を行う。 調整役としてアドバイザー1人配置に係る賃金。 事業PR、会員の確保。 預かり体験。 ◆職員賃金等 1,960千円 ◆講師謝金、消耗品、郵送料 24千円 ◆活動保険料 83千円	3/31現在 実利用者数 29人	実利用者数の増。 年間実利用者数を 前年の1.5倍とす る。(6人×1.5=9 人)	【評価：B 計画以上に進んで いる】 3/31現在、R2年度新規依頼 会員数は20人、提供会員、依 頼会員ともに増加傾向にあ る。	子育て支援課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

26

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			目標	達成率	評価	
50 病児・病後 児・夜間保育 事業	◆病児保育:127人(R1実績) (定住自立圏構想での取組。事業受託者ババール園。実施場所県立厚生病院) 対象者:在園児及び小学校3年生以下 983千円 ◆病後児保育:19人(R1実績) (定住自立圏構想での取組。事業受託者十字会。実施場所野島病院) 対象者:在園児及び小学校3年生以下 425千円 (上記は引き続き定住自立圏 で取り組む)	◆病児保育(3月末) 延べ利用者数:74人(実人数:9人) ◆病後児保育(3月末) 延べ利用者数:7人(実人数:5人)	利用者数 病児保育 127件 病後児保育 19件	48%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、利用希望者の減少や受け入れ制限等があり、例年に比べ利用者数が少なくなっている。	子育て支援課
51 SNS等による 子育て支援 情報の提供	妊娠出産子育て期全般にわたる必要な情報をリアルタイムに提供していく方法としてフェイスブック等を立ち上げる。 子育て支援アプリを導入し、妊娠期から子育て期における子育て情報提供をタイムリーに行える体制整備を行う。関係機関との連携会議を定期的に行い、情報連携を強化していく。 委託料 396千円	令和2年度母子手帳交付数(妊娠届着数) 128件 令和2年度新規登録者数108件	子育てアプリ等による情報発信。年間母子手帳交付数に対し、子育てアプリ登録者数を95%以上とする。	84%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 妊産婦や子育て中の保護者に対し、母子手帳アプリを活用した情報発信ができている。登録者も増加している。	子育て支援課

26

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

27

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			目標	達成率	評価	
52 放課後児童クラブ・放課後子ども教室の推進①	放課後児童クラブ5カ所で運営。 放課後子ども総合プランに基づき、3小学校においては、放課後子ども教室と一体的に実施する。コミュニティ施設で実施する児童クラブについても、教育委員会と連携を取りながらゆりはま自主学習の広場事業と連携実施する。 ◆羽合第1:7,104千円、羽合第2:10,230千円、東郷第1:6,908千円、東郷第2:6,592千円、泊:5,899千円	各児童クラブ利用実人数 羽合第1:71人 羽合第2:141人 東郷第1:101人 東郷第2:69人 泊:77人	利用希望に応じた利用となるよう、登録者数に対する利用者数の割合を、3月利用について100%とする。	100%	【評価:B 計画以上に進んでいる】 現時点で利用希望者全員が利用している。	子育て支援課
53 放課後児童クラブ・放課後子ども教室の推進② ゆりはま自主学習の広場事業(放課後子ども教室)	町内3小学校の空き教室を使用し、年間30回程度の学習支援活動を行う。週1回は放課後(月3回予定)と夏季休業中に開催し、小学校低学年からの学習習慣の定着を目指す。指導については、教員OBを含めた地域人材を活用する。 ◆報償費 977千円、消耗品 44千円 保険料 88千円、通信運搬費 12千円	各小学校の空き教室を利用し、月3回程度の教室を開催した。 目的:児童が放課後を安心・安全に過ごすことのできる環境整備と学習習慣の定着を目指す。 【参加児童】羽合小:19人(1年生)、泊小9人(1~3年生)、東郷小:24人(1・2年生) 【指導者】14人(教員OB、元役場職員、元保育士などの地域の方) 今年度の事業を始める前と終わりに、「ゆりはま自主学習の広場連絡協議会」を各教室ごとに開催し、学校、指導者、放課後児童クラブ支援員代表、事務局担当者で連携しながら事業を行うことができた。	連絡協議会を開催し、各小学校等でも教室を実施し、学習習慣の定着を図る。 児童数50人とする。	100%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 ・参加児童合計:52人 各教室ごとに2回の連絡協議会を開催した。 各教室とも指導者が宿題への支援と補充プリント等を準備し、児童が意欲的に学習できる環境づくりに努めた。このことにより落ち着いた運営をすることができた。 ・連絡協議会:2回×3か所=延6回開催 ・実施回数:27回(予定:30回) ・参加児童数:52人/目標児童数:50人×100=106%	教育総務課
54 放課後児童クラブ・放課後子ども教室の推進③	放課後や週末などにおける子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を確保し、地域の方々の協力を得て、子どもたちに学習や様々な体験、交流活動等の取り組みを実施し、子どもたちが地域との交流を深め、心豊かで健やかにはぐくまれる環境づくりを推進する。 R1年度は、橋津地区に新たに1教室を開設し、羽合地域(長瀬、東田後、橋津)、東郷地域(舎人、大介)の、計5教室で事業を実施した。R2年度も引き続き5教室で事業を実施予定。 ◆報償費(5教室分) 2,773千円、消耗品費 120千円	平日の放課後や週末など、子どもたちの安心・安全な居場所、活動拠点を確保し、学習支援や様々な体験活動の機会を提供した。4月から東郷地域、羽合地域において5教室を開設し、地域の方々の協力を得ながら事業を実施した。 【R2参加延人数】(3月末時点) (R1) 長瀬キッズクラブ 47人(120人) 東田後区寺子屋教室 578人(1,292人) 舎人 324人(641人) 大介 120人(155人) はわいっ子がんばり教室 777人(309人) 合計 1,846人(2,515人)	放課後や週末などにおける子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を確保する。 年間参加延児童数2,600名以上とする。	71%	【評価:D 計画より遅れている】 それぞれの教室で事業が実施され、子どもたちの居場所の提供、学習支援、体験活動などが実施できたが、新型コロナウイルス感染症の影響で一部の教室が開催を中止したり、参加者数が減少したりしており、目標の達成ができなかった。	生涯学習・人権推進課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

28

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			達成率	目標	評価	
55 ゆりはま自主学習の広場事業 (ゆりはま地域未来塾)	在住の地域人材や学生ボランティア等の協力を得て、平日の放課後や土曜日の部活動終了後に、希望する中学1年生を対象に実施。基礎学力の定着と学習習慣の定着を目指すものであり、オール湯梨浜体制での町の将来を担う中学生に対し自主的な学習の機会を提供する。 ※国事業：『学校・家庭・地域の連携協力推進事業』を活用(補助率:国、県、市町各1/3) ◆報奨金 289千円、消耗品 22千円、郵送料 7千円 保険料 48千円	湯梨浜中学校1年生15人の参加を得て、平日10回、土曜10回の計20回を開催した。 地域住民11人が学習支援にあたった。 本年度から土曜授業がなくなったことを受け、開催回数を16回から20回に増やして各月2回実施した。 事業終了後のアンケートでは、参加生徒の92.3%が活動内容について満足したと肯定的な回答が得られた。	50%	運営委員会を開催し、中学校1年生を対象に地域未来塾を実施し、基礎学力と学習習慣の定着を図る。 対象生徒数の約20%の参加を目標とする。	【評価】C 計画どおりに進んでいる ・参加生徒合計:15名 参加している生徒たちは意欲的に学習に取り組んでいる。 今後も、生徒の基礎学力の定着と学習習慣の定着に寄与していきたい。 ・実施回数:20回(予定:20回) ・参加生徒数:15人/1年生全生徒数:150人×100=10% ・実績:10%/目標:20%=50%	教育総務課
56 学校支援ボランティア事業の推進	各小中学校が作成した学校支援ボランティア人材バンクに登録された学校支援ボランティア登録者へのボランティア保険加入手続きを行う。また、自校だけでは要請するのとが難しいボランティア内容に対し、他校人材バンクへの登録者情報を必要に応じて情報提供し、実施困難と思われるボランティア内容の実施応援体制を支援する。 ◆ボランティア保険料 88千円	登下校の見守り活動や環境整備、学習支援等のボランティアが行われ、子どもたちの学び、成長、安全確保等に大きく寄与した。 昨年度から学校区を越えて広がりを見せている。 登下校の見守りを行う「オレンジベスト隊」への参加者がさらに増えた。 全国の優良事例として、東郷小中学校は文部科学省の取材も受けた。 また、湯梨浜中学校1年生が地域の伝統文化保存団体等から伝統芸能を学ぶ学習活動も始まり、双方に好影響を与えた。	100%	各学校のニーズに沿った地域による学校支援を実施する。 小中学校で150名登録。	【評価】A 達成済、事業完了】 ・羽合小:47人、泊小:52人、東郷小:98人、湯梨浜中:43人の計:223人を学校支援ボランティアとして登録した。 コミュニティ・スクールの取り組みにより、着実に人数が増えている。 ・実績:223人/目標:150人×100=148.7%	教育総務課
57 ふるさと教育の推進	総合的な学習の時間で行われている地域学習の取り組みを拡充する。各小・中学校独自の取組みにおける地域人材の活用や消耗品等の支援を行う。 【羽合小学校】体験学習(町探検、文化伝承、平和学習ほか)交流学習(高齢者、赤ちゃんほか)132千円 【泊小学校】体験活動(水産教室、泊貝がら館伝承、ワカメ栽培、GG体験ほか)食育 102千円 【東郷小学校】体験学習(梨づくり、東郷池体験活動、GG体験ほか)、環境教育(サケ飼育)98千円 【湯梨浜中学校】湯梨浜調べ、職場体験、観光地PR動画制作ほか 90千円	新型コロナウイルス感染防止に努めながら、可能な方法で地域学習を行った。(下記は補助金活用事業) ・羽合小:命の大切さを考える学習、町探検など ・泊小:泊貝がら館、梨づくり、水産教室など ・東郷小:梨づくり、園児との交流、東郷池学習など ・湯梨浜中:湯梨浜町調べ、伝統芸能体験(7種) ふるさと湯梨浜についてのアンケートによる「今自分が住んでいる地域や湯梨浜が好き」と回答した割合は91.8%であった。	100%	各学校でふるさとに愛着を持つ児童生徒の育成をめざし、各種事業等実施する。 アンケート目標85%以上。	【評価】C 計画どおりに進んでいる 今年度は事業所の訪問や外部講師の招聘などが困難であり、計画どおりに事業を行うことができない部分もあったが、各学校が可能な方法で、補助金等も活用しながら地域学習を進めることができた。 ・実施事業数:23事業(計画:29事業) ・アンケート:結果:91.8%/目標:85%=108%	教育総務課

29

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績	目標	達成率	KPI	評価	担当課
地域で取り組む介護予防活動推進事業	【地方創生推進交付金】 ①養成した100名の介護予防・健康づくりリーダー（ゆりりんメイト）に地域で活躍してもらったため、継続した働きかけや支援を行う。また、ゆりりんメイトを含む地域住民が担い手となり、新たに健康づくり・介護予防・フレイル予防等を目的とした地域サロン活動に取り組む地域・団体等を増やすため、短期集中サロンの実施や地域サロン活動に対する助成を行う。 ②認知症診断プログラムやフレイル評価・管理システムを導入して、高齢者等の状態を判定し、町が実施する運動教室や介護予防教室、新たに取り組む脳活トレーニング事業や地域サロン等を体系化して個々の状態に合わせたプログラムを提供するとともに、プログラム実施前後の個々の状態を管理・評価して段階に応じた適切なプログラムにつなげていく。	①新型コロナウイルス感染症の影響により、新たに短期集中サロンを実施する地域や介護予防等を目的としたサロン活動に新規に取り組む団体は、令和2年度は0件であった。（短期集中サロン実施（予定）団体：0団体、介護予防活動支援補助金申請団体：7団体（うち新規申請団体 0団体）） ②認知症診断プログラム・フレイル評価システム・運動処方プログラムを導入し、介護予防教室や健診会場で活用、各種プログラムの判定結果により機能低下が見られる高齢者には、運動教室や介護予防教室等への参加を勧めるなど、個々の状態に合わせた適切なプログラム等へつなげることができた。 ・物忘れ相談プログラム実施：395人 ・運動処方プログラム実施：64人 ・フレイル評価システム：32人 合計：491人 9月から、軽度認知障害（MCI）/物忘れ相談プログラムが10～13点）の人を対象に、運動・知的活動・座学を効果的に組み合わせたプログラムを提供する「脳活トレーニング事業」を新たに開始した。 ・脳活トレーニング事業（週1回）参加者：14人（2事業所） ◆脱フレイル大作戦 2,631千円 消耗品、通信料・郵券料、プログラム導入委託料、保守料、システム使用料、備品購入費 ◆脳活トレーニング事業 1,306千円 消耗品費、郵券料、事業委託料	【目標】 ①新たに健康づくり・介護予防等を目的とした地域サロン活動に取り組む地域・団体を年間3団体増やす。 ②導入したプログラムで700人以上の個別評価を実施する。	35%	【評価：D 計画より遅れている】 ①新型コロナウイルス感染症の影響により、新たに短期集中サロンを実施する地域や介護予防等を目的としたサロン活動に新規に取り組む団体は、令和2年度0件であった。地域もあり、新規に事業に取り組んでもらうよう声をかけにくい状況があった。 ・0団体／3団体×0.5＝0% ②導入したプログラムを活用し、健診会場等で物忘れ相談プログラム等の個別評価を実施した。また、筋力トレーニング事業・脳活トレーニング事業参加者に運動処方プログラムを実施するなど、新型コロナウイルス感染症の影響で地域の介護予防教室やサロンの実施は限られたが、評価システムを活用することができた。 ・491人／700人×0.5＝35% 合計35%	長寿福祉課	

60

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			目標	達成率	評価	
61 歯・口の健康づくり推進事業	今年度からフッ化物洗口事業が教育総務課に移行。 健康推進課としての関わりとしては、 ①小中学校でのフッ化物洗口実施のアンケート結果集計。 ②必要に応じて「小学校におけるフッ化物洗口手引き」及び「中学校におけるフッ化物洗口手引き」の見直し。 ③説明会の要望があれば、出向く。	①小中学校でのフッ化物洗口実施のアンケートは4月に実施し、集計結果を7月に小中学校保護者に対して配布した。 ②「小学校におけるフッ化物洗口手引き」及び「中学校におけるフッ化物洗口手引き」の見直しを中部歯科医師会歯科衛生士及び学校歯科医（あだち歯科医院、くらしげ歯科クリニック、はまよし歯科クリニック）、県歯科担当者（田中歯科衛生士）に依頼し、修正を行った。《年度表記の修正のみ》 ③現時点で説明会の要望はなく、今年度は出向いていない。	①アンケート結果集計 ②必要に応じた手引きの見直し ③必要に応じた説明会の開催	66%	【評価：C 計画どおりに進んでいる】 ①フッ化物洗口の実施アンケート結果集計は行うことができたが、アンケート回収から結果集計までに時間を要したため、タイムリーな情報提供ができなかった。《反省点》 ②関係機関に内容確認し、必要箇所の修正を実施した。 ③今年度に説明会の要望はなく、出向いていないため、現時点での達成率は0%とした。	健康推進課
62 健康相談・健康教室等の実施①	温泉を活用したウォーキング教室の実施（龍鳳閣） 年間計画に沿って実施（週2回、年83回） ◆講師謝金 415千円	■健康づくりのための水中歩行を月～木曜日に龍鳳閣にて実施。週2回分講師への謝金を町から支払い。 ■新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4～6月の教室開催を中止とした。 ■参加延べ人数 7月：172人、8月：57人、9月：179人 10月：187人、11月：176人、12月：175人 1月：149人、2月：214人、3月：146人 《合計：1,455人》	【目標】 教室参加人数を1,000人以上	100%	【評価：D 計画より遅れている】 ・4～6月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止とした。 ・7月以降は、毎月教室を開催している。 ・4月～6月が開催中止となったものの、再開後多くの参加があり、目標を達成することができた。	健康推進課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

32

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			目標	達成率	評価	
健康相談・健康教室等の実施 63 ②	【地方創生推進交付金】 《つみたて貯蓄運動教室他》 町内の体育施設を利用して、健康体操を中心 に開催し、運動の習慣化や健康づくり、介護予 防として取り組む。 ◆講師謝金 144千円 ◆消耗品 41千円 ◆通信運搬費 2千円 ◆委託費 704千円	◆平日・屋に開催する運動教室(つみたて貯蓄運動教室)は4～6月は新型コロナウイルス感染症予防のため、屋外(ハワイ夢広場)で開催。7月からは、とまり教室を泊体育館で、とうこう教室を羽衣会館で週1回開催中。 ◆「運動教室カレンダー」を作成し、6月に全戸配布。 ◆平日・夜に開催する運動教室(ココカラ運動教室)について、6/24付で龍鳳閣に委託し契約締結。7月から週1回開催。 【実績】 ①つみたて貯蓄運動(東郷) 38回 ②つみたて貯蓄運動(泊) 35回 ③つみたて貯蓄運動(合同) 6回 ④ココカラ運動教室 35回 計 114回 《参加者数 計1,214人》	【目標】 各運動教室参加者 15名/回 【目標変更】 教室参加人数を1,650人以上	73%	【評価:D 計画より遅れている】 ・4～6月は新型コロナウイルス感染症拡大防止による自粛で、運動教室の実施方法、人数等予定どおりに開催することができなかった。 ・7月から週1回開催しているが、新型コロナウイルス感染症予防のため、ココカラ運動教室とつみたて貯蓄運動とうこう教室については会場の広さにより定員を20人⇒15人により減。人数制限があったが、定員をオーバーすることはなかったため、後半は音声告知機等での広報も実施した。大雪による中止もあったため、目標に到達できなかった。 【達成率】 参加者合計/目標人数 =1,214人/1,650人≒73%	健康推進課
健康相談・健康教室等の実施 64 ③	【地方創生推進交付金】 居住地区周辺でのウォーキング教室開催により、ウォーキングの習慣化を図り、町民の健康につなげる。 ◆委託費 123千円	■前年参加者 計61人 ■6/7 中央公民館にてウォーキング教室実施。参加者24名。 ■町内企業向けに、ウォーキング教室受付についてチラシ作成・配布。	【目標】 運動効果の周知により、ノルディックウォーク教室の参加者を前年比110%とする。	36%	【評価:D 計画より遅れている】 今年度は、自治会の健康教室及び町内企業を対象に、随時受付け、ウォーキング教室を実施する予定であったが、新型コロナウイルスの影響等により、健康教室の開催を自粛する自治会が多くみられた。 参加者増に向けて、商工会を通じて町内企業向けにチラシを配布したが、コロナ禍の影響もあり、ウォーキング教室の開催に至らなかった。 感染症対策を行い、引き続き教室の開催を促していく。 ・昨年度参加者 計61人 ※今年度実績 24人	健康推進課

32

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			目標	達成率	評価	
鳥取看護大学による「まちの保健室」との連携 65	【地方創生推進交付金】 専門的知識や技術を有する看護大学と連携を図りながら、地区単位で取り組む健康づくりを推進し、町民の健康増進・健康寿命の延伸を図る。 ◆消耗品費 5千円 (地区での健康教室教材費) ◆委託料 35千円 (まちの保健室鳥取看護大学委託料)	6月28日開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、1月に開催を延期した。 1月17日に原地区まちの保健室事業を開催。内容は、①各種測定(身長・体重・肥満度・体脂肪・血圧・骨密度)、②鳥取看護大学小原講師によるミニ講話を実施した。	【目標】 原地区(3年目)で1回/年、まちの保健室の開催	100%	【評価:A 達成済、事業完了】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催を延期したが、鳥取看護大学及び当該地区と調整の上、1月に開催した。来年度以降は、「まちの保健室」事業として実施する予定はないが、地区からの要望を踏まえ、ニーズに応じた健康教室の開催を促している。	健康推進課
SIBを活用した飛び地型自治体連携事業(食と健康のまちづくり事業) 66	【地方創生推進交付金】 ・タニタ健康プログラムの推進 ・タニタ健康システムの運用 ・SIBを活用した飛び地型自治体連携事業》 ◆普通旅費 254千円 ◆消耗品費 770千円(ポイント景品) ◆通信運搬費 206千円 ◆委託料 16,091千円 ◆使用料及び賃借料 3,927千円 (活動量計ID、サイト等 使用料)	■新型コロナウイルス感染症拡大による影響を受け、実施予定事業の中止、連携会議の延期等が発生したため、職員や知人、小単位の運動教室等を中心に広報活動を展開した。 ■コロナ禍の影響による健康二次被害を防止するため、歩数の増加量に際してインセンティブを付与するキャンペーンを7月に開始、11月末まで実施した。 ■7月28日、連携事業に関する合同記者会見及び連携会議を大阪府で開催。コロナに負けない健康都市宣言を行った。 ■8月3日、地方銀行に対し、(株)タニタヘルスリンクが資金提供に関する説明会を開催した。 ■10月31日、運動継続のコツ等に関する会員セミナーを開催した。 ■11月29日、コロナ禍での健康二次被害防止について講演会を開催した。	【目標】 運動管理システム(活動量計等)を利用した「ゆりまはる」の会員を350名とする(R2)。 ※最終1,400名とする(R6)。	118%	【評価:B 計画以上に進んでいる】 ・町報等での広報や、既参加者からのクチコミによる誘引により、本年度の目標数は達成することができた。 ・国内・県内での新型コロナウイルス感染症の流行により、計画していた事業を中止するなどの影響が出た。状況を注視しつつ、可能な範囲で事業が執行できるよう、開催方式等を随時検討していく。 【参加者数】 412名(3月末時点)	健康推進課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

34

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			目標	達成率	評価	
全世代・全 員活躍型 「生涯活躍 のまち」事 業の推進 ① 67	【地方創生推進交付金】 ・生涯活躍のまち推進事業（地方創生推進） 28年度に策定した生涯活躍のまち基本計画に 基づき、都市部をはじめとする移住者や地域の 方々が、充実した生活と安心して暮らせる「湯 梨浜町版生涯活躍のまち」の実現に向けて、 「湯梨浜まちづくり株式会社」等、官民が連携し 一体となり推進していく。 ◆生涯活躍のまちPR業務（情報発信）7,404千 円（旅費823千円、役務費1,793千円。委託料 4,788千円） 令和2年度は、レークサイド・ヴィレッジゆりはま 開発事業を含む町のPRを行う。 ◆生涯活躍のまち動画制作業務15,950千円 知名度のある女優を起用したPR動画、電子雑 誌を作成しアフターコロナでの関係人口、移住 定住の促進を図る。	レークサイド・ヴィレッジゆりはまの造成 は完了し、一般分譲地の入居、福祉 ゾーンの一部の事業は始まった。 オンライン、都市圏でのセミナーを開催 して、PRをした。 ■1月30日オンラインセミナー（参加26 人） ■2月21日オンラインセミナー（参加20 人） ■3月25日東京セミナー（参加14人） 生涯活躍のまち動画、電子雑誌「旅色」 を11月25日に公開し、セミナー等で、本 動画を活用して、PRをした。	〈推進交付 金〉 ①県外からの 移住者：185 人（R2）、925 人（R6） ②CCRC事業 に参画する民 間事業者・団 体数：1団体 （R2）、35団体 （R6）	95%	【評価：C 計画どおりに進ん でいる】 レークサイド・ヴィレッジゆり はま事業は順調に進んでい る。生涯活躍のまちPR事業 は、オンライン、都市圏でのセ ミナーを開催した。 ①県外からの移住者：165人 人/185人＝89% ②CCRC事業に参画する団 体：2団体 100% （89%+100%）/2＝95%	みらい創造室
全世代・全 員活躍型 「生涯活躍 のまち」の 推進① 68	【地方創生推進交付金】 ・生涯活躍ポータル「カラフル」出展（地方創生 推進） 生涯活躍のまちに取組む全国5自治体（北海道 東川町、福島県伊達市、山梨県都留市、湯梨 浜町、南都町）が連携して東京に相談窓口を設 置して、移住定住へ向けた相談受け付けや、イ ベントを開催して生涯活躍のまちの情報発信を 実施する。	■4月30日オンラインでの会議を実施 ■5月23日オンラインでの合同イベント を実施。延べ44人が参加した。 ■10月24日オンラインで町単独のイベ ントを実施。8人が参加した。 ■12月25日オンラインでの会議を实 施。 ■3月6日オンラインでの合同イベントを 実施。93人が参加した。 ■SNSでの情報発信を強化して、5市町 の住民がメッセージを共有した。	〈推進交付 金〉 ①県外からの 移住者：185 人（R2）、925 人（R6） ②CCRC事業 に参画する民 間事業者・団 体数：1団体 （R2）、35団体 （R6）	95%	【評価：C 計画どおりに進ん でいる】 新型コロナウイルス感染症の 影響により、一部予定してい たイベントが実施できていな いが、オンラインを活用してイ ベントやPRを実施できてい る。 ①県外からの移住者：165人 人/185人＝89% ②CCRC事業に参画する団 体：2団体 100% （89%+100%）/2＝95%	みらい創造室

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			目標	達成率	評価	
全世代・全 員活躍型 「生涯活躍 のまち」事 業の推進 ② 【Ⅲ：①移 住定住の 推進にも記 載あり】	・地域おこし協力隊事業（生涯活躍のまち） 地域おこし協力隊3名を任命し、「湯梨浜町版生 涯活躍のまち」実現へ向けて設立された「湯梨 浜まちづくり株式会社」が取り組む多岐にわた るまちづくりに関連する事業の運営などの中核 を担い、活動するもの。 【地域おこし協力隊】 ・まちづくり会社で活動（3名） 11,976千円	総合相談センターどれみを拠点として、 生涯活躍のまちの推進における空き家 の利活用促進と、町の情報発信を行っ ている。 ■空き家の利活用（2名）については、 毎月の総合相談センターどれみでの空 き家相談日を継続開催しており、相談を 受け付けている。また、東郷地域を中心 に空き家利活用アンケートを実施し、新 たな空き家掘り起こしを行っている。空 き家バンクへの申請3件を行い、うち1 件が登録された。 ■情報発信（1名）については、9月より 地域おこし協力隊Facebookページを「ゆ りはまフェローズ」と改めて、関係人口を 創出するための情報発信を行い、関係 人口「ゆりはまフェローズ」が98件増加して いる。（3月31日現在）	〈推進交付 金〉 ①県外からの 移住者：185 人（R2）、925 人（R6） ②CCRC事業 に参画する民 間事業者・団 体数：1団体 （R2）、35団体 （R6）	95%	【評価：C 計画どおりに進ん でいる】 空き家情報バンクへの申請 に3件つながるなど、空き家 利活用は、着実に進んでい る。また、情報発信について は、Facebookページを「ゆり はまフェローズ」に変更したこ とにより、「いいね」をしたフェ ロー（関係人口）の認定数 が、98件増加している。 ①県外からの移住者：165人 人/185人＝89% ②CCRC事業に参画する団 体：2団体 100% （89%+100%）/2＝95%	み ら い 創 造 室
〈再掲〉 全世代・全 員活躍型 「生涯活躍 のまち」事 業の推進 ④ 【Ⅲ：①移 住定住の 推進にも記 載あり】	【地方創生推進交付金】 専門的知識や技術を有する看護大学と連携を 図りながら、地区単位で取り組み健康づくりを推 進し、町民の健康増進・健康寿命の延伸を図 る。 ◆消耗品費 5千円 （地区での健康教室教材費） ◆委託料 35千円 （まちの保健室鳥取看護大学委託料）	6月28日開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、1 月に開催を延期した。 1月17日に原地区まちの保健室事業を 開催。内容は、①各種測定（身長・体 重・肥満度・体脂肪・血圧・骨密度）、② 鳥取看護大学小原講師によるミニ講話 を実施した。	【目標】 原地区（3年 目）で1回/年、 まちの保健室 の開催	100%	【評価：A 達成済、事業完 了】 新型コロナウイルス感染症拡大 の影響により開催を延期し たが、鳥取看護大学及び当 該地区と調整の上、1月に開 催した。来年度以降は、「まち の保健室」事業として実施す る予定はないが、地区からの 要望を踏まえ、ニーズに応じ た健康教室の開催を促してい く。	健 康 推 進 課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

36

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			目標	達成率	評価	
71 縁結び支縁 員事業	晩婚化や少子化が進む中、結婚を望む男女の出会いを創出する「縁結び支縁員」の活動を支援することによって人口増加や次世代を担う住民の定住を促進する。 ◆縁結び支縁員 情報交換会、研修会 出席報償金、旅費 123千円 ◆婚姻成立時報償金 30千円	■湯梨浜町縁結び支援員連絡会・情報交換会 ◆縁結び支縁員 2/5 連絡会・情報交換会 出席報償金 8千円、旅費 0千円 ◆婚姻成立時報償金 0千円	縁結び支縁員事業等により婚姻した件数：年1件	0%	【評価：D 計画より遅れている】 縁結び支縁員の仲立ちによる成婚件数は0件であり、目標達成できていない。	企画課
72 婚活イベント事業（広域連携）	中部地区市町と連携し、婚活イベントを開催することにより、結婚を希望する人の出会いの機会を広域的に拡大するなど、少子化傾向の改善に取り組む。 ※中部定住自立圏事業で実施する。 ・広域連合負担金 200千円	鳥取中部ふるさと広域連合と中部市町が連携し、以下のイベントを実施予定。 ■婚活イベント 規模縮小して実施 12/12、2/27 ■えんとりー共催イベント 2/21 ■婚活セミナー 実績なし	令和2年度に広域連携による婚活イベントを実施。パターテーター型イベント：2回 婚活セミナー：2回	50%	【評価：D 計画より遅れている】 婚活イベントは2回実施できたが、婚活セミナーは新型コロナウイルスの影響で実施できず目標2回は達成できなかった。	企画課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績	KPI		担当課
			目標	達成率	
73 LJUTアー 促進事業	地域の将来を支える人材の呼び込みを図るため、都市圏での移住定住相談会に参加し、本町の魅力を積極的に発信する。また、移住コーディネーターを設置し移住相談窓口として各種支援制度の紹介や空き家、住宅情報の提供などを実施し、移住促進を図る。 《R2予算額》 4,133千円(旅費350千円、需用費241千円、役務費42千円、委託料3,500千円)	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により都市圏での県主催の移住定住相談会は開催されなかった。しかし、町独自のオンライン移住相談会を5回開催、全国区のオンライン移住相談会に1回参加。県主催のオンライン相談会に3回参加し、相談会内で合計11組の移住検討者から相談を受けた。	移住について具体的な相談に入っている者数:5人	100%	みらい創造室
74 空き家情報バンク活用促進事業	①空き家情報バンクの運用により空き家所有者と利用希望者のマッチング、紹介を行う。 ②空き家情報バンク登録物件に県内からの町外者が転入する場合に、空き家所有者が行う改修等の費用を補助する。 上限:250千円 補助率1/2 予算:250,000円×1件=250,000円 《R2予算額》 補助金 250千円	①空き家情報バンク物件成約:1件 ②空き家改修補助金利用:0件	①町外(県内)利用者からの空き家バンク物件成約数:1件 ②町空き家改修補助金利用:1件	50%	企画課
75 空き家対策事業	空き家改修事業補助金 県外からの移住定住希望者に空き家を提供する人に対し、空き家の改修費を最大500千円補助する。 《R2予算額》 補助金 500千円×2件	空き家改修補助金利用:0件	移住希望者へ空き家提供:2件	0%	企画課
76 移住定住者住宅支援事業①	県外の人又は県外から町に転入して6か月を経過していない人が住宅の新築、購入又は改修をする場合に補助する。 《R2予算額》 4,500千円 移住定住(土地開発公社)2,000千円×1件 移住定住2名以上1,000千円×2件 移住定住1名500千円×1件	■交付決定 3件 移住定住2名以上1,000千円×2件 移住定住1名500千円×1件	県外からの転入者の定住:4件	75%	企画課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			目標	達成率	評価	
77 移住定住者住宅支援事業②	・ゆりはま定住モデルハウス事業 土地開発公社分譲地を購入した上でモデルハウスを建築し、1年以上運営する事業者(ハウスメーカー等)に対して、補助金を交付することで、本町への移住定住と分譲販売の促進を図る。 (R2は計画認定のみ。債務負担行為設定済) ◆報償費 5千円 ◆通信運搬費 2千円	申請件数:0件	モデルハウス補助金計画認定1件	0%	【評価:D 計画より遅れている】 個別にハウスメーカーにPRしているが、利用に至っておらず、来年度廃止する。	企画課
78 町外者による「ゆりはま暮らし体験ボランティア」の宿泊費助成事業	町内で移住定住希望者にボランティアで作業を行ってもらったことで、地域間交流と地域の人手不足の解消を図る。 ボランティア受入者に報償費を支払い、ボランティア従事者には宿泊費を負担する。 ◆ボランティア受入報償金 100千円 ◆ボランティア受入委託料(宿泊)60泊 330千円 ◆宿泊費補助 26千円 ◆通信運搬費 6千円	ボランティア従事者0名受け入れ ◆ボランティア受入報償金 0千円 ◆ボランティア受入委託料(宿泊)0千円 ◆宿泊費補助 0千円 ◆通信運搬費 0千円	ボランティア従事者:20名	0%	【評価:D 計画より遅れている】 新型コロナウイルス警報が発令された時などは受入を中止するなど、受入期間が短くなったこと、また、全国的に県をまたぐ移動が制限されたことが要因。	企画課
79 若者夫婦・子育て世代・住居支援事業	どちらかが35歳以下の夫婦、中学生以下の子どもが2名以上いる世帯主への住宅新築・購入費に對して補助金を交付。 新築・購入 500千円×46件=23,000千円 新築・購入(中山間地域かさ上げ分) 100千円×8件=800千円 新築・購入(土地開発公社) 1件 1,000千円 新築・購入(レークサイドビレッジ) 600千円×5件=3,000千円 合計 51件、27,800千円	◆交付決定(R1債務負担含) 59件 33,163千円 新築・購入 55件 27,263千円 新築・購入(中山間地域かさ上げ分) 19件 1,900千円 新築・購入(土地開発公社) 4件 4,000千円 ◆交付済額 42件 23,363千円	若者夫婦・子育て世代夫婦の定住:52件	81%	【評価:D 計画より遅れている】 前年の消費増税の駆け込み需要の反動、また、消費増税と新型コロナウイルスの影響による景気低下等が要因と考えられる。	企画課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			目標	達成率	評価	
80 三世帯同居 世帯等支援 事業	三世帯家族の形成と子育ての支援を促進し、 家族の絆の再生と定住促進を図る。 親と子と孫が新たに三世帯で同居するための 住宅の取得や増改築・リフォーム等の費用に対 して助成を行う。 500千円×3件 1,500千円	◆交付決定(R1債務負担含) 2件1,000千円 新築 0件、購入 0件、リフォーム 0件、 増改築 2件(500千円×2件) ◆うち交付済(R1債務負担含) 2件1,000千円	新たな三世帯 家族の定住:3 件	66%	【評価:C 計画どおりに進ん でいる】 前年の消費増税の駆け込み 需要の反動、また、消費増税 と新型コロナウイルスの影響 による景気低下等が要因と考 えられる。	企画課
81 移住者運転 免許証取得 支援事業	■県外からの移住者が自動車運転免許証を取 得した場合、取得費用の一部を助成する。 150千円×3人 450千円 ■県外からの移住者がパーパードライバー講習 を受講した場合、受講料の一部を助成する。 5千円×3人 150千円	◆運転免許取得支援事業補助金 申請 1件 ◆移住運転安心支援事業補助金(パー パードライバー講習関係) 申請 0件	◆県外からの 移住者の免許 取得:3人 ◆県外からの 移住者のパー パードライ バー講習受講 者:3人	17%	【評価:D 計画より遅れてい る】 交付実績が1件。今後も事業 周知に努めていく。	企画課
82 住宅取得仲 介報酬助成 事業	中古住宅及び新築住宅用地(いずれも集合 住宅を除く。)を購入しようとする者に対し、支 払った仲介報酬を一部助成し、町内定住促進に より町の活性化を図る。 130千円×7件 1,300千円	◆5件交付済 564千円 住宅購入(土地含む) 4件 住宅用地購入 1件	中古住宅及び 新築住宅用地 購入による 町内への 定住:7件	71%	【評価:D 計画より遅れてい る】 前年の消費増税の駆け込み 需要の反動、また、消費増税 と新型コロナウイルスの影響 による景気低下等が要因と考 えられる。	企画課
83 お試し住宅 運営事業	古民家を活用したお試し住宅と、街なかに新設 したお試し住宅を設置して、移住定住を検討して いる方に本町の暮らしを体験してもらうとともに、 空き家の有効活用、移住定住検討者と地域住 民の交流による地域活性化及び定住促進を図 る。 まちづくり会社指定管理事業。	利用実績(4月～3月) もりた屋:7件 まつざき屋:16件	お試し住宅利 用件数:42件	55%	【評価:C 計画どおりに進ん でいる】 新型コロナウイルス感染症の 影響により、4、5月の受入を 中止したため、利用が少な かった。 (7件+16件)/42=55%	みらい 創造室

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績	KPI		担当課
			目標	達成率	
84 〈再掲〉 ふるさと奨学金貸与事業(名称変更:ふるさと人材育成奨学金支援事業) 【I:④雇用】の推進にも記載あり】	ふるさと人材育成奨学金支援助成金 鳥取県未来人材育成奨学金支援助成金の認定を受け、町内に定住する人を対象に奨学金返還額の一部を助成する。 ○対象になる業種など 製造業、情報通信業、薬剤師の領域、建設業・建設コンサルタント業、旅館・ホテル業、保育士、幼稚園教諭、農業、林業、漁業、農林水産業協同組合 ○助成内容 無利子の奨学金:貸与を受けた奨学金の返還総額の1/6、有利子の奨学金:貸与を受けた奨学金の返還総額の1/8、助成期間は、原則として県内の対象業種に就職してから8年間。 ◆45千円×2人=90千円(助成中) ◆60千円×5人=300千円(新規)	鳥取県未来人材育成奨学金支援助成金の認定者であることを条件としているため、県の認定、交付決定の際に、本町の制度についても周知した。 町内の対象者がいないため、新規申請がない。今後も県とよく連携を図りながら取り組んでいきたい。 現在、下記の2名に助成中。 H28 1名 (H29に取消) H29 2名 (1名: H29から補助) H30 0名 (1名: H30から補助) R1 0名 R2 0名	申請者(新規) 5人	0%	教育総務課
85 〈再掲〉 全世代・全生涯活躍型「生涯活躍のまち」事業の推進①【Ⅱ:②地域福祉の推進】にも記載あり】	【地方創生推進交付金】 ・生涯活躍のまち推進事業(地方創生推進) 28年度に策定した生涯活躍のまち基本計画に基づき、都市部をはじめとする移住者や地域の方々が、充実した生活と安心して暮らせる【湯梨浜町版生涯活躍のまち】の実現に向けて、「湯梨浜まちづくり株式会社」等、官民が連携し一体となり推進していく。 ◆生涯活躍のまちPR業務(情報発信)7,404千円(旅費823千円、役務費1,793千円。委託料4,788千円) 令和2年度は、レークサイド・ヴィレッジゆりはま開発事業を含む町のPRを行う。 ◆生涯活躍のまち動画制作業務15,950千円 知名度のある女優を起用したPR動画、電子雑誌を作成しアフターコロナでの関係人口、移住定住の促進を図る。	レークサイド・ヴィレッジゆりはまの造成は完了し、一般分譲地の入居、福祉ゾーンの一部の事業は始まった。 オンライン、都市圏でのセミナーを開催して、PRをした。 ■1月30日オンラインセミナー(参加26人) ■2月21日オンラインセミナー(参加20人) ■3月25日東京セミナー(参加14人) 生涯活躍のまち動画、電子雑誌「旅色」を11月25日に公開し、セミナー等で、本動画を活用して、PRをした。	〈推進交付金〉 ①県外からの移住者:185人(R2)、925人(R6) ②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数:1団体(R2)、35団体(R6)	95%	みらい創造室

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

41

事業名	計画	実績	目標	達成率	KPI	評価	担当課
86 〈再掲〉 全世代・全 員活躍型 「生涯活躍 のまち」事 業の推進② 【Ⅱ：②地域 福祉の推進 にも記載あり】	・地域おこし協力隊事業（生涯活躍のまち） 地域おこし協力隊3名を任命し、「湯梨浜町版生涯活躍のまち」実現へ向けて設立された「湯梨浜まちづくり株式会社」が取り組む多岐にわたるまちづくりに関連する事業などを担い、活動するもの。 【地域おこし協力隊】 ・まちづくり会社で活動（3名） 11,976千円	総合相談センターどれみを拠点として、生涯活躍のまちの推進における空き家の利活用促進と、町の情報発信を行っている。 ■空き家の利活用（2名）については、毎月の総合相談センターどれみでの空き家相談日を継続開催しており、相談を受け付けている。また、東郷地域を中心に空き家活用アンケートを実施し、新たな空き家掘り起こしを行っている。空き家バンクへの申請3件を行い、うち1件が登録された。 ■情報発信（1名）については、9月より地域おこし協力隊Facebookページを「ゆりはまフェローズ」と改めて、関係人口を創出するための情報発信を行い、関係人口「ゆりはまフェロー」が98件増加している。（3月31日現在）	〈推進交付金〉 ①県外からの移住者：185人（R2）、925人（R6） ②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数：1団体（R2）、35団体（R6）	95%	【評価：C 計画どおりに進んでいる】 空き家情報バンクへの申請に3件つながるなど、空き家利活用は、着実に進んでいる。また、情報発信については、Facebookページを「ゆりはまフェローズ」に変更したことで、より「いいね」をしたフェロー（関係人口）の認定数が、98件増加している。 ①県外からの移住者：165人／185人＝89% ②CCRC事業に参画する団体：2団体 100% (89%+100%) / 2＝95%	みらい創造室	
87 〈再掲〉 全世代・全 員活躍型 「生涯活躍 のまち」事業の推進④ 【Ⅱ：②地域福祉の推進にも記載あり】	【地方創生推進交付金】 専門的知識や技術を有する看護大学と連携を図りながら、地区単位で取り組む健康づくりを推進し、町民の健康増進・健康寿命の延伸を図る。 ◆消耗品費 5千円 （地区での健康教室教材費） ◆委託料 35千円 （まちの保健室鳥取看護大学委託料）	6月28日開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、1月に開催を延期した。 1月17日に原地区まちの保健室事業を開催。内容は、①各種測定（身長・体重・肥満度・体脂肪・血圧・骨密度）、②鳥取看護大学小原講師によるミニ講話を実施した。	【目標】 原地区（3年目）で1回/年、まちの保健室の開催	100%	【評価：A 達成済、事業完了】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催を延期したが、鳥取看護大学及び当該地区と調整の上、1月に開催した。来年度以降は、「まちの保健室」事業として実施する予定はないが、地区からの要望を踏まえ、ニーズに応じた健康教室の開催を促していく。	健康推進課	
88 全世代・全 員活躍型 「生涯活躍 のまち」事業の推進⑥	生涯活躍のまちに活かされる多世代交流拠点としての町営住宅建替えについて、発注形式の検討 ・発注形式 ・用地取得 等 ●町営住宅建設事業（PFI）に係るPFIアドバイザー業務（21,300千円） ●ゆりはまレークサイドガイドウェイレジ用地取得費（75,331千円）	■用地取得について、レークサイドゆりはま開発株式会社と2020年10月土地売買契約締結。同月支払い完了。所有権移転登記完了済。 ■令和3年1月13日にPFIアドバイザー業務着手。業務期間は令和3年10月23日まで。	〈推進交付金〉 ①県外からの移住者：185人（R2）、925人（R6） ②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数：1団体（R2）、35団体（R6）	95%	【評価：C 計画どおりに進んでいる】 ①県外からの移住者：165人／185人＝89% ②CCRC事業に参画する団体：2団体 100% (89%+100%) / 2＝95%	町民課	

41

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

42

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			目標	達成率	評価	
89 地域おこし協力隊事業	地域おこし協力隊の活用が有効と思われる分野について、関係課の予算措置に基づき、隊員募集を企画課で行う。	任用0名	協力隊の任用1名 (産業振興課分)		【評価】D 計画より遅れている 5月に募集を行ったが、応募が無かった。コロナウィルスの状況もあり募集を中断していたが、10/13から再募集を開始。年度末までの随時募集とした。 町HP、移住定住支援HPにて広報を行うとともに、移住コーディネーターへ情報提供を行った。数件の問い合わせがあったが、申し込みはなかった。	企画課
90 地域のにぎわいを創出する事業への支援① コミュニティ助成事業	コミュニティ助成事業 (財)自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業を活用し、町内各集落、団体のコミュニティ活動に必要な施設又は設備の整備を行う。 ◆通信運搬費 21千円 (交付決定後、補正予算で対応) ◆補助金2件 14,100千円 ①方地公民館 1,600千円 ②白石区自治会 12,500千円 ※6月補正予算計上	◆交付済 3件 16,000千円 【当初分】 ①方地公民館 1,600千円 ②白石区自治会 12,500千円 【追加募集分】 ③園区 1,900千円 ◆通信運搬費 16千円	(財)自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業を活用し、町内各集落、団体のコミュニティ活動に必要な施設又は設備の整備を行う。	100%	【評価】C 計画どおりに進んでいる R2採択区への交付決定、R3募集案内など計画どおりに実施した。	企画課

42

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			目標	達成率	評価	
91 地域のにぎわい、まちづくりを創出する事業への支援② まちづくり創造事業・ステップ事業	まちづくり創造事業・ステップ事業 自主的・継続的にまちづくりを推進する団体への助成を行う。対象事業は、原則新規事業で、事業成果が持続性(原則3年以上)及び活性化が図られるソフト事業。 ◆ 交付補助金 700千円 1件200千円×3団体(創造事業) 1件100千円×1団体(ステップ事業) ◆ 役務費 2千円 ※原費:市町村交付金(1/2)	◆ 交付済 2件 243千円 創造事業(みんなの食堂ゆるりん) 1件 143千円 ステップ事業(鬼嫁の里プロジェクト) 1件 100千円	まちづくりを創造する団体の育成 創造事業 1団体	0%	【評価:D 計画より遅れている】 町報等を通じて新規団体を募集したが、申請はなく目標には至っていない。また、創造事業の支援団体については新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた行事が中止になったことに伴い、実績額は見込を下回った。	企画課
92 地域のにぎわい、まちづくりを創出する事業への支援③ 集落づくり総合交付金事業	集落づくり総合交付金事業 町内各集落の運営費や防災活動、その他福祉活動等自主的な集落づくり活動などに対して交付金を助成する。 ◆ 集落運営交付金 ◆ 自主防災組織運営交付金 ◆ 防犯灯維持管理交付金 ◆ 防犯灯設置等交付金 ◆ 集落活性化交付金 ◆ 補助金 計 37,123千円 ◆ 通信運搬費 63千円	◆ 集落運営交付金(全区) 5/11支払 ◆ 防犯灯維持管理交付金(73区)5/11支払 ◆ 区長等事務費交付金(全区)10/12支払 ◆ 集落活性化事業交付金(随時) ◆ 自主防災組織運営交付金(随時) ◆ 防犯灯設置等交付金(随時) ◆ 補助金 30,208千円 ◆ 通信運搬費 24千円	集落づくり総合交付金:75地域	100%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 集落活性化交付金については、新型コロナウイルスの影響で事業規模の縮小又事業実施を断念した区が散見された。	企画課
93 地域のにぎわい、まちづくりを創出する事業への支援④ 地域にぎわい創出事業	町内に旧地区公民館単位を基準とした地域を設定し、その地域が実施する「運動会」、「祭り」などの経費を補助する。 12地域(羽合:7地域、東郷:4地域、泊:1地域) 【補助率・補助金限度額】 補助率:10/10 限度額:地域均等分90,000円+地域の人口×150円 ◆ 補助金 3,610千円 ◆ 役務費 6千円	全12地域のうち、11地域から交付申請を受け、交付済。 ◆ 補助金 996千円 ◆ 役務費 2千円	地域にぎわい創出補助金:12地域	92%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が中止又は縮小となったことに伴って、実績は見込を下回った。また、12地域のうち1地域については計画した事業が全く実施できなかったため、実績は0となった。	企画課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

44

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			目標	達成率	評価	
94 地域のにぎわい、まちづくりを創出する事業への支援⑤ ボランティア団体育成支援事業	ボランティア団体育成支援事業 ボランティア団体の育成を図り、住民参加型の地域活動を促進し、協働のまちづくりを推進する団体を支援する。 ◆補助金 16団体 513千円 ◆消耗品費 5千円 ◆通信運搬費 5千円	交付済 12件 うち新規交付団体 1件 ◆補助金 237千円 ◆消耗品費 3千円 ◆通信運搬費 5千円	NPO法人、ボランティアグループの数:2団体増 ※助成金を交付した団体	50%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 新規に助成金を交付した団体が1件あったが、目標には至らなかった。	企画課
95 防災対策特別強化事業	湯梨浜町内各集落の防災意識高揚のための人的支援。15件以上の各種団体・集落における研修を実施する。また、自主防災組織を1地区以上設立する。 ◆報酬 2,106千円 ◆期末手当 297千円 ◆社会保険料 435千円 ◆旅費 10千円 ◆費用弁償 120千円 ◆消耗品 100千円 ◆通信運搬費 10千円	■研修14回開催 4月 東田後区 6月 町中央公民館 7月 尾長区 9月 東伯郡連合婦人会 10月 新川区、宇野区、門田区、久留東区、湯梨浜文化大学 11月 湯梨浜防災シンポジウム、別所区、原区 2月 下浅津区、羽合小学校	15件以上の各種団体・集落における研修を実施。また自主防災組織を1地区以上設立する。	93%	【評価:D 計画より遅れている】 12月以降に実施を予定していた2件(長江区、東田後区)が新型コロナウイルスの影響により、キャンセルとなった。研修開催については、概ね目標を達成したが、自主防災組織については、設立ができなかったため、引き続き未設立区に対して働きかけを行う。	総務課
96 小地域拠点集会所等バリアフリー事業	高齢化した地域住民等が安心して地域交流できるように拠点である地域集会所等のバリアフリー改修に對し助成を行う。上限1,000千円。2/3助成。 ◆補助金 2,000千円 より多くの地区にバリアフリー改修を実施していただくため、各区長に事業内容等についてお知らせし、改修の必要性を検討いただき、実施を呼びかける。	バリアフリー改修実施 ・4月 国信区 トイレ改修 ・5月 長瀬中央区 トイレ改修 ・2月 はわい温泉区 段差解消工事 ・3月 新川区 トイレ改修 門田区 トイレ改修 野花区 トイレ改修	バリアフリー改修5地区	120%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 今年度度は6地区がバリアフリー改修済みで目標5地区を上回った。今後も区長会等事業を周知し、実施を呼びかけていきたい。	総合福祉課

44

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			目標	達成率	評価	
97 買い物難民対策事業	高齢者支援のための地域支え合いの手引きの情報を更新し、買い物等不便者の解消を図る。 町社会福祉協議会が実施している「のりあいバス運行事業(週1回運行)」の経費助成を行い、高齢者等の移動手段の確保を図るとともに、より活用しやすいのりあいバス運行事業について検討を進めた。 また、高齢者等の移動手段の拡充について検討を進めたい地域や地域貢献活動を行う民間事業者との協議を進め、のりあいバス事業以外の移動手段について協議を進める。 ◆補助金 319,000円	毎年、買い物支援にかかる社会資源の把握を随時行い、情報提供を行っているが、今年度は改定することができなかった。 また、移動手段をもたない高齢者等の移動の利便性向上を図るため、町社会福祉協議会が週1回・2路線運行している「のりあいバス運行事業」に対して、移動支援事業補助金として運行経費の一部を助成する補助金の交付決定を行った。 ・のりあいバス運行事業登録者 47人 移動手段の確保が課題となっている地域に、共助交通の取り組みについて声掛けを行っており、1地区では地域内でアンケートを実施された。 12月7日には社会福祉協議会の小地域ネットワーク研修会で共助交通についての研修が予定されていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止になり、共助交通について理解を深める機会を持つことができなかった。 ◆補助金 265,000円(決算)	社会資源の把握、啓発を行い、適切な支援につなげる。 また「のりあいバス事業」の利用者を45人以上とし、運行に係る経費の助成を行う。	100%	【評価】D 計画より遅れている 地域支え愛の手引きは情報収集の段階で、改訂ができなかった。 町社会福祉協議会が実施する「のりあいバス運行事業」の経費の一部を助成することにより、移動手段を確保することが困難な高齢者等の通院や買い物等における移動を支援することができた。 ・のりあいバス運行事業登録者 47人／45人×0.5＝50% ・運行経費の助成 進捗率 100%×0.5＝50% 合計 100%	長寿福祉課
98 小さな拠点事業の推進	【地方創生推進交付金】 泊地域において、住む人・場所、買い物、地域コミュニティ、行政などの各機能と各集落をつなげ、地域の再生を目指す取り組みを行う。 地域住民が主体となった運営団体設立の協議をしながら買い物機能拠点の運営方法の検討、基本設計を実施する。 ◆協議会運営 81千円 ◆基本設計委託 1,590千円	買い物機能の運営を担う団体の発起人会がこれまで10回開催され、検討の中で、店舗施設の持続的な経営が困難であると判断するとともに、新たな移動販売が泊地域で3月にスタートしているため、買物難民に効果が見込まれることから、店舗施設の設置は行わず、移動販売の状況を見守っていくこととなった。	小さな拠点運営団体の設立	0%	【評価】D 計画より遅れている 持続可能な店舗運営方法の確立が難しい点と、新規の移動販売の泊地域への参入があり、施設設置は行わず、移動販売へ可能な範囲での協力や支援を検討していくこととなった。	みらい創造室
99 ICT推進事業 ①	行政インフラシステムを活用を勧奨し、県内自治体間における業務効率化を促進する。 ◆負担金 56千円	新規会議室の開設 0件	県等によるスペース(ワーキンググループ)の立ち上げ件数: 30件	0%	【評価】D 計画より遅れている 特に新規案件で会議室を作つて横断的に協議したい内容がなく、県内でも動きなし。	企画課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			目標	達成率	評価	
100 ICT推進事業 ②	鳥取県と県内市町村(一部除く)が、共同で運用している電子申請システムの利用促進と、情報通信技術に関する業務対応が可能な職員育成に努める。	7月17日 電子申請サービス操作研修3部署4名参加。電子申請取扱い手続き、11月末現在で追加なし。	5部署以上の職員の研修参加・電子申請取扱い手続き5以上の追加	40%	【評価】D 計画より遅れている 感染症拡大予防のため、追加研修が中止となり、研修参加部署は3部署に留まる。新規電子申請手続きは、1手続を追加して令和2年度末で4手続。今後、各課に手続きの追加を呼び掛ける。 【評価】C 計画どおりに進んでいる 10月20日、11月17日、2月2日に地域交流会ワークショップ、3月5日報告会に参加した。参加した4人にフェローになってもらい、名刺を贈呈した。	総務課
101 東京大学 フィールドスタ ディ型政策協 働プログラム	東京大学の学生が自治体の社会的課題解決のため、①事前調査②地域に滞在して現状を体験・把握③課題解決提案に向けた調査④地域及び大学で提案を行う。学生を受け入れることで、湯梨浜町の関係人口の創出を図る。 →新型コロナウイルス感染症対策のため今年度事業中止	新型コロナウイルス感染症のため今年度中止。 代替としてオンライン形式で関係人口に関する地域交流会を開催し学生4人が参加し、3回交流会を開催し、提案を受けた。	交流した学生にゆりはまフェローになってもらう人	100%	【評価】D 計画より遅れている 寄付者数9,126人。寄付者数について、返礼率引き下げにより、令和元年度から落ち込んだ。ただ、過去4年増加傾向にあり、パンフレットの送付・メルマガ等リピーターへの働きかけの効果は見られる。今後も引き続きPRに努めていく。	総務課
102 ふるさと納税 推進事業	ふるさと納税の寄附受け入れ、町特産品(返礼品)送付、定期的な情報提供・町のPRを通じて、寄附リピーターと関係人口の増加を図る。	寄附者に向けて、定期的な情報提供をおこない、関係人口の増加を図った。 情報提供 4月パンフレット 6,500部送付 10月パンフレット 6,500部送付 チョイス新着情報 102発信 メルマガ 12回送信 寄附者数 9,126人	メルマガ等による情報提供 年24回以上 寄附者数 毎年10,000人以上 (R1 16,740人 H30 8,606人 H29 7,059人)	91%	【評価】D 計画より遅れている 寄付者数9,126人。寄付者数について、返礼率引き下げにより、令和元年度から落ち込んだ。ただ、過去4年増加傾向にあり、パンフレットの送付・メルマガ等リピーターへの働きかけの効果は見られる。今後も引き続きPRに努めていく。	総務課

	事業名	計画	実績	KPI			担当課
				目標	達成率	評価	
103	企業版ふるさと納税推進事業	都市部などの企業に総合戦略に係る事業をPRし、事業に対して寄附を募る。本町の取り組みに関心を持っていただくことにより、将来的に人材の交流などに結びつけるなど、企業との連携の深化を図る。	4月、「SIBを活用した飛び地型自治体連携事業(食と健康のまちづくり事業)」についての寄附の募集を目指し、健康推進課及び総務課と、制度内容や役割分担などを確認した。	募集受付を開始する事業を1事業以上とする。	0%	【評価:D 計画より遅れている】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により企業へのトップセールスを見合わせ、寄附の募集を実施しなかった。	みらい創造室
104	ゆりはまフェローを核とした関係人口推進事業	地域おこし協力隊によるFacebookのフォロワーや、町イベント等参加者及びふるさと納税者のうち県外者を「湯梨浜フェロー」と位置付け、町の広告塔としての役割を担っていたこと、体験ボランティアとして来町していたことにより、町の関係を維持し、将来的な移住定住に結びつける。 《R2予算額》6,038千円(旅費443千円、需用費721千円、役務費86千円、委託料4,788千円)	9月から地域おこし協力隊のFacebookページを「ゆりはまフェローズ」と変更し、町の魅力、施策の情報発信を行い、オンライン2回、東京1回セミナーを実施し、PRを行った。ページへ「いいね」をしてフェロー(関係人口)と認定された数が98件増加した。(3月31日時点)	新たにゆりはまフェローに認定された人数:30人	100%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 Facebookページ「ゆりはまフェロー」の開設により、関係人口のPRが一元化され、効果的な発信を行っている。	みらい創造室

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			目標	達成率	評価	
1 湯梨浜町 総合戦略 策定事業	湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する事業を着実に実施していくとともに、成果検証を行い改善を図っていく。 ◆総合戦略会議、成果検証会議委員報償金 戦略会議2回開催予定 44千円 ◆報告会、説明会、研修会への参加旅費 241千円 ◆消耗品の購入、郵送料 60千円 令和元年度に策定した第2期総合戦略に関する事業の着実な実施のため、成果検証のための会議を開催していく。		総合戦略会議、成果検証会議を各1回以上開催する			みらい創造室
2 農産物販 路拡大及び ブランド化 推進事業	二十世紀梨販路拡大PR事業 コロナ禍および新型コロナウイルス感染症拡大の終息を見据えて進物用パンフレットの内容などを再検討し、JA東郷果実部で県のお土産事業を活用して作成していく。販路拡大、単価増額については、リモート形式を活用した販売PRを行い、増収につなげる。 【販売PRイベント】 観光大使活動謝金 12,000円 特別旅費 45,000円 PR用梨 10,000円		令和元年産単価の1%増 (二十世紀梨 4,657円/10kg →4,700円/10kg)			産業振興課
3 鳥取梨等 生産振興 事業(農業 生産現場 強化事業) ①	鳥取柿ぶどう生産振興事業 鳥取県が新規栽培を推奨している新品種(輝太郎、シャインマスカット)への新植、それに伴う園地の整備(ハウス新設、果樹棚、園内道、かん水施設等)、育成管理を支援する。 輝太郎全面改植100千円(10a) 防除用機械整備300千円		柿、ぶどう等の新品種の新植面積の10a増			産業振興課

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			目標	達成率	評価	
4 鳥取梨等 生産振興 事業(農業 生産現場 強化事業) ②	・鳥取梨生産振興事業(地方創生) 県が推奨する新品種(新甘泉、王秋など)を中心に栽培に必要な資材(苗木、土壌改良剤等)、施設(果樹棚、かん水施設、園内道、スピートスプレーヤーなど)の整備を支援。新品種の植栽を伴う場合は2/3(県1/2+町1/6)、既存品種(ジョイント栽培)が中心の場合は1/2(県1/3+町1/6)。補助対象者は町内で梨を栽培している農業者(認定農業者は個人で取組可)または農業協同組合。 新甘泉等特別対策16,882千円、気象災害に強い施設整備事業580千円、ジョイント栽培拡大事業2,340千円、低コスト・体制強化事業350千円		新品種の新移植0.5ha			産業振興課
5 湯梨浜版 担い手認定	○湯梨浜町担い手ステップアップ支援事業 【対象者】①認定農業者、②準認定農業者、③認定新規就農者、④準認定新規就農者、⑤集落営農組織 【支援内容、補助率等、対象者】 ○就農奨励金:就農3年以内の対象者に定額30万円、④ ○新規就農者住宅家賃補助:町外から転入する就農者に家賃上限2万円を補助、③・④ ○中古機械導入補助:中古機械導入費の1/3(上限10～50万円)を補助、①・②・③・④・⑤ ○農業機械修理補助:農業機械・施設の修繕費の一部を補助(5～30万円)、①・②・③・④・⑤		新たな認定農業者数 2名			産業振興課
6 中核的担い 手農家育成 奨励金 交付事業 (農業生産 現場強化 事業)	【事業内容】 認定農業者あるいは新規就農者が町内の農地を3年以上借り受けた場合、奨励金を交付する。本町の農地を守るため、27年度から町外の認定農業者が借り受けた場合も対象としている。 町内者:2,000円/10a×年 町外者:1,000円/10a×年		権利設定面積 21ha			産業振興課

事業名	計画	実績	KPI		担当課
			目標	達成率	
7 農林水産物等販売促進事業	町内の農林水産物の商標権、意匠権等の取得や宣伝資材作成を支援する。 販売促進のための新規パッケージ作成を支援50千円(1/2補助・上限80千円) 販売促進にかかるチラシ、パンフレット作成費100千円(1/3補助・上限300千円) ブランド化を図るための商標権、意匠権等の取得を支援100千円(1/2補助・上限あり)		パンフレットの作成利用について周知を実施し、制度利用を見込む		産業振興課
知的財産権取得支援	○知的所有権取得支援事業 知的財産権(登録商標、GIマーク、意匠権など)の申請・取得を支援する事業者に對し、経費の一部を支援		新規取得: 1件		産業振興課
パッケージデザイン作成助成事業	○パッケージデザイン作成助成事業 町内で製造された農産物の販売、または町内産の原料等を使用した加工品を製造販売する際に必要な、商品のパッケージデザインを新たに作る事業者に對し、経費の一部を支援		新規作成: 1件		産業振興課
7 農林水産物等販売促進事業へ統合し、削除。					
東郷湖漁業振興事業	◆補助金 80千円×1団体＝80千円 (実施希望があれば補正予算により対応する。) ○東郷湖漁協漁業振興費補助金 【事業内容】漁協が実施する覆砂事業費を補助し、東郷池の水質浄化及びシジミの増殖を図る。 ◆補助金 267千円 ○内水面漁場環境保全事業補助金 【事業内容】東郷湖の浮遊ゴミ等の処理費を補助し、漁場環境を保全する。 ◆補助金 267千円		シジミ漁獲量 100t		産業振興課

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			目標	達成率	評価	
9 沿岸漁業 活性化推 進事業	町内の漁業者の漁業経営改善を図るために、燃料高騰対策として輸送量コスト支援を行う。 ◆輸送コスト支援補助金 30,000箱×100円×1/3＝ 1,000千円		漁家数 2戸			産業振興課
10 特産果物 生産振興 事業	町の特産品である、二十世紀梨、ぶどう、イチゴ、メロン、スイカ、梅の生産を維持・拡大するため、県の補助事業にのらない品種について、生産者の要望に沿う支援を行う。 ブドウ連棟ハウス巻き上げ機設置 1/2補助 592千円 老朽化ハウス改修費補助 1/3補助 333千円 二十世紀梨系統品種への改植 1/3補助 400千円 果樹棚更新 1/2補助 400千円 ほか		設備導入支援 農家数 5戸			産業振興課
11 森林環境 税関連事 業	管理不足による森林環境の悪化が懸念される中、森林経営管理事業や放置竹林対策事業を支援する。 ◆森林経営管理事業 1,790千円 意向調査委託(小浜、筒地地区:20.59ha)・管理権集積計画作成委託(石脇、泊地区:26.59ha) ◆竹林対策事業 89千円 町放置竹林対策協議会1回 タケノコ掘り講習会、ウラ止め・間伐講習会 ◆森林整備基金積立金 4,800千円 令和2年度森林経営管理事業推進面積 26.59ha(石脇、泊地区) (意向調査回答面積 21.01ha)		森林経営管理 事業推進面積 12ha			産業振興課
12 ゆりはま農 作業体験ツ アー事業	就農希望者に本町での農作業体験ツアーを提供する。費用助成することで参加を促し、将来的な移住就農へとつなげる。 交通費助成(片道相当) 1/2補助 53千円 宿泊費助成(3泊4日・お試し住宅) 36千円 着地型観光体験 4千円 ※いずれも4人を想定		参加者数 4人			産業振興課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

	事業名	計画	実績	KPI			担当課
				目標	達成率	評価	
13	グラウンド・ゴルフ国際化及び潮風の丘聖地化の推進①	【地方創生推進交付金】 グラウンド・ゴルフの国際化に向け、プロモーションDVDの多言語化を推進する。本年度はアラビア語、ウルドゥー語、カザフ語を追加。 ◆多言語DVD作成委託料 1,667千円		①海外からのイベント参加者数 240人 ②海外からのイベント新規参加国数 2カ国			産業振興課
14	グラウンド・ゴルフ国際化及び潮風の丘聖地化の推進②	グラウンド・ゴルフの国際化及び潮風の丘聖地化に向け、潮風の丘の施設等整備を行う。 ◆潮風の丘とより多目的広場周辺の景観保全 611千円		①海外からのイベント参加者数 240人 ②海外からのイベント新規参加国数 2カ国			産業振興課
15	グラウンド・ゴルフ国際化及び潮風の丘聖地化の推進③	【地方創生推進交付金】 グラウンド・ゴルフの国際化のため、海外普及活動・WMG2021関西のPR・国際組織の運営協力や、用具海外販売を促進する。 ◆ルール普及2,247千円 フィリピン、スペイン ◆用具提供1,720千円 未普及国を中心に用具を贈呈するとともに、湯梨浜まちづくり㈱による販売をPRする。 ◆国際組織運営協力175千円 町国際大会時に国際グラウンド・ゴルフ連盟と連携して、参加国代表者会議等を開催する。		①海外からのイベント参加者数 240人 ②海外からのイベント新規参加国数 2カ国			みらい創造室

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			目標	達成率	評価	
16 ウオーキングリゾート構想の推進及びインバウンドの促進①	【地方創生推進交付金】令和2年11月、済州オルレとの「友情の道」協定を締結。ウオーキングリゾートとしてインバウンド化を目指すため、町の認定したウオーキングコースを生かし、国内外の交流人口増加と地域活性化を目指します。また、湯梨浜町ウオーキングコースにおいて町の特産等でおもてなしを行う。 《ウオーキングリゾート推進事業》 ◆旅費 360千円 ◆消耗品費 20千円 ◆印刷製本費 264千円 ◆通信運搬費 9千円 ◆筆耕翻訳料 90千円 ◆委託料 663千円 ◆使用料及び賃借料 1千円 ◆負担金 5千円 計 1,412千円		①海外からのイベント参加者数 240人 ②海外からのイベント新規参加国数 2カ国			健康推進課
17 アロハカーニバル事業【I：③商工業の振興にも掲載あり】	本町にある羽合地域の「ハワイ」の知名度を活かした期間設定の取り組みとして、地元飲食店でのスタンプラリーや宿泊施設や観光施設とも連携した企画を実施するなど、飲食店の振興と地域の活性化を図る。 ○事業費内訳： オープンングイベント 300千円 観光誘致費用(スタンプラリー景品等) 710千円 イベントPR費用 400千円 事務費20千円 計1,430千円 ◆上記に対する補助金額 1,250千円		①イベント参加店舗数:15店舗以上 ②スタンプラリー参加者数:200人以上			産業振興課

	事業名	計画	実績	KPI			担当課
				目標	達成率	評価	
18	天女のふる里づくり事業①	①東郷湖・未来創造会議事業 「天女のふる里づくり」事業の一層の伸展に向け、住民と連携した緑化の取組を推進する。 ◆地域おこし協力隊員報酬等 2,416千円 ◆社会保険料 385千円 ◆委員報償費等 72千円 ◆委員旅費 70千円 ◆消耗品 10千円 ◆通信運搬費 13千円 ◆交付金 1,026千円 ②花と緑のまちづくり支援事業補助金の交付 ◆補助金 400千円		補助金の利用:5件			企画課
19	天女のふる里づくり事業②	①-1 天女を活用したまちづくりの一環として関係自治体へのイベント参加交流を実施 ①-2 子どもたちへの羽衣天女伝説の認知度向上を目的にパンフレットを配付 ◆イベント参加旅費 46千円 ◆消耗品 28千円 ◆通信運搬費 5千円 ◆モニュメント保険料 4千円 ◆高速道路使用料等 13千円 ②宇宙桜やハナミズキ、宙ユリなど花関連の情報を発信する。		①イベント参加:1回 ②花関連情報の新聞、ニュース等での取り扱い:2回			企画課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			目標	達成率	評価	
20 天女のふる里づくり事業③	・宇宙桜植樹交流事業 宇宙を旅した桜の種から生育した苗木の植樹をH29年度に実施。宇宙の桜＝「天女桜」として育て、観光振興に活用していく。これをシンボルとして、緑化推進の機運醸成にもつなげる。(植樹3年目) ◆旅費 141千円 ◆消耗品 50千円		宇宙桜に関連した住民参加による取組:7回			企画課
21 天女のふる里づくり事業④	・天女のふる里東郷湖「花」基金積立金 天女を活用したまちづくりの推進策の一つである町内の緑化推進のため、東郷湖周への桜植樹などを行うこととしている。その財源に充てるため、ふるさと納税制度等を活用した寄付を募り、基金へ積み立てるもの。 ◆積立金 1,202千円		寄付金額を120万円とする。			企画課
22 天女のふる里づくり事業⑤	・町天女キャラクター活用推進事業 天女のまちイメージ創出に向け、天女キャラクター「ゆりりん」のデザインと着ぐるみの活用を進める。 ◆旅費、メンテナンス、通信運搬費等 192千円		デザイン活用30件 着ぐるみ活用30件			産業振興課
23 観光地域づくりの核となる「DMO」の推進(広域連携)①	・鳥取県中部観光推進機構【会費】 鳥取県中部地域及び岡山県蒜山地域の連携を深め、観光資源の共有及び周遊環境の整備等による広域観光地の魅力向上のための事業を展開するためH27に一般社団法人化したDMO組織への会費。 ◆会費 531千円		推進交付金 中部エリア(令和3年) ①年間観光入込客数 5,000,000人以上 (R2:4,288,897人) ②年間宿泊客数 400,000人以上 (R2:361,599人) ③年間外国人宿泊客数 4,000人以上 (R2:3,511人)			産業振興課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

56

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			目標	達成率	評価	
24 観光地域づくりの核となる「DMO」の推進(広域連携)②	【地方創生推進交付金】 新たな観光振興スタイル、時代に合致した情報提供方法(デジタル化)、感染対策を講じた観光商品(ワーケーション等)を中心とした事業を実施する。 広域観光連携推進事業負担金 30,000千円 デジタル化推進事業 アニマルチャーターコンテナツウ育成事業 情報発信事業 インバウンド誘客対策事業 観光スキルアップサイト構築事業 ワーケーション整備計画策定事業 ◆湯梨浜町負担金 3,520千円		推進交付金 中部エリア(令和3年) ①年間観光入込客数 5,000,000人以上 (R2:4,288,897人) ②年間宿泊客数 400,000人以上 (R2:361,599人) ③年間外国人宿泊客数 4,000人以上(R2:3,511)			産業振興課
25 教育旅行のメニュー開発事業	教育旅行商品の企画・作成を行う。 ◆町観光協会補助金 10,481千円		2年後の修学旅行等の予約:10件			産業振興課
26 ワーケーション推進事業 (ゆうゆうゆりはま事業、観光関連施設公衆無線LAN整備支援事業を含む)	【地方創生推進交付金・臨時交付金ほか】 町内宿泊施設等におけるワーケーションの活用について県内外へPRを行う ◆ワーケーション推進事業 12,301千円 Webサイト更新及び告知ページ制作、動画制作、告知パンフ制作など ◆観光関連施設公衆無線LAN整備支援事業 300千円 町内観光施設等が行う公衆無線LANの整備補助		町内宿泊施設におけるワーケーション利用者数 50人			産業振興課
27 食と健康のまちづくり事業	県・町・(株)タニタヘルスリンクと進める「ゆりはま食と健康のまちづくり事業に関する協定」に基づき、町民の健康寿命の延伸及び店舗への誘客を図る。 ◆飲食店とタイアップしたタニタ監修メニューの提供 《食と健康のまちづくり事業》 ◆タニタヘルスリンク・リズム展開業務委託料 監修メニュークリエイティブ業務 165千円		【目標】 監修メニュー提供数:800食			健康推進課

56

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			目標	達成率	評価	
28 ゆりはまじ げ産業支援 事業	町内での創業、新事業進出や販路開拓に取り組む事業者に対して必要経費の一部を補助する。 ◆補助金 創業、新事業進出や販路開拓に取り組む5事業者を支援する。		制度活用事業者5件以上			産業振興課
29 チャレンジ ショップ支 援事業 【1:④雇 用の推進に も記載あり】	町内の空き店舗や空き家などを借りて事業を行う場合にその賃借料を補助する。 ◆補助金 新規分1件480千円		新規申請1件			産業振興課
30 〈再掲〉 アロハカー ニバル事業 【1:②観光産業の振興にも記載あり】	本町にある羽合地域の「ハワイ」の知名度を活かした期間設定の取り組みとして、地元飲食店でのスタンプラリーや宿泊施設や観光施設とも連携した企画を実施するなど、飲食店の振興と地域の活性化を図る。 ○事業費内訳: オープンイベント 300千円 観光誘致費用(スタンプラリー景品等) 710千円 イベントPR費用 400千円 事務費20千円 計1,430千円 ◆上記に対する補助金額 1,250千円		①イベント参加店舗数:15店舗以上 ②スタンプラリー参加者数:200人以上			産業振興課

	事業名	計画	実績	KPI			担当課
				目標	達成率	評価	
31	ふるさと名物応援事業	町の地域資源を生かした商品や観光プランの開発を支援する。従来は東郷湖周ウオーキングを活用した商品開発を対象といていたが、制度を拡大し、町内の地域資源を活用する事業を対象とする。 ◆補助金 150千円×1事業者＝150千円		新規申請1件以上			産業振興課
32	環境創出プロジェクト事業	町民から生ごみを回収し、これを活用し農業用の有機液体肥料や培養土として販売する。また、その他東郷支所などに液肥タンクを設置し、町民に無料配布する。これにより町民参画と食物を土に返すことによるイメージアップ、企業との連携によるエコブランドの販路を図り循環型社会を継続して推進する。 ◆対象事業費3,924千円(委託料3,773千円:生ごみ収集運搬、報償金10千円:生ごみ回収協力区への報償、消耗品費141千円:生ごみ収集に係る事務経費)		生ごみ回収協力区の拡大 R2末 10区 ⇒ R3末 12区以上			町民課

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			目標	達成率	評価	
33 看護師、保育士奨学金助成事業（ふるさと奨学金支援助成事業） 【Ⅲ：①移住定住の推進にも記載あり】	【ふるさと人材育成奨学金支援助成金】 鳥取県未来人材育成奨学金支援助成金の認定を受け、町内に定住する人を対象に奨学金返還額の一部を助成する。 ○対象になる業種など 製造業、情報通信業、薬剤師の領域、建設業、建設コンサルタント業、旅館・ホテル業、保育士、幼稚園教諭、農業、林業、漁業、農林水産業協同組合 ○助成内容 ・無利子の奨学金：貸与を受けた奨学金の返還総額の1/6 ・有利子の奨学金：貸与を受けた奨学金の返還総額の1/8 ・助成期間：原則として県内の対象業種に就職してから8年間 ◆45千円×2人＝90千円（助成中） ◆60千円×5人＝300千円（新規）		申請者(新規) 5人			教育総務課
34 〈再掲〉 チャレンジショップ支援奨励金 【Ⅰ：③商工業の振興にも記載あり】	町内の空き店舗や空き家などを借りて創業する事業者に、その賃借料の1/2を補助する。 ◆補助金 新規分1件480千円		新規申請1件			産業振興課
35 雇用促進奨励金事業①	・雇用促進奨励金 町内の事業所が①シニア世代(55歳以上)②子育て女性(18歳以下の子どもがいる女性)③就職氷河期世代(昭和49年度から昭和58年度生まれ)④コロナウイルス感染症の影響による解雇や内定取り消しを受けた人ーを6か月以上継続雇用した事業所に奨励金を交付する。 ◆補助金 4人分の制度利用を見込む。		新規雇用者4人			産業振興課

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			目標	達成率	評価	
36 就職関連情報提供事業	県内就職を支援するため、県外の大学生などに就職関連情報を提供する。		情報提供1件以上			産業振興課
37 企業誘致用地等情報提供事業	町内の企業誘致可能な土地や空き工場の情報を集約し、町ホームページなどを活用して情報提供を行う。		情報提供1件以上			産業振興課
38 ビジネス人材移住支援事業	東京圏から町内に移住した者が、鳥取県が実施するマッチングサイトに掲載された求人に就業し、3か月以上勤務している場合は鳥取県が実施する起業支援金の交付決定を受けた場合に移住支援金を交付する。 世帯で移住した場合1,000千円、単身で移住した場合500千円 ◆補助金 1,000千円×1世帯＝1,000千円		1世帯(2人)移住			企画課
39 中学校跡地施設活用事業	旧北浜・旧東郷中学校等跡地施設の有効利用を図るため、民間提案制度の活用等により、利用事業者を決定する。 《R3予算額》1,625千円(報償費327千円、需用費291千円、役員費5千円、委託料944千円)		旧北浜中エリア及び旧東郷中エリアの利用事業者を決定する。			企画課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績	KPI		担当課
			目標	達成率	
40 子育て支援事業	低年齢児(満2歳未満児)の家庭子育ての支援 生後8週を超え満2歳に満たない乳幼児を、居間家庭で子育てをする父母又は祖父母に対し給付金を支給。 育児休業給付金(手当)を受けている期間を除く。 乳幼児1人につき1月30,000円。 ◆5,392千円/3カ月×4回=21,568千円		年度末時点で2歳未満児の家庭での子育て率を68.8%以上とする。		子育て支援課
41 多子世帯保育料軽減事業	令和3年度無償化、軽減 【国】年収360万円未満の世帯。同時入所問わず 第3子以降児無償、第2子半額 【県】年収360万円未満の世帯。第1子と同時入所の第2子、無償。年収360万円以上の世帯。同時入所問わず第3子以降児無償 【町】年収360万円以上世帯。同時入所問わず第2子軽減		第3子以降児の出産件数を令和3年度まで毎年30人とする。(出産祝い金支給ベース)		子育て支援課
42 第3子以降中学校卒業祝い金支給事業 (第3子以降出産・入学・卒業祝い金支給事業)	多子世帯児童の健全育成、当該世帯への経済的負担の軽減のため、出産・入学祝い金支給事業を拡大し、進学や就職準備時である中学校卒業時に祝い金支給を行う。 (H28年度から卒業祝い金支給実施) ◆見込み 3,230千円 出産時 50,000円 × 31名 = 1,550千円 小学校入学時 30,000円 × 27名 = 810千円 中学校卒業時 30,000円 × 29名 = 870千円 通信運搬費 8千円		第3子以降児の出産件数を令和3年度まで毎年30人とする。(出産祝い金支給ベース)		子育て支援課
43 子育て世代包括支援センターの整備①	・子育て世代包括支援センター事業 相談支援のワンストップ拠点となる子育て世代包括支援センターを設置し妊娠、出産から就学前までの切れ目の支援をめざす。 コーディネーターを配置し、必要な支援やサービスが受けられるよう情報提供、関係機関調整などを行う。 妊婦期、出産時から就園までの時期、就園時から就学までのそれぞれの時期に対象者全員への子育てプラン提供、支援の必要な方への子育て応援プランの提供等を行う。 ◆消耗品費、通信運搬費 67千円		○子育てプラン配布:妊産婦者全員、乳幼児健診受診者:全員 ○子育て応援プラン作成:妊産婦時必要と判断した人全員(40人程度) ○町内関係機関(要対協事務局・子育て支援センター)との情報共有の回 会:年6回 ○産科医療機関との会:1回		子育て支援課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績	KPI		担当課
			目標	達成率	
子育て世代 包括支援セ ンターの整 備② 44	・産前産後サポート事業 妊産婦が抱える妊娠・出産や子育てに関する悩み等につ いて、保健師による相談支援を行い、家庭や地域での孤 立感の解消を図るため、主に自宅に訪問するなどし、個 別に相談に対応する。 パート保健師賃金 【アウトリーチ型】※新型コロナ対応による電話訪問も含 む 保健師が自宅に訪問し、個別に相談に対応する。 【デイサービス型】※新型コロナ対応で中止する場合あ り。 公共施設等で集団形式により、同じ悩み等を有する利用 者からの相談に対応する。 ◆職員賃金等 2,810千円、消耗品費 10千円		アウトリーチ型：年 48件(延) デイサービス型： 赤ちゃん広場12回 ハイハイ広場12回 プレママ12回 計 36回		子育て支援課
子育て世代 包括支援セ ンターの整 備③ 45	・産後ケア事業 強い育児不安や家族等から産後の支援が得られない母 子に対し、医療機関委託や助産師、保健師訪問、ヘル パー派遣等、宿泊、日中預かりなど様々な方法で、心身 のケアや育児サポートを行う。心身の負担軽減により産 後の未然防止も図る。 【宿泊型】母子を産科医療機関に宿泊させ、休養の機会 を提供するとともに、心身のケアや育児サポートなどきめ 細かい支援を行う。 【デイサービス型】日中所所した者に対し、個別又は集 団で心身のケアや育児サポート等の支援を行う。 ・母子来所 ・乳児一時預かり 【訪問型】産婦の状態を把握し、必用と思われる家庭に 助産師を派遣し、産婦の母体ケア及び乳児のケアを行 う。 【産前産後ヘルパー派遣事業】主に出産後間もない時期 に、家事支援が必要な家庭にヘルパー派遣を行う。 ◆助産師報酬 24千円、委託料 213千円(ヘルパー派 遣・ショートステイ・デイサービス等)		訪問型：5件 宿泊型：1件 デイサービス型：6 件 ヘルパー派遣事業 7回		子育て支援課
不妊治療費 助成事業 46	県の助成決定を受けた不妊治療を行う夫婦に対し、治療 の種類ごと、回数ごと、年度ごとに定める額を助成する。 【治療の種類】 ◆特定不妊治療費 見込み32件 2,690千円 ◆人工授精費 見込み 4件 26千円 ◆不育症治療費 見込み 1件 50千円		利用件数 特定不妊治療32 件、人工授精4件、 不育症治療1件		子育て支援課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績	KPI		担当課
			目標	達成率	
47 ファミリーサ ポートセン ター事業の 充実	子育てを応援してほしい人(依頼会員)と子育てを応援したい人(提供会員)が育児の相互援助活動を行う。 調整役としてアドバイザー1人配置に係る賃金。 事業PR、会員の確保。 預かり体験。 ◆職員賃金等 2,448千円 ◆講師謝金、消耗品、郵券料 32千円 ◆活動保険料 83千円		実利用者数の増。年間実利用者数を前年の1.5倍とする。(8人×1.5=12人)		子育て支援課
48 病児・病後 児・夜間保育 事業	◆病児保育:74人(R2実績) (定住自立圏構想での取組。事業受託者ババール園。実施場所県立厚生病院) 対象者:在園児及び小学校3年生以下 712千円 ◆病後児保育:7人(R2実績) (定住自立圏構想での取組。事業受託者十字会。実施場所野島病院) 対象者:在園児及び小学校3年生以下 415千円 (上記は引き続き定住自立圏 で取り組む)		利用者数 74件 病児保育 7件 病後児保育 7件		子育て支援課
49 SNS等による 子育て支援 情報の提供	妊娠出産子育て期全般にわたる必要な情報をリアルタイムに提供していく方法としてフェイスブック等を立ち上げる。 子育て支援アプリを導入し、妊娠期から子育て期における子育て情報提供をタイムリーに行える体制整備を行う。関係機関との連携会議を定期的に行い、情報連携を強化していく。 委託料 396千円		子育てアプリ等による情報発信。年間母子手帳交付数に対し、子育てアプリ登録者数を95%以上とする。		子育て支援課
50 放課後児童 クラブ・放課 後子ども教 室の推進①	放課後児童クラブ5カ所で運営。 放課後子ども総合プランに基づき、3小学校においては、放課後こども教室と一体的に実施する。コミュニティ施設で実施する児童クラブについても、教育委員会と連携を取りながらゆりはま自主学習の広場事業と連携実施する。 ◆羽合第1:8,918千円、羽合第2:14,735千円、東郷第1:8,809千円、東郷第2:8,926千円、泊:8,659千円		利用希望に応じた利用となるよう、登録者数に対する利用者数の割合を、3月利用について100%とする。		子育て支援課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績	KPI		担当課
			目標	達成率	
51 放課後児童 クラブ・ 放課後子ども 教室の推進② ゆりはま自主 学習の広場事業(放課 後子ども教室 室)	【放課後子ども教室推進事業】 町内3小学校の空き教室を使用し、年間30回程度の学習支援活動を行う。 放課後に週1回(月3回程度を予定)と夏季休業期間中に開催し、小学校低学年からの学習習慣の定着を目指す。指導については、教員OBを含めた地域人材を活用する。 ◆報償費:894千円 ◆消耗品:40千円 ◆通信運搬費:7千円 ◆保険料:64千円 計:1,005千円		連絡協議会を開催した上で各小学校等でこども教室を実施し、学習習慣の定着を図る。 ・参加児童数を50名とする。(対象児童の20%)		教育総務課
52 放課後児童 クラブ・放課 後子ども教室の推進③	放課後や週末などにおける子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を確保し、地域の方々の協力を得て、子どもたちに学習や様々な体験、交流活動等の取り組みを実施し、子どもたちが地域との交流を深め、心豊かで健康やかにはぐくまれる環境づくりを推進する。 R3年度も継続して羽合地域(長瀬、栗田後、橋津)、東郷地域(舎人、大介)の、計5教室で事業を実施予定。 ◆報償費(5教室分) 2,773千円、消耗品費 120千円		放課後や週末などにおける子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を確保する。 年間参加延児童数2,000名以上とする。		生涯学習・人権推進課
53 ゆりはま自主 学習の広場事業 (ゆりはま地域未来塾)	【地域未来塾推進事業】 町内在住の地域人材や学生ボランティア等の協力を得て、平日の放課後や土曜日の部活動終了後に、希望する中学1年生を対象に実施する。 基礎学力の定着と学習習慣の定着を目指すもので、オール湯梨浜体制での町の将来を担う中学生に対し自主的な学習の機会を提供する。 ※国の『学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金』を活用(補助率:国、県、市町各1/3) ◆報奨金:446千円 ◆消耗品:22千円 ◆郵券料:14千円 ◆保険料:48千円 計:530千円		基礎学力と学習習慣の定着を図るため、運営委員会を開催し、中学校1年生を対象に地域未来塾を実施する。 ・参加生徒数を対象生徒数の約20%を目標とする。		教育総務課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			目標	達成率	評価	
54 学校支援ボランティア事業の推進	【地域による学校支援推進事業】 各小中学校が作成した学校支援ボランティア人材バンクに登録された学校支援ボランティア登録者へのボランティア保険加入手続きを行う。 また、自校だけでは要請することが難しいボランティア活動の内容に対しては、他校人材バンクへの登録者情報が必要に応じて情報提供し、実施困難と思われるボランティア内容の実施応援体制を支援する。 ◆ボランティア保険料 105千円		各学校の二一ズに沿った地域による学校支援を実施する。 ・小中学校で230名の登録を目標とする。(令和7年度までに250人の登録を目指す。)			教育総務課
55 ふるさと教育の推進	【ふるさと教育推進事業】 総合的な学習の時間で行われている地域学習の取り組みを拡充するため、各小中学校独自の取り組みにおける地域人材の活用や消耗品等の支援を行う。 ・羽合小学校:体験学習(町探検、文化伝承、平和学習ほか)、交流学習(町内高齢者等との交流、町を元気にする活動ほか) 123千円 ・泊小学校:体験活動(水産教室、泊貝がら節伝承、ワカメ栽培、GG体験ほか)、食育(とまり食の恵ほか) 102千円 ・東郷小学校:体験学習(梨づくり、東郷池体験活動、GG体験ほか)、環境教育(サケ飼育) 112千円 ・湯梨浜中学校:湯梨浜町調べ、職場体験、観光地PR動画制作ほか 120千円		各学校でふるさとに愛着を持つ児童生徒の育成をめざし、各種事業等実施する。 アンケート目標 85%以上。			教育総務課
56 小学校社会科副読本作成事業	【社会科副読読本作成事業】 町に誇りと愛着を持ち、大人になっても湯梨浜町に住みたいという気運を子供の時から醸成していくため、また、社会科の学習時に町を勉強するため、小学3・4年生を対象に社会科の副読本を作成し、授業等で活用することによりふるさと教育の推進を図る。 改善点や教科書改訂の内容等を確認し、次年度の副読本に活かすため、編集委員会を年2回開催する。(出席者:小学校社会科教諭等) ◆報償金2,400円×3名×2回=15千円 ◆印刷費 420千円		改善点や教科書改訂の内容等を確認し、次年度の副読本に活かすため、編集委員会を年2回開催する。 また、次年度の副読本発行の際に一単元を追加する。			教育総務課
57 ワーク・ライフ・バランスセミナー事業	生活と仕事を両立できる職場環境づくりについて理解を深め、子育て等しやすい環境づくりを推進するため、町内中小企業、一般勤労者等を対象にワーク・ライフ・バランスセミナー開催する。 ◆需用費 10千円 ◆委託料 200千円 ◆男女共同参画環境づくり奨励事業補助金 170千円		鳥取県男女共同参画推進企業の認定企業数:17社(前年比1社増)			企画課

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			目標	達成率	評価	
58 地域で取り組む介護予防活動推進事業	①養成した100名の介護予防・健康づくりリーダー(ゆりりんメイト)に地域で活躍してもらおうため、継続した働きかけや支援を行う。また、ゆりりんメイトを含む地域住民が担い手となり、新たに健康づくり・介護予防・フレイル予防等を目的とした地域サロン活動に取り組み地域・団体等を増やすため、短期集中サロンの実施や地域サロン活動に対する助成を行う。 ②導入した認知症診断プログラムやフレイル評価・管理システムを活用して、高齢者等の状態を判定し、町が実施する運動教室や介護予防教室、筋力トレーニングや脳活トレーニング事業、地域サロン等を体系化して個々の状態に合わせたプログラムを提供するとともに、プログラム実施前後の個々の状態を管理・評価して段階に応じた適切なプログラムにつなげていく。 ◆脱フレイル大作戦 1,945千円 消耗品 14千円、通信料・郵送料 72千円 プログラム保守料 374千円 システム使用料 1,485千円 ◆脳活トレーニング事業 2,756千円 消耗品費 20千円、郵送料 9千円 事業委託料 2,727千円	【目標】 ①新たに健康づくり・介護予防・フレイル予防等を目的とした地域サロン活動に取り組む地域・団体を年間3団体増やす。 ②導入したプログラムで700人以上の個別評価を実施する。			長寿福祉課	
59 歯・口の健康づくり推進事業	フッ化物洗口事業は、教育総務課に移管。協力しながら、歯・口の健康づくりを推進する。 健康推進課としての関わりとしては、 ①「小学校におけるフッ化物洗口手引き」及び「中学校におけるフッ化物洗口手引き」の見直しの確認を中部歯科医師会歯科衛生士及び学校歯科医、県歯科担当者(田中歯科衛生士)に依頼。修正後は、各小中学校に配布する。 ②説明会の要望があれば、出向く。		①アンケート結果集計 ②必要に応じた手引きの見直し ③必要に応じた説明会の開催			健康推進課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			目標	達成率	評価	
健康相談・健康教室等の実施① 60	温泉を活用したウォーキング教室の実施(龍鳳閣) 年間計画に沿って実施(週2回、年79回) 《健康増進事業》 ◆講師謝金 395千円		【目標】 教室参加人数を1,600人以上 ※R2年度参加者1,455×1.1≒1,600人			健康推進課
健康相談・健康教室等の実施② 61	《積立貯筋運動(健康づくり)事業》 ◆講師謝金 408千円 ◆消耗品費 77千円 ◆通信運搬費 3千円 ◆委託料 639千円 計 1,127千円	《つみたて貯筋運動教室他》 町内の体育施設等を利用して運動教室を開催し、運動の習慣化や健康づくり、介護予防として取り組む。また、月1回運動教室と併せて、生活習慣病予防のための健康講座を開催し、町民の生活改善を促す。	【目標】 教室参加延べ人数を1,750人以上 ※R2年度実績 参加人数 1,214人/114回≒1回あたり10.6人 ※R3年度目標 1回あたり12人×開催予定回数146回≒1,752人			健康推進課
健康相談・健康教室等の実施③ 62	居住地区周辺でのウォーキング教室開催により、ウォーキングの習慣化を図り、町民の健康につなげる。 ◆自治会4回、事業所2回 《ノルディックウォーキング教室事業》 ◆委託料 112千円		【目標】 運動効果の周知により、ノルディックウォーキング教室の参加者を70人とする。 ※R2実績 教室開催1回参加者24人 ※R元実績 教室開催2回参加者61人			健康推進課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			目標	達成率	評価	
63 SIBを活用した飛び地型自治体連携事業(食と健康のまちづくり事業)	【地方創生推進交付金】 タニタ健康プログラムの推進 ・タニタ健康システムの運用 ・タニタ健康プログラムの推進 《SIBを活用した飛び地型自治体連携事業》 ◆普通旅費 716千円 ◆消耗品費 1,716千円(ポイント景品) ◆通信運搬費 339千円 ◆委託料 13,884千円 ◆使用料及び賃借料 4,195千円 (活動量計ID、サイト等 使用料) 計 20,850千円		【目標】 運動管理システム(活動量計等)を利用した「ゆりまほヘルシーくらぶ」の会員を520名とする(R3)。 ※最終1,400名とする(R6)。			健康推進課
64 全世代・全生涯活躍型「生涯活躍のまち」事業の推進① 【Ⅲ:①移住定住の推進にも記載あり】	【地方創生推進交付金】 ・生涯活躍のまち推進事業(地方創生推進) 28年度に策定した生涯活躍のまち基本計画に基づき、都市部をはじめとする移住者や地域の方々が、充実した生活と安心して暮らせる【湯梨浜町版生涯活躍のまち】の実現に向けて、「湯梨浜まちづくり株式会社」等、官民が連携し一体となり推進していく。 ◆生涯活躍のまちPR業務(情報発信)7,066千円(旅費452千円、役務費1,045千円。委託料5,569千円) 令和3年度は、都市圏(東京、大阪)でのセミナー、オンラインセミナー、現地ツアーを実施する。		〈推進交付金〉 ①県外からの移住者:185人(R3)、925人(R6) ②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数:1団体(R3)、35団体(R6)			みらい創造室

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			目標	達成率	評価	
65 全世代・全 員活躍型 「生涯活躍 のまち」の 推進①	【地方創生推進交付金】 ・生涯活躍ポータル「カラフル」出展（地方創生推進） 生涯活躍のまちに取組む全国5自治体（北海道東川町、福島県伊達市、山梨県都留市、湯梨浜町、南部町）が連携して東京に相談窓口を設置して、移住定住へ向けた相談受け付けや、イベントを開催して生涯活躍のまちの情報発信を実施する。		〈推進交付金〉 ①県外からの移住者：185人（R3）、925人（R6） ②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数：1団体（R3）、35団体（R6）			みらい創造室
66 全世代・全 員活躍型 「生涯活躍 のまち」事 業の推進② 【Ⅲ：①移住 定住の推進 にも記載あり】	・地域おこし協力隊事業（生涯活躍のまち） 地域おこし協力隊3名を任命し、「湯梨浜町版生涯活躍のまち」実現へ向けて設立された「湯梨浜まちづくり株式会社」が取り組む多岐にわたるまちづくりに関連する事業の運営などの中核を担い、活動するもの。 【地域おこし協力隊】 ・まちづくり会社で活動（3名） 13,159千円		〈推進交付金〉 ①県外からの移住者：185人（R3）、925人（R6） ②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数：1団体（R3）、35団体（R6）			みらい創造室

	事業名	計画	実績	KPI			担当課
				目標	達成率	評価	
67	縁結び支縁員事業	晩婚化や少子化が進む中、結婚を望む男女の出会いを創出する「縁結び支縁員」の活動を支援することで人口増加や次世代を担う住民の定住を促進する。 ◆縁結び支縁員情報交換会、研修会 出席報償金、旅費123千円 ◆婚姻成立時報償金 30千円		縁結び支縁員事業等により婚姻した件数：年1件			企画課
68	婚活イベント事業(広域連携)	中部地区市町と連携し、婚活イベントを開催することにより、結婚を希望する人の出会いの機会を広域的に拡大するなど、少子化傾向の改善に取り組む。 ※中部定住自立圏事業で実施する。 ・広域連合負担金 200千円		令和3年度に広域連携による婚活イベントを実施。パーテーター型イベント：2回 婚活セミナー：2回			企画課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			目標	達成率	評価	
69 IJUターン 促進事業	地域の将来を支える人材の呼び込みを図るため、都市圏での移住定住相談会に参加し、本町の魅力を積極的に発信する。また、移住コーディネートターを設置し移住相談窓口として各種支援制度の紹介や空き家、住宅情報の提供などを実施し、移住促進を図る。 《R3予算額》3,916千円(旅費351千円、需用費25千円、役務費40千円、委託料3,500千円)		移住について具体的な相談に入っている者数:5件			みらい創造室
70 空き家情報 バンク活用 促進事業	①空き家情報バンクの運用により空き家所有者と利用希望者のマッチング、紹介を行う。 ②空き家情報バンク登録物件に県内からの町外者が転入する場合に、空き家所有者が行う改修等の費用を補助する。 上限:250千円 補助率1/2 予算:250,000円×1件=250,000円 《R3予算額》補助金 250千円		①町外(県内)利用者からの空き家バンク物件成約数:1件 ②町空き家改修補助金利用:1件			企画課
71 空き家対策 事業	①空き家改修事業補助金 県外からの移住定住希望者に空き家を提供する人に対し、空き家の改修費を最大500千円補助する。 上限:500千円 補助率1/2 《R3予算額》補助金 500千円 ②空き家利活用流通促進事業 町内空き家を活用する町内の個人(転入予定を含む)に対し、空き家の改修費を補助する。 上限 住宅:500千円 非住宅:900千円 補助率 1/2 《R3予算額》補助金 1,900千円		移住希望者へ空き家提供:2件			企画課
72 移住定住者 住宅支援事業 業①	県外の人又は県外から町に転入して6か月を経過していない人が住宅の新築、購入又は改修をする場合に補助する。 《R3予算額》4,500千円 移住定住(土地開発公社)2,000千円×1件 移住定住2名以上1,000千円×2件 移住定住1名500千円×1件		県外からの転入者の定住:4件			企画課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

72

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			目標	達成率	評価	
73 移住定住者 住宅支援事業②	・移住定住者中古住宅修繕支援事業 中古住宅を購入し県外から町内に移住してきた者又は県外から町内に移住し中古住宅を購入した者で、移住から5年を経過していない者を対象に、購入した中古住宅の修繕費用の一部を補助する。 上限額:250千円 補助率:1/4 《R3予算額》 250千円×1件		補助金利用: 1件			企画課
74 町外者による「ゆりはま暮らし体験ボランティア」の宿泊費助成事業	町内で移住定住希望者にボランティアで作業を行ってもらうことで、地域間交流と地域の人手不足の解消を図る。 ボランティア受入者に報償費を支払い、ボランティア従事者には宿泊費を負担する。 ◆ボランティア受入報償金 70千円 ◆ボランティア受入委託料(宿泊)42泊 301千円 ◆宿泊費補助 26千円 ◆通信運搬費 4千円		ボランティア従事者:14名			企画課
75 若者夫婦・子育て世代住宅支援事業	どちらかが35歳以下の夫婦、中学生以下の子どもが2名以上いる世帯主への住宅新築・購入費に対して補助金を交付。 新築・購入 500千円×41件=20,500千円 新築・購入(中山間地域かさ上げ分) 100千円×6件=600千円 新築・購入(土地開発公社)1件 1,000千円 新築・購入(レークサイドビレッジ) 600千円×5件=3,000千円 合計 47件、25,100千円		若者夫婦・子育て世代夫婦の定住:47件			企画課
76 結婚新生活支援事業	夫婦共に婚姻日における年齢が39歳以下かつ世帯所得が400万円未満の新規に婚姻した世帯に対し、婚姻に伴う住宅取得費用に対して補助金を交付。 新築・購入 500千円×5件=2,500千円 合計 5件、2,500千円		新婚夫婦の定住:5件			企画課

72

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

73

	事業名	計画	実績	KPI			担当課
				目標	達成率	評価	
77	三世帯同居 世帯等支援 事業	三世帯家族の形成と子育ての支援を促進し、 家族の絆の再生と定住促進を図る。 親と子と孫が新たに三世帯で同居するための 住宅の取得や増改築・リフォーム等の費用に対 して助成を行う。 500千円×3件 1,500千円		新たな三世帯 家族の定住:3 件			企画課
78	移住者運転 免許証取得 支援事業	■県外からの移住者が自動車運転免許証を取 得した場合、取得費用の一部を助成する。 150千円×3人 450千円 ■県外からの移住者がペーパードライバーク 講習を受講した場合、受講料の一部を助成する。 5千円×3人 150千円		◆県外からの 移住者の免許 取得:3人 ◆県外からの 移住者のペー パードライ バー講習受講 者:3人			企画課
79	住宅取得仲 介報酬助成 事業	中古住宅及び新築住宅用地(いずれも集合 住宅を除く。)を購入しようとする者に対し、支 払った仲介報酬を一部助成し、町内定住促進に より町の活性化を図る。 130千円×7件 1,300千円		中古住宅及び 新築住宅用地 購入による、 町内への 定住:7件			企画課
80	お試し住宅 運営事業	古民家を活用したお試し住宅と、街なかに新設 したお試し住宅を設置して、移住定住を検討して いる方に本町の暮らしを体験してもらうとともに、 空き家の有効活用、移住定住検討者と地域住 民の交流による地域活性化及び定住促進を図 る。 まちづくり会社指定管理事業。		お試し住宅利 用件数:42件			みらい創造室

73

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			目標 申請者(新規)	達成率	評価	
81 〈再掲〉 ふるさと奨 学資金貸与 事業(名称 変更:ふる さと人材育 成奨学金支 援助成金事 業) 【Ⅰ:④雇用 の推進にも 記載あり】	【ふるさと人材育成奨学金支援助成金】 鳥取県未来人材育成奨学金支援助成金の認定 を受け、町内に定住する人を対象に奨学金返還 額の一部を助成する。 ○対象になる業種など 製造業、情報通信業、薬剤師の領域、建設業・ 建設コンサルタント業、旅館・ホテル業、保育 士、幼稚園教諭、農業、林業、漁業、農林水産 業協同組合 ○助成内容 ・無利子の奨学金:貸与を受けた奨学金の返還 総額の1/6 ・有利子の奨学金:貸与を受けた奨学金の返還 総額の1/8 ・助成期間:原則として県内の対象業種に就職 してから8年間 ◆45千円×2人=90千円(助成中) ◆60千円×5人=300千円(新規)		申請者(新規) 5人			教育総務課
82 〈再掲〉 全世代・全 員活躍型 「生涯活躍 のまち」事 業の推進① 【Ⅱ:②地域 福祉の推進 にも記載あ り】	【地方創生推進交付金】 ・生涯活躍のまち推進事業(地方創生推進) 28年度に策定した生涯活躍のまち基本計画に 基づき、都市部をはじめとする移住者や地域の 方々が、充実した生活と安心して暮らせる【湯梨 浜町版生涯活躍のまち】の実現に向けて、「湯 梨浜まちづくり株式会社」等、官民が連携し一体 となり推進していく。 ◆生涯活躍のまちPR業務(情報発信)7,066千 円(旅費452千円、役務費1,045千円。委託料 5,569千円) 令和3年度は、都市圏(東京、大阪)でのセミ ナー、オンラインセミナー、現地ツアーを実施す る。		〈推進交付金〉 ①県外からの 移住者:185人 (R3)、925人 (R6) ②CCRC事業 に参画する民 間事業者・団 体数:1団体 (R3)、35団体 (R6)			みらい創造室

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

75

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			目標	達成率	評価	
83 〈再掲〉 全世代・全 員活躍型 「生涯活躍 のまち」事 業の推進② 【Ⅱ：②地域 福祉の推進 にも記載あ り】	・地域おこし協力隊事業（生涯活躍のまち） 地域おこし協力隊3名を任命し、「湯梨浜町版生 涯活躍のまち」実現へ向けて設立された「湯梨 浜まちづくり株式会社」が取り組む多岐にわたる まちづくりに関連する事業の運営などの中核を 担い、活動するもの。 【地域おこし協力隊】 ・まちづくり会社で活動（3名） 13,159千円		〈推進交付金〉 ①県外からの 移住者：185人 （R3）、925人 （R6） ②CCRC事業 に参画する民 間事業者・団 体数：1団体 （R3）、35団体 （R6）			みらい創造室
84 全世代・全 員活躍型 「生涯活躍 のまち」事 業の推進⑥	生涯活躍のまちに活かされる多世代交流拠点と しての町営住宅建替えについて、民間事業者の 選定及び事業契約の締結。 ●町営住宅建設事業（PFI）に係るPFIアドバイザ リー業務（10,983千円） ●町営住宅建設事業着手。事業期間は令和7 年3月24日まで。令和3年度は設計業務（19,215 千円）、基盤整備（道路・上下水）（35,574千円）		〈推進交付金〉 ①県外からの 移住者：185人 （R3）、925人 （R6） ②CCRC事業 に参画する民 間事業者・団 体数：1団体 （R3）、35団体 （R6）			町民課

75

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			目標	達成率	評価	
85 地域おこし協力隊事業	地域おこし協力隊の活用が有効と思われる分野について、関係課の予算措置に基づき、隊員募集を企画課で行う。		協力隊の任用4名			企画課
86 地域のにぎわい、まちづくりを創出する事業への支援① コミュニティ助成事業	コミュニティ助成事業 (財)自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業を活用し、町内各集落、団体のコミュニティ活動に必要な施設又は設備の整備を行う。 ◆通信運搬費 21千円 (交付決定後、補正予算で対応) ◆補助金3件 4,300千円 ①光吉区 1,200千円 ②長瀬中部区会 1,900千円 ③長江自治区会 1,200千円 ※6月補正予算計上		(財)自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業を活用し、町内各集落、団体のコミュニティ活動に必要な施設又は設備の整備を行う。			企画課
87 地域のにぎわい、まちづくりを創出する事業への支援② まちづくり創造事業・ステップ事業	まちづくり創造事業・ステップ事業 自主的・継続的にまちづくりを推進する団体への助成を行う。対象事業は、原則新規事業で、事業成果が持続性(原則3年以上)及び活性化が図られるソフト事業。 ◆交付補助金 700千円 1件200千円×3団体(創造事業) 1件100千円×1団体(ステップ事業) ◆役務費 2千円 ※県費:市町村交付金(1/2)		まちづくりを創造する団体の育成 創造事業 新規 1団体			企画課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

77

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			目標	達成率	評価	
88 地域のにぎわい、まちづくりを創出する事業への支援③ 集落づくり総合交付金事業	集落づくり総合交付金事業 町内各集落の運営費や防災活動、その他福祉活動等自主的な集落づくり活動などに対して交付金を助成する。 ・集落運営交付金 ・自主防災組織運営交付金 ・防犯灯維持管理交付金 ・防犯灯設置等交付金 ・集落活性化交付金 ◆補助金 計 37,255千円 ◆通信運搬費 63千円		集落づくり総合交付金:75地区			企画課
89 地域のにぎわい、まちづくりを創出する事業への支援④ 地域にぎわい創出事業	町内に旧地区公民館単位を基準とした地域を設定し、その地域が実施する「運動会」、「祭り」などの経費を補助する。 12地域(羽合:7地域、東郷:4地域、泊:1地域) 【補助率・補助金限度額】 補助率:10/10 限度額:地域均等分90,000円+地域の人口×150円 ◆補助金 3,570千円 ◆役務費 6千円		地域にぎわい創出補助金:12地域			企画課
90 地域のにぎわい、まちづくりを創出する事業への支援⑤ ボランティア団体育成支援事業	ボランティア団体育成支援事業 ボランティア団体の育成を図り、住民参加型の地域活動を促進し、協働のまちづくりを推進する団体を支援する。 ◆補助金 17団体 553千円 ◆消耗品費 5千円 ◆通信運搬費 5千円		NPO法人、ボランティアグループの数:2団体増 ※助成金を交付した団体			企画課

77

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			目標	達成率	評価	
91 防災対策特別強化事業	湯梨浜町内各集落の防災意識高揚のための人的支援。15件以上の各種団体・集落における研修を実施する。また、自主防災組織を1地区以上設立する。 ◆報酬 2,116千円 ◆期末手当 450千円 ◆社会保険料 411千円 ◆旅費 10千円 ◆費用弁償 51千円 ◆消耗品 80千円 ◆通信運搬費 10千円		15件以上の各種団体・集落における研修を実施。また自主防災組織を1地区以上設立する。			総務課
92 小地域拠点集会所等バリアフリー事業	高齢化した地域住民等が安心して地域交流できるように拠点である地域集会所等のバリアフリー改修に対し助成を行う。上限1,000千円。2/3助成。 ◆補助金 2,000千円		バリアフリー改修5地区			総合福祉課
93 買い物難民対策事業	高齢者支援のための地域支え合いの手引きの情報更新し、買い物等不便者の解消を図る。 町社会福祉協議会が実施している「のりあいバス運行事業(週1回運行)」の経費助成を行い、高齢者等の移動手段の確保を図るとともに、より活用しやすいのりあいバス運行事業について検討を進める。また、令和3年度から対象者を拡大した高齢者へのタクシー料金助成事業について周知を行い、運転免許を持っていない高齢者の移動手段の確保を図る。 また、高齢者等の移動手段の拡充について検討を進めたい地域や地域貢献活動を行う民間事業者との協議を進め、のりあいバス事業・高齢者タクシー料金助成事業以外の移動手段について協議を進める。 ◆乗り合いバス運行事業に対する補助金 補助金 282千円(当初予算) ◆高齢者タクシー料金助成事業 消耗品費 77千円 扶助費 4,800千円		社会資源の把握、啓発を行い、適切な支援につなげる。 また「のりあいバス事業」の利用者を45人以上とし、運行に係る経費の助成を行う			長寿福祉課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			目標	達成率	評価	
94 小さな拠点事業の推進	泊地域において、住む人・場所、買い物、地域コミュニティ、行政などの各機能と各集落をつなげ、地域の再生を目指す取り組みを行う。 地域住民が主体的に買い物支援や地域コミュニティ等の生活サービスを持続・確保する等、地域課題を解決するための仕組みづくりを支援する。		小さな拠点づくりにおける地域活動団体の設立			みらい創造室
95 ICT推進事業①	行政イントラシステムを活用を奨励し、県内自治体間における業務効率化を促進する。 ◆負担金 62千円		県等によるスペース(ワーキンググループ)の立ち上げ件数:8件			企画課
96 ICT推進事業②	鳥取県と県内市町村(一部除く)が、共同で運用している電子申請システムの利用促進と、情報通信技術に関する業務対応が可能な職員育成に努める。		5部署以上の職員の研修参加・電子申請取扱い手続き5以上の追加			総務課
97 東京大学フィードバック型政策協働プログラム	東京大学の学生が自治体の社会的課題解決のため、①事前調査②地域に滞在して現状を体験・把握③課題解決提案に向けた調査④地域及び大学で提案を行う。学生を受け入れることで、湯梨浜町の関係人口の創出を図る。 →応募の申込を行ったが、不採択となった。		交流した学生にゆりはまフェローになってもらう:4人			みらい創造室

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			目標	達成率	評価	
98 ふるさと納税 推進事業	ふるさと納税の寄附受け入れ、町特産品(返礼品)送付、定期的な情報提供・町のPRを通じて、寄附リピーターと関係人口の増加を図る。		メルマガ等による情報提供 年24回以上 寄付者数 毎年10,000人以上 (R2 9,126人 R1 16,740人 H30 8,606人 H29 7,059人)			総務課
99 企業版ふるさと納税推進事業	都市部などの企業に総合戦略に係る事業をPRし、事業に対して寄附を募る。本町の取り組みに関心を持っていただくことにより、将来的に人材の交流などに結びつけるなど、企業との連携の深化を図る。		募集受付を開始する事業を1事業以上とする。			みらい創造室
100 ゆりはまフェローを核とした関係人口推進事業	地域おこし協力隊によるFacebookのフォローや、町イベント等参加者及びふるさと納税者のうち県外者を「湯梨浜フェロー」と位置付け、町の広告塔としての役割を担っていただくほか、体験ボランティアとして来町していただくことにより、町の関係を維持し、将来的な移住定住に結びつける。 《R3予算額》7,066千円(旅費452千円、役務費1,045千円。委託料5,569千円)		新たにゆりはまフェローに認定された人数:100人			みらい創造室
101 デジタル活用推進事業	地域おこし協力隊による高齢者等情報弱者向けのスマートフォン活用の仕方等の講習会や個人相談会等を開催し、デジタル機器の活用推進を図る。 《R3予算額》4,465千円(報酬1,992千円、期末手当424千円、共済費385千円、活動費1,664千円)		講習会又は相談会の開催:12回			企画課

第2期 湯梨浜町まち・ひと・しごと 創生総合戦略

鳥取県湯梨浜町

令和2年3月

(令和2年6月改訂)

(令和2年12月改訂)

(令和3年6月改訂)

— 目 次 —

1	基本的な考え方	1
(1)	趣旨	1
(2)	総合戦略の位置づけ	1
(3)	計画の前提となる社会背景	1
(4)	計画期間	2
(5)	目標管理及び見直し（PDCAサイクルの確立）	2
2	目指すべき基本方針	3
(1)	人口減少（自然減と社会減）に歯止めをかける	3
(2)	当面避けられない人口減少から生じる諸課題に的確に対応する	3
【3つの基本目標】		3
3	重点戦略	4
基本目標Ⅰ	活力ある元気なまち	4
①	農林水産業の振興	4
②	観光産業の振興	5
③	商工業の振興	6
④	雇用の促進	6
基本目標Ⅱ	安心して暮らせるまち	7
①	子育て環境の推進	7
②	地域福祉の推進	8
③	結婚の出会いの場づくりと情報提供	9
基本目標Ⅲ	町民みんなが創るまち	10
①	移住定住の推進	10
②	まちのにぎわい創出や拠点の形成	11

1 基本的な考え方

(1) 趣旨

この第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）は、「湯梨浜町人口ビジョン」に掲げた、本町の未来に向けた3つの基本目標「活力ある元気なまち」、「安心して暮らせるまち」、「町民みんなが創るまち」を実現するためのまち・ひと・しごとに関する総合的な施策を展開し、喫緊の課題である人口減少を克服し、将来の持続的発展可能なまちづくりを進めようとするものです。

平成27年10月に策定した「湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画期間が令和元年度で終了するにあたり、これまでに湯梨浜町が取り組んできた地方創生施策を検証し、前戦略の取組を継続しつつ、新たな時代に沿った取組を追加し、今後5年間の施策の方向性を示す次期総合戦略を策定します。

(2) 総合戦略の位置づけ

総合戦略は、本町の目指す地方創生を実現するため、町民のみなさんと意識を共有化し、今後目指すべき将来の方向と具体的施策を進めるための指針となるものです。

総合戦略の策定にあたっては、地元で活躍する産学金労言、まちづくり団体、各種団体、主役である町民のみなさんと共に取り組みます。

平成27年に策定した湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗は、全体として概ね順調であり、5年間で「達成済、事業完了」、「計画以上に進んでいる」及び「計画どおりに進んでいる」事業は、全体の64.9%（94項目中61項目）を占めました。今後は、観光客の誘致、町民への仕事の充実、子育てしやすい環境づくりのほか、Society5.0（※1）実現に向けた取り組みやSDGs（※2）を達成するための取り組みをはじめとした、世界の新たな動きに対応していく必要があります。

また、湯梨浜町総合計画等の各種計画との整合性を保ちながら、社会情勢や町民のニーズに的確かつ柔軟に対応し、必要に応じた見直しを行います。

(3) 計画の前提となる社会背景

本町の人口は、1970（昭和45）年以降17,000人台の人口で推移し、安定した人口形態でした。近年では1995（平成7）年以降微増した人口も2005（平成17）年をピークに減少傾向にあります。

この傾向は、本町のみでなく、国全体が「人口減少時代」に突入している中で、人口減少がこのまま続けば、将来的には経済規模や生活サービスの更なる縮小・低下を招きかねません。早急に人口減少に歯止めをかけるとともに、当面避けられない人口減少に的確に対応していくことが必要です。

本町は、上質で豊富な湯量の温泉、全国一の産地である二十世紀梨をはじめとする優れた農産物、日本海の海の幸などの産業のほか、美しい自然環境に恵まれています。それらに関する産業は後継者不足等の様々な課題を抱えています。そのため、町の持つ優れた地域資源や特徴を活かしながら、町の歴史や文化資源との共生、再生と創造を図ることが重要です。また、核家族化等の社会構造の変化や地域社会の復権などにより、子育てしやすい環境づくりや住みやすいまちづくりを進めなければなりません。

これらを総合的に推進することにより、全世代の町民が活躍し、足腰が強く、魅力にあふれるまちをつくり、将来の発展を目指すものです。

(4) 計画期間

総合戦略の計画期間は、令和2年度から令和6年度までの5年間とします。

(5) 目標管理及び見直し（PDCAサイクルの確立）

総合戦略は、町民、地域、団体、企業、行政など全体で共有し、協働して推進する「公共計画」であるため、計画策定（Plan）、実施（Do）、点検・評価（Check）、改善（Action）の各過程においても、町全体が関わる体制を構築し高い実効性を確保します。

また、重点戦略及び施策に設ける数値目標並びに重要業績評価指標（KPI）については、実施した事業の量を測定するものでなく、その結果によって得られた成果を測定する成果指標を原則とし、目標を明確化することで、町全体での目標の共有化と成果を重視した取り組みを展開します。さらに、点検と評価により、目標の管理を行い、その結果を広く公表するとともに、必要に応じて計画の見直しを行います。

※1

狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く、新たな社会を指すもので、サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会。

※2

Sustainable Development Goals の略であり、2015年9月の国連サミットで採択された2030年を期限とする、先進国を含む国際社会全体の17の開発目標です。また、「持続可能な開発目標（SDGs）実施指針」（平成28年12月22日第2回持続可能な開発目標（SDGs）推進本部決定）において、政府全体及び関係府省庁における各種計画や戦略、方針の策定や改訂に当たっては、SDGsを主流化することとされており、実施のための主要原則の1つに「包摂性」が示されています。なお、17の開発目標については、次のとおりです。



2 目指すべき基本方針

自然減が特に進んできた本町にあって、近年では社会増も見られるようになってきましたが、依然として社会減の傾向が続いています。この両方が進む人口減少問題は、地域経済や地域住民の生活にも大きな影響を与える極めて重要な問題です。

その問題を克服するためには、

(1) 人口減少（自然減と社会減）に歯止めをかける

急激に人口が減少している状況に歯止めをかけ、将来的にある一定水準の人口を保っていくため、

- ①若い世代の結婚、妊娠、出産、子育ての希望をかなえることで出生数を増やし、本町の主な人口減少の要因である自然減を抑制する必要があります。
- ②魅力あるしごとの創出や豊かな生活・教育環境の整備により、本町をより住みやすく魅力ある地域にすることで、町内に人を呼び込み、若い世代の町外への流出を防ぎ、確実な社会増への転換を図る必要があります。特に、時代とともに変遷する社会のニーズに対応した地域社会を創る必要があります。

(2) 当面避けられない人口減少から生じる諸課題に的確に対応する

(1) の策を講じても、現在の少子化・高齢化の状況に鑑みれば、人口減少は続くものと見込まれるため、

- ①地域の主体性と創意のもとに、地域の資源や人材を生かし、効率的・効果的な社会・経済システムの構築を通じた持続可能な地域づくりを進める必要があります。
- ②生産年齢人口を見直し、高齢者が引き続き社会で活躍し続ける仕組みを構築し、若年層を補足する必要があります。

そこで、総合戦略では、次の3つの基本目標を設定し、自然減に対し、合計特殊出生率の目標値として、2014（平成26）から2018（平成30）年の5カ年平均1.98を、2030（令和12）年には2.07まで引き上げること、社会減に対する目標値として5年後には転入転出の移動率が均衡に達し社会増を目指していくという将来の目標に向かって、直面する今後5年間の取組を推進します。

【3つの基本目標】

I 活力ある元気なまち

（地域経済の持続的発展のための「しごと」を創る）

II 安心して暮らせるまち

（少子化対策や共に支え合うひとづくりの推進による「ひと」を増やす）

III 町民みんなが創るまち

（地域の持続的発展のための活力維持による「まち」を創る）

3 重点戦略

湯梨浜町総合戦略では、「活力ある元気なまち」、「安心して暮らせるまち」、「町民みんなが創るまち」の3つの基本目標に沿って、先駆的・重点的に取り組む施策を展開します。

基本目標Ⅰ 活力ある元気なまち

活力ある元気なまちづくりを行うため、地域資源を活かした個性豊かな産業の振興に努めながら、既存産業の充実はもとより、様々な産業の連携による新たな活力を創出します。

《SDGsの関連目標》



●数値目標（令和6年度）

指標	数値目標
温泉宿泊客数	17万人（年間）
新規就業者数（常用雇用）	200人（年間）

●基本的方向

- 二十世紀梨等の特産物を活かした果物大国を目指す農業、東郷池のシジミや日本海の豊富な水産物を活かした漁業、町土の半分を占める森林を活かした林業、地場産業の振興に努めます。
- 温泉や歴史・文化、自然・健康、環境を活かした観光の振興を図り、交流人口の増加に努めます。
- 「グラウンド・ゴルフ」や「ウォーキング」など本町の特性を活かしたまちづくりを推進します。
- 行政、町内の様々な団体、企業などによる連携体制を強化し、商工業の発展に努めます。
- 企業の新規立地や付加価値向上のための様々な取り組みを行うことにより、人材育成と雇用の確保に努めます。

●具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

①農林水産業の振興

《具体的施策》

- 二十世紀梨等の特産物を活かした「果物大国」の推進
- 新規就農者の増加支援、担い手確保・育成、集落営農化の促進
- 農林水産物や食など地域の魅力を活かした名産・名物の開発・販路開拓
- 遊休農地及び耕作放棄地解消への対策
- 東郷池や日本海の豊富な水産物を活かした漁業の振興
- 森林を活かした林業の振興

《重要業績評価指標（KPI）》

指標	基準値	目標値
梨栽培面積	138ha	130ha

梨新品種への改植・新植	6. 0 9 ha	5. 0 ha (R2~6)
新規就農者	1 6 人	2 6 人
認定農業者（家）数	4 7 経営体	5 7 経営体
GI マーク、商標権、意匠権等の取得件数	1 件	3 件 (R2~6)
利用権設定面積	2 6 4. 9 ha	3 0 0 ha
シジミの漁獲量	5 5 6 t	5 6 0 t (R2~6)
漁業経営体数	4 0 経営体	4 0 経営体

《具体的事業》

- 農産物販路拡大及びブランド化推進事業
- 鳥取梨等生産振興事業（農業生産現場強化事業）
- 東郷梨地域連携栽培プロジェクト事業
- 二十世紀梨を守る事業
- 湯梨浜版担い手認定
- 中核的担い手農家育成奨励金交付事業（農業生産現場強化事業）
- 農林水産物等販売促進事業
- 知的所有権取得支援
- パッケージデザイン作成助成事業
- 東郷湖漁業振興事業
- 沿岸漁業活性化推進事業
- 特産果物生産振興事業
- 森林環境税関連事業
- ゆりはま農作業体験ツアー

②観光産業の振興

《具体的施策》

- 「グラウンド・ゴルフ」や「ウォーキング」など本町の特性を活かし、国内はもとよりインバウンドを推進
- はわい温泉・東郷温泉を活かした観光地としての魅力向上（滞在型観光・周遊観光の推進）
- 天女のふる里づくり事業による、交流人口の増加と地域の活性化の推進
- 観光客に対応した Wi-Fi の整備、誘客キャンペーンなどの推進（多言語対応、利便性の向上）
- 戦略的な情報発信と着地型や体験型の観光メニュー造成、誘客

《重要業績評価指標（KPI）》

指標	基準値	目標値
海外からのイベント参加者数	8 1 6 人	2, 2 9 6 人
海外からのイベント参加国数	2 2 カ国	3 2 カ国
外国人宿泊者数	4, 0 1 8 人	8, 5 0 0 人以上 (年間)
着地型観光商品利用者数	1, 1 5 5 人 (年間)	2, 0 0 0 人以上 (年間)

《具体的事業》

- グラウンド・ゴルフ国際化及び潮風の丘聖地化の推進

- ウォーキングリゾート構想の推進及びインバウンドの促進
- アロハカーニバル事業
- 天女のふる里づくり事業
- 観光地域づくりの核となる「DMO」の推進（広域連携）
- 教育旅行のメニュー開発事業
- ワーケーション推進事業
- ゆうゆうゆりはま事業
- 食と健康のまちづくり事業

③商工業の振興

《具体的施策》

- 事業所の新設や新分野への進出、新製品開発、6次産業化等に対する支援
- 地元資源を活用した町内商工業者の振興と活性化の推進
- ICTを活用したコンテンツ系企業など企業誘致の推進
- 商工団体など関係機関と連携した事業承継の推進

《重要業績評価指標（KPI）》

指標	基準値	目標値
支援制度を活用した起業事業者数	32件	25件（R2～6）
事業承継に着手した事業者数	—	10-5事業者

《具体的事業》

- ゆりはまじげ産業支援事業
- チャレンジショップ支援事業
- アロハカーニバル事業〈再掲〉
- ふるさと名物応援事業
- 環境創出プロジェクト事業

④雇用の推進

《具体的施策》

- 地場産業の振興、起業家支援、企業誘致や雇用奨励制度などによる雇用の創出
- 就職情報提供による企業と学生とのマッチング促進
- 高齢者の経験や知識を活用した就労の支援

《重要業績評価指標（KPI）》

指標	基準値	目標値
支援制度を活用した雇用者数	14人	15人（R2～6）

《具体的事業》

- 看護師、保育士奨学金助成事業
- チャレンジショップ支援事業〈再掲〉
- 雇用促進奨励金事業
- 就職関連情報提供事業
- 企業誘致用地等情報提供事業

- ビジネス人材移住支援事業
- 中学校跡地施設活用事業

基本目標Ⅱ 安心して暮らせるまち

安心して子育てができる環境を整備するとともに、出会いと、子どもから高齢者、障がいのある人など、すべての人が笑顔にあふれ、いつまでも健康で生きがいの持てる安心、安全のまちづくりを推進します。

《SDGs の関連目標》



●数値目標（令和6年度）

指標	数値目標
合計特殊出生率	2.07
出生数	150人（年間）

●基本的方向

- 全国的に急速な少子化が進み、また、家庭及び地域を取り巻く環境が変化する中で、安心して子どもを産み育てるための総合的な支援施策や福祉施策の実施を推進します。
- 共に支え合い安心して暮らせるまちづくりを推進するため、お年寄りや障がいのある人を地域で支える取り組みを推進します。
- 人との絆や地域のつながりを活かしながら出会い・結婚を望む方を応援します。

●具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

①子育て環境の推進

《具体的施策》

- 安心して子育てができる保育サービスの充実など環境整備の推進（子育て世代の経済的な負担の軽減）
- 妊娠期から子育て期にわたる総合的相談支援を行うワンストップ化の推進
- 放課後児童クラブや放課後子ども教室の充実、開かれた学校づくりなど、地域で子どもたちが安全で安心して過ごせる居場所づくりの推進
- 子どもたちの健やかな成長を地域全体で支える教育環境づくりの推進
- 地域の中で育ち、湯梨浜のすばらしさを体感し、ふるさとに愛着を持ち大切に守っていかうとするふるさと教育の推進
- 仕事と生活の調和を図るワーク・ライフ・バランスの環境づくりを事業者とともに推進

《重要業績評価指標（KPI）》

指標	基準値	目標値
2歳未満児を家庭で子育てする率	—	70.3%
第3子以降出産数	145人	150人(R2~6)
こども園待機児童数	4人	0人
自主学習の広場利用者数	小学生 259人	小学生 509人

	中学生 83人	中学生 183人 (R2~6)
ふるさとを愛する児童の割合	87.4%	85%以上
鳥取県男女共同参画推進企業の認定企業数	16社	21社
イクボス宣言企業数	—	17社

《具体的事業》

- 家庭子育て支援事業
- 多子世帯保育料軽減事業
- 第3子以降中学校卒業祝金支給事業
- 子育て世代包括支援センターの整備
- 不妊治療費助成事業
- ファミリーサポートセンター事業の充実
- 病児・病後児・夜間保育事業（広域連携）
- 放課後児童クラブ・放課後子ども教室の推進
- SNS等による子育て支援情報の提供
- ゆりはま自主学習の広場事業
- 学校支援ボランティア事業の推進
- ふるさと教育の推進
- 小学校社会科副読本作成事業
- ワーク・ライフ・バランスセミナー事業

②地域福祉の推進

《具体的施策》

- 地域や個人に密着した健康づくりの推進
- ボランティアとして地域の自主的な介護予防や健康づくり活動の指導や支援の推進
- 保健師等による定期的な訪問による、相談体制の充実を図る
- 町民や移住者が健康で生涯活躍ができるまちを推進

《重要業績評価指標（KPI）》

指標	基準値	目標値
全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」事業に参画する民間事業者・団体数	30団体	35団体
食と健康のまちづくり事業による測定数値改善割合	55.32%	70%以上

《具体的事業》

- 地域で取り組む介護予防活動推進事業
- 歯・口の健康づくり推進事業
- 健康相談・健康教室等の実施
- 鳥取看護大学による「まちの保健室」との連携
- SIBを活用した飛び地型自治体連携事業（食と健康のまちづくり事業）
- 全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」事業の推進

③結婚の出会いの場づくりと情報提供

《具体的施策》

- 結婚を希望する男女の出会いの機会を創出する縁結び支縁員の活動を支援するとともに情報提供を行い、少子化・定住化対策の推進
- 出会いや交流機会が広がるよう、広域連携を含めた出会いの場づくりの推進

《重要業績評価指標（KPI）》

指標	基準値	目標値
結婚支援事業による婚姻件数	1 件	6 件

《具体的事業》

- 縁結び支縁員事業
- 婚活イベント事業（広域連携）

基本目標Ⅲ 町民みんなが創るまち

豊かな自然環境を活かしながら本町の魅力を発信し、都市部からのひとの流れをつくとともに、町民一人ひとりが積極的にまちづくりに参画し、町民と行政が連携・協働してまちづくりを推進します。

《SDGs の関連目標》



●数値目標（令和6年度）

指標	数値目標
県外からの I J U ターン者数	925人 (R2~6)
転入転出異動	均衡【累計】

●基本的方向

- 超高齢化の進行や社会情勢の変化により、人口減少・空き家が増加していることから、町の魅力を積極的に発信しながら、移住希望者への支援体制を整備し、移住定住を促進します。
- 生活様式や個人の価値観が多様化する中、今以上にコミュニティの醸成を図るため、町民や団体が主体となって行うまちづくり活動を支援します。
- 地域住民が主体的・意欲的に取り組む地域を守る防災体制づくりや、だれもが参加しやすい拠点づくり、基盤整備を推進します。
- NPO法人、ボランティアグループの育成を図り、各分野における住民参画を促進します。

●具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

①移住定住の推進

《具体的施策》

- 多様な移住ニーズに対応する相談体制の充実や I J U ターンの促進に向け広く本町の魅力を発信
- 若者夫婦や子育て世代の住宅支援をはじめ、町内への移住や定住を促進
- 空き家を活用して移住希望者が求める住まい環境づくりを推進
- 移住定住希望者が本町の暮らしを体験できるよう、お試し住宅の設置や環境づくりを図る
- 鳥取大学等との連携による「地（知）の拠点COC+」事業に参画し、地域の活性化・定住化につながる人材の育成を図る

《重要業績評価指標（KPI）》

指標	基準値	目標値
空き家バンク成約件数	13件	20件 (R2~6)
若者・子育て世代の移住件数	91件	90件 (R2~6)

《具体的事業》

- I J U ターン促進事業
- 空き家情報バンク活用促進事業

- 空き家対策事業
- 移住定住者住宅支援事業
- 町外者による「ゆりはま暮らし体験ボランティア」の宿泊費助成事業
- 若者夫婦・子育て世代住宅支援事業
- 結婚新生活支援事業
- 三世代同居等支援事業
- 移住者運転免許証取得支援事業
- 住宅取得仲介報酬助成事業
- お試し住宅運営事業
- ふるさと奨学資金貸与事業〈再掲〉
- 全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」事業の推進〈再掲〉

②まちのにぎわい創出や拠点の形成

《具体的施策》

- 町民や団体が主体となって創意工夫による魅力的な地域づくり活動を支援
- 災害に強いまちづくりを進めるため、地域住民が主体的・意欲的に取り組む防災対策を推進
- いつでも、誰もが集える拠点を整備するためバリアフリーなど環境づくりを推進
- 分散している様々な生活サービスや地域活動の場などをつなぐ「小さな拠点」づくりを推進する
ほか、企業等と連携した移動販売や買い物支援など多機能なサービスの充実を図る
- 山陰自動車道（北条道路）の観光・企業誘致への活用及び緊急時、福祉、健康対応のためのユニバーサルデザインによる道路などの基盤整備を推進
- 地域に伝わる伝統芸能活動や文化資源の活用による地域振興
- ICTの急速な進化がもたらす社会への対応
- 地域資源を有効活用した「癒しの地域づくり」の推進
- 温泉熱・風力・太陽光など自然エネルギーの利活用を図る
- 環境・健康づくり・福祉・教育等様々な分野における団体の育成を図り、自助・共助を推進する
ほか、住民参画による行政推進を目指す
- 観光地周辺の道路などの基盤整備を推進
- 地域課題の解決や将来的な移住への裾野を拡大するため、地域住民との交流や町との関わりを継続する関係人口の創出、拡大を目指す

《重要業績評価指標（KPI）》

指標	基準値	目標値
新規自主防災組織取組件数	71件	75件
集会所バリアフリー件数	19件	44件
小さな拠点づくりにおける地域活動団体の設立	0団体	1団体
温泉熱エネルギー利用施設数	3施設	4施設
NPO法人、ボランティアグループの数	48団体	55団体

《具体的事業》

- 地域おこし協力隊事業
- 地域のにぎわい、まちづくりを創出する事業への支援
- 防災対策特別強化事業
- 小地域拠点集会所等バリアフリー事業

- 買い物難民対策事業
- 小さな拠点事業の推進
- I C T推進事業
- 大学生によるフィールドスタディ型政策協働プログラム
- ふるさと納税推進事業
- 企業版ふるさと納税推進事業
- ゆりはまフェローを核とした関係人口推進事業
- デジタル活用推進事業